

2021年度

年報

医誠会病院

Medical Corporation ISEIKAI

目 次

1	医誠会病院の基本理念	4
2	病院長挨拶	5
3	ホロニクスグループ紹介	6
4	病院概要	13
5	施設基準	15
6	学会認定施設	18
7	(初期・後期) 臨床研修	20
8	沿革	21
9	医誠会病院組織図	22
10	院内会議および各種委員会組織図	23
11	各科紹介	
11-01	総合診療センター(総合内科)	24
11-02	糖尿病・代謝センター(糖尿病・代謝内科)	27
11-03	心臓血管センター(心臓血管外科、循環器内科)	30
11-04	呼吸器外科、呼吸器内科	34
11-05	消化器内科/消化器内視鏡センター	37
11-06	消化器外科センター	41
11-07	レディースセンター(乳腺・内分泌外科)	44
11-08	レディースセンター(婦人科)	46
11-09	整形外科	48
11-10	脳卒中センター(脳神経外科)	50
11-11	脊椎脊髄センター(脊椎脊髄外科)	53
11-12	泌尿器科	56
11-13	腎臓内科・透析室	58
11-14	形成・美容外科・褥瘡治療センター	60
11-15	腫瘍内科	62
11-16	放射線治療科	64
11-17	麻酔科	67
11-18	救急医療センター(救急診療科)	69
11-19	集中治療センター(手中治療科<ICU・HCU・SCU>)	72
11-20	病理検査センター	75
11-21	臨床検査科	76
11-22	人間ドックSOPHIA・医誠会健診センター・医誠会出張健診センター	78
12	看護部	
12-01	看護部	81
13	各部・センター紹介	
13-01	薬剤部	85
13-02	臨床検査部	89
13-03	診療放射線部	93
13-04	臨床工学部	96
13-05	リハビリテーション部	100
13-06	栄養管理部	104
13-07	外来患者管理・支援センター	107
14	事務部	
14-01	医療事務部	109
14-02	地域医療連携センター	112

15	バックオフィス〔診療サポート〕	
15-01	経営企画管理部門	114
15-02	医師対策部	115
15-03	看護師対策部	117
15-04	ケアスタッフ対策部	118
15-05	コ・メディカル／一般職・総合職対策部	120
15-06	医療営業広報部	122
15-07	企画デザイン室	125
15-08	特定疾患分野対策室	127
16	バックオフィス〔事業サポート〕	
16-01	〔総務管理部門〕総務部 総務課／福利厚生・健康経営推進室	131
16-02	〔総務管理部門〕外交安全部 外交課	133
16-03	〔総務管理部門〕外交安全部 外部評価対策室	134
16-04	〔総務管理部門〕外交安全部 接遇推進サービス室	135
16-05	法務部／コンプライアンス推進室	137
16-06	労務管理部	139
16-07	購買事業部	141
16-08	医療情報部	143
16-09	車両・駐車場事業部	144
16-10	清掃管理部	145
16-11	危機管理対策室	147
16-12	ファシリティマネジメント部門／施設運営管理部	148
17	会議・委員会活動状況	
17-01	経営執行部会議	150
17-02	昼会〔業務改善会議〕	151
17-03	臨床研修管理委員会	152
17-04	医療事故対策委員会	154
17-05	医療ガス安全管理委員会	156
17-06	診療情報小委員会（電子カルテ委員会）	157
17-07	感染防止対策委員会	158
17-08	ICT／ASTミーティング	159
17-09	地域・救急医療運営小委員会	160
17-10	安全衛生委員会	161
17-11	保健管理WGミーティング	162
17-12	医療安全管理委員会	163
17-13	患者サポート委員会	165
17-14	事故防止対策委員会	167
17-15	臨床検査適正委員会	169
17-16	輸血療法委員会	170
17-17	薬事委員会	171
17-18	化学療法検討委員会	172
17-19	緩和ケアチームワーキンググループ	173
17-20	給食委員会	174
17-21	糖尿病チームミーティング	175
17-22	医療の質管理委員会	176
17-23	外部評価対策委員会	177
17-24	患者サービスWGミーティング	178
17-25	NST 運営委員会	179

17-26	倫理委員会	180
17-27	利益相反管理WGミーティング	181
17-28	遺伝情報管理WGミーティング	182
17-29	治験審査 WG ミーティング	183
17-30	クリニカルパス委員会	184
17-31	個人情報管理委員会	185
17-32	その他の会議・委員会	186
18	オンライン公開医学講座	187
19	メディア報道	189
20	各種統計	190

1 基本理念

理念

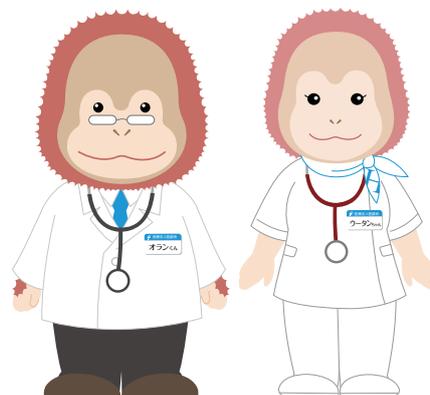
先進的で高度・良質な医療の提供による健康生活の回復と豊かな生命質の創造

基本方針

- (1) 急性期医療を中心とした患者さん本位の統合的医療の実現
- (2) 患者さんの権利の尊重と情報開示の推進
- (3) 医療連携の充実と信頼される病院、働き甲斐のある職場作り
- (4) 医療人としての使命と責任の自覚、自己研鑽と人材育成の支援
- (5) 高度先進医療への取り組み
- (6) 病院経営の健全化

職員の信条

私達は、患者サービスと職員の満足を大切に、最新・最善の医療を提供することで社会の発展に貢献します



イメージキャラクター
オランくん

イメージキャラクター
ウータンちゃん

2 病院長挨拶

医誠会病院 病院長 松本 勝美



このたび 2021 年度の医誠会病院年報を編集するにあたり、日頃多大なご支援をいただきます。一言感謝の気持ちを述べさせていただきます。今後も、地域や患者さんの要請に応えご満足いただける医療サービスの提供を第一とし邁進させていただきます。昨年度より当グループはペーパーレスを推進し、その一環として年報もホームページ表示とさせていただきます。

2021 年度はコロナも 2 年目に突入し、様々な経験を経て以前に比べ対策がかなり練りやすくなりました。それでも 1 日あたりの陽性者数は高止まりで、今後もまだまだ油断ができない状態が続くと思われま。当グループはスマホで毎日職員の症状チェックと検温を行い、体調に問題があれば出務することなくただちに PCR 検査を実施し、状態を確認して、患者さんへの二次感染をできるだけ防ぐべく努力してまいりました。一方でコロナ患者の受け容れもサテライト病棟で継続しています。

2023 年 10 月に医誠会病院は城東中央病院と合体して、新たに大阪市北区扇町に 560 床の医誠会国際総合病院を開院いたします。新病院は診療科も増やし、患者さんの要望にできるだけ応える方向で計画しています。標準医療とチーム医療の推進、外来待ち時間の短縮、救急からのスムーズな入院、十分なインフォームドコンセントを得られる体制をめざします。

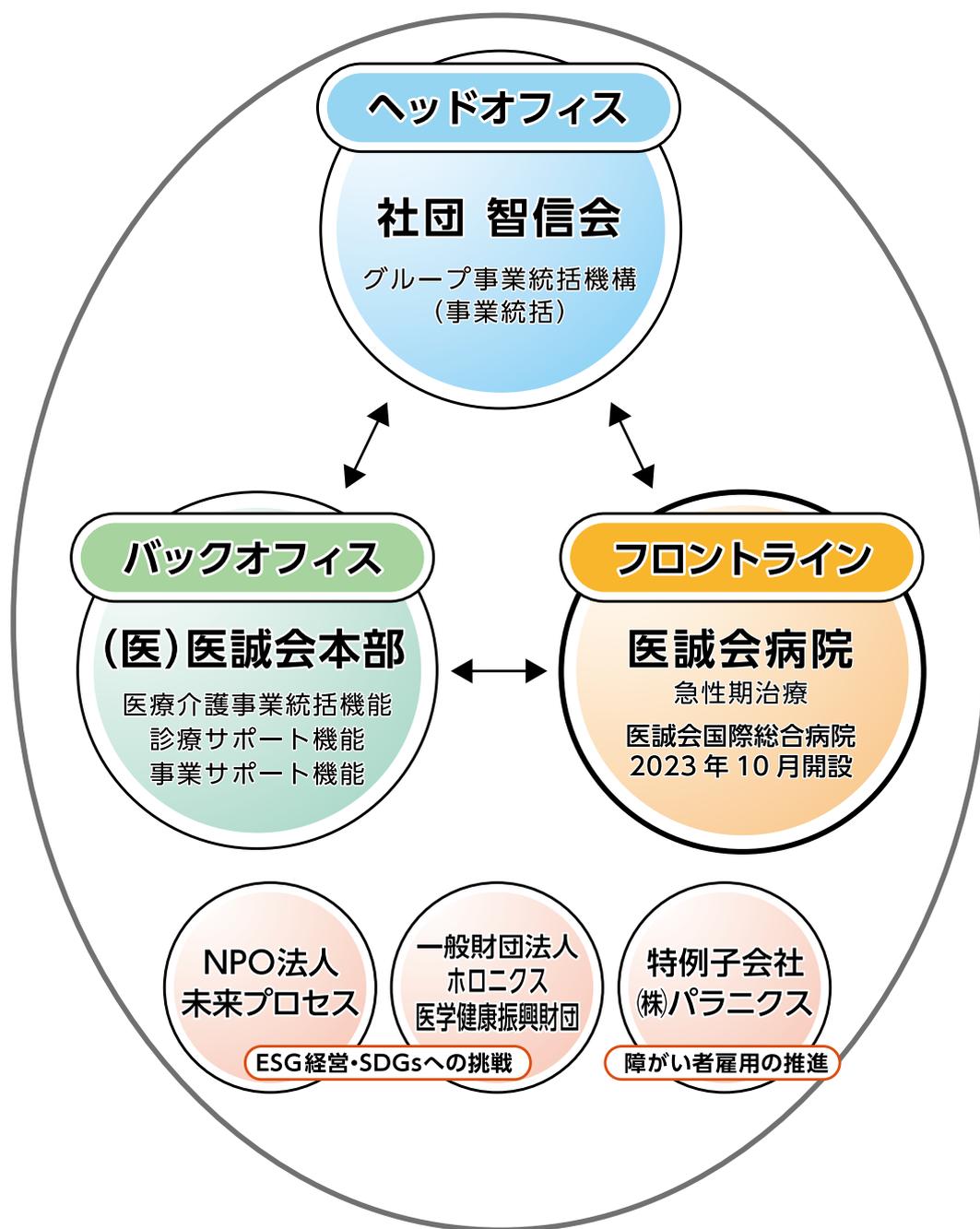
従来の通院されている患者さんについては、送迎バスの充実など移転しても問題なく受診できる環境を整え、また地域の病院、クリニックからの受け容れ依頼についてもよりスムーズにいけるよう努力いたします。

今後ともより一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

3 ホロニクスグループ紹介

ホロニクスグループ

グループの経営理念：豊かな健康文化の創造と生命質の向上への限りなき挑戦
医誠会スピリッツ：Patient First



ヘッドオフィス

医療法人医誠会は透明性の高い開かれた組織、フラットな組織(ホラクラシー MIX 型組織)を目指します。

I. 統治機構改革

〈ホラクラシー MIX 型統治システム〉

専門分散した病院では、旧来のようなヒエラルキー型組織より、ホラクラシー MIX 型組織の方が時代適合性が高い。

フォー・プラス・ワン

権威による統治の終焉
(感情的・権威主義的叱責の禁止)

① 縦管理

(緩やかなヒエラルキー)
(秩序の維持装置)

Standardization

② 横管理

(職能横断的管理)
(「標準化教育」・品質管理)

Integrate

(学際的・統合科学的知見)

③ 斜管理

(職種横断的管理)
(「問題解決」「課題実現」に対する職種間連携)

Solution Revolution

(問題の可視化と問題の組織化、解決精度と解決スピード)

④ タスクフォース

(組織的「問題解決」装置)
(発生時点解決・専門職解決)



自律的行為規範の希薄化

(規範意識の低下、制御装置の自壊)

★ 法人ルール

(他律的行為規範)
(ルールとマナーとペナルティ)

II. 経営手法改革

〈「データドリブン経営」「タレントマネジメントシステム」〉

経験と勘による主観的判断からデータとアルゴリズムに基づく客観性の高い意思決定を医療の世界で行う。
変数(経験知識)の少なさと感情の関与が判断精度を低下させる。
答えは AI に聞け!(ベストソリューション・ベストプラクティス)
人が意思決定の能力を手放す日は近い
シンギュラリティ(技術的特異点)、2029年人工知能が人間の脳を超える。

① Data Driven Management

データとアルゴリズムに基づく客観性の高い意思決定を経営の世界で行う。

② Talent Management System

社員一人ひとりのスキルや能力・経験を一元管理し、そのデータを人材戦略に生かす。

ヘッドオフィス

ESG 経営

環境への取り組み

環境保護活動の一環として、絶滅危惧種であるオランウータンの保護活動、マレーシアでの植林活動



希少動物保護支援活動・マレーシア植林活動



2021年 マレーシア植林活動
オンライン贈呈式



ポリ袋削減活動

社会貢献 Social

公開医学講座、ボランティア活動、健康意識の向上・健康寿命の延伸に向けた啓蒙啓発活動
大阪府「子ども輝く未来基金」への寄附



健康フォーラム「未来医療への挑戦」



大阪府「子ども輝く未来基金」への寄附



オンライン公開医学講座

企業統治 Governance

コンプライアンスの遵守、法務体制の整備（弁護士3名体制）、
コンプライアンス推進室・リエゾンルームの設置、法令遵守、働き方改革の実現への取り組み

常勤体制

リエゾンルーム（悩み事相談室）	
弁護士	竹本 昌史 藤田 朋香 福井 妃菜子（産休） 弁野 由起子（看護師）
医療メディエーター	弁野 由起子（看護師）
受付ホットライン	TEL (06)6311-7867
コンプライアンス推進室	
弁護士	竹本 昌史（室長）
感染監査室	
感染管理認定看護師	飯田 賢人

内部統制・危機管理対策室	
弁護士	竹本 昌史
危機管理 （大阪府警OB）	湯之上 利博 長野 吉博 二川 和彦
情報監視 〔ネット監視 サイバー犯罪〕	佐伯 俊明
風紀管理	里内 美和子

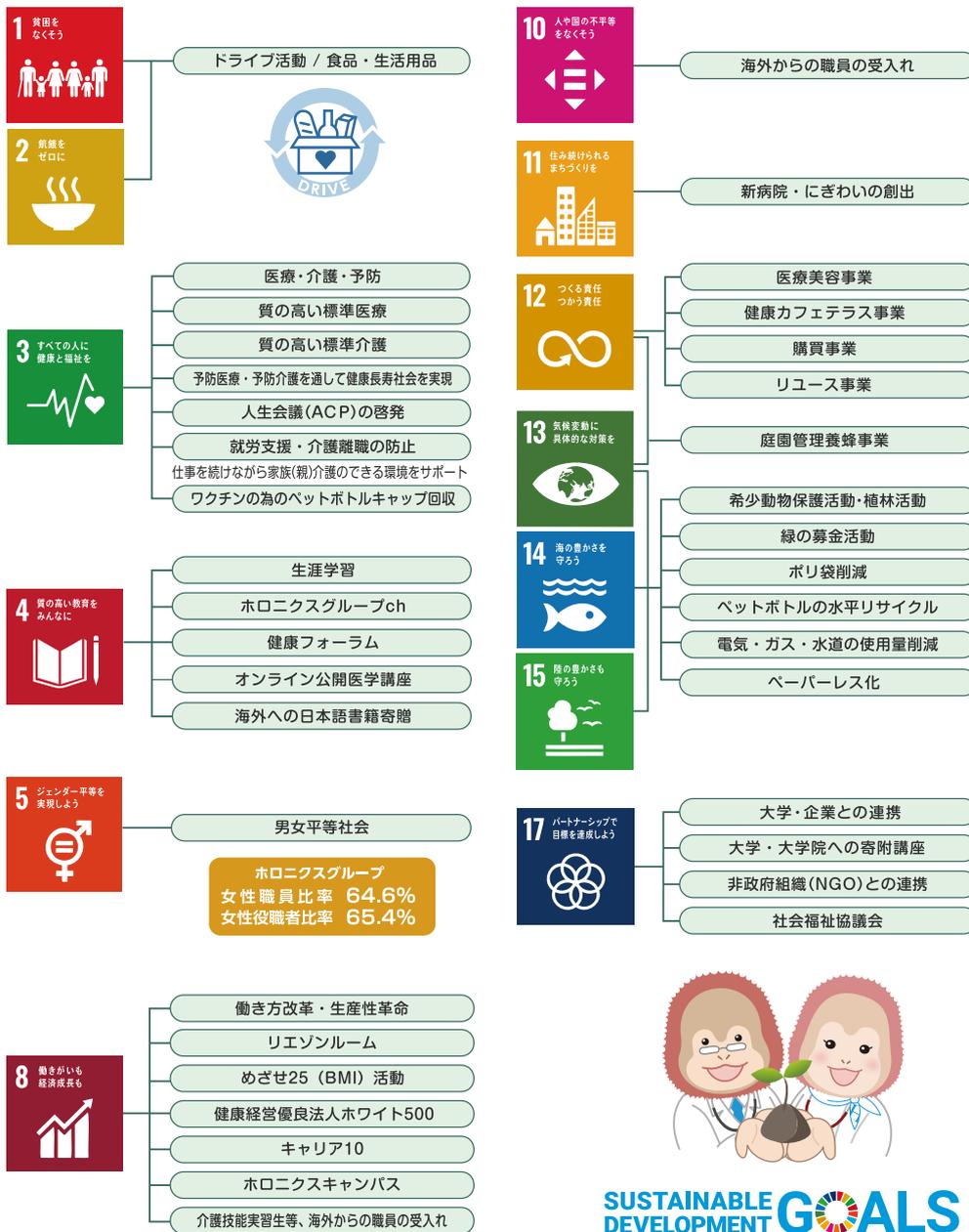
非常勤体制

弁護士	
中村宏法律事務所	中村 宏 中村 豪
さくら法律事務所	小池 裕樹
公認会計士	
樋口公認会計士事務所	樋口 秀和
会計監査	
有限責任監査法人トーマツ	

ヘッドオフィス

(持続可能な開発目標)

ホロニクスグループが目指す13の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

バックオフィス

診療サポート機能

経営企画 医師対策 看護師対策 ケアスタッフ対策
医療営業広報 企画デザイン 患者管理支援

事業サポート機能

総務管理

総務・庶務・外交安全・法務

人事管理

人事採用・教育管理・労務管理・人事情報管理

資材供給

医薬品・医療機器・医療材料・リネンサプライ・物品購買・医療ガス

運営支援

医療情報・保育・清掃・車両駐車場・医療保安警備

ファシリティマネジメント

施設設備・不動産運用

BCP (Business Continuity Plan、事業継続計画)

災害防止対策と災害時対策

(1) 自然災害 (地震・台風・洪水・落雷・降雪)

自然災害 医療機器被害 備蓄品 (保存食・水)

(2) その他災害

防火 感染 心停止 (心室細動) ハッカー対策

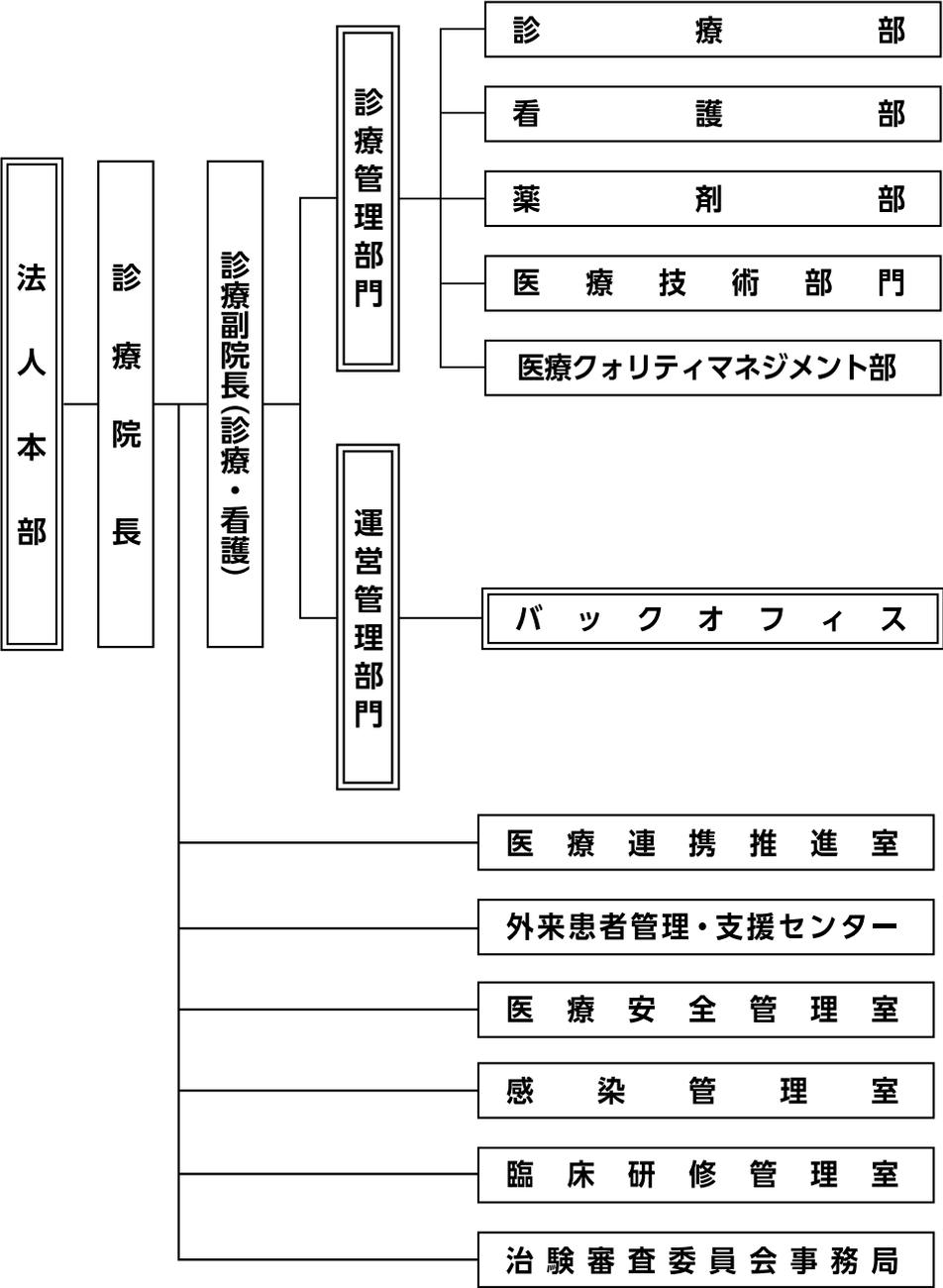
困ったときのホットライン

Solution Revolution

組織的問題解決、発生時点解決

Task force の設置 / Task force による Best Solution

フロントライン



医誠会国際総合病院プロジェクト

扇町 医誠会ルネッサンス

新しい健康文化の発信基地

Project id

Wellbeing for Your Life

<医誠会の挑戦>

テーマ 健康新時代：医療と劇場とセンテナリアンズ



Landmark Hospital
Authenticity Minded

2023年10月開設 Medical Complex

-医療・健康・美容医療-

事業コンセプト
医療と劇場とAIと

メディカルコンテンツ：低侵襲医療

内視鏡治療

血管内治療

ロボット手術

医誠会国際総合病院(560床)
顔認証システム・全室個室仕様・屋上ヘリポート・免震構造

顔認証システム

搬送ロボット

Flying car

ネットスタジオ

パブリックスペース

無人コンビニ

都市養蜂

劇場

ヘルシーカフェテラス

キッチンスタジオ

24時間フィットネス

健康診断・人間ドック

病児保育・保育所

子ども英会話教室

豊かな健康文化の創造と生命質の向上への限りなき挑戦

2025年大阪・関西万博開催

<医療ツーリズム>

医誠会国際総合病院へのアクセス時間

屋上ヘリポート(2030年 空飛ぶ車の実用化)



電車でのアクセス

- 地下鉄堺筋線
[扇町]駅(5番出口)から徒歩 **3分**
 - JR環状線
[天満]駅から徒歩 **7分**
 - JR[大阪]駅から徒歩 **14分**
- #### 車でアクセス
- 阪神高速守口線
[扇町出口]より **すぐ**
 - JR[大阪]駅より約 **5分**
 - JR[新大阪]駅より約 **10分**

関西の主要ビジネス拠点からのアクセス時間



大阪国際空港(伊丹)経由 国内主要都市からの所要時間



関西国際空港経由 海外からの所要時間



4 病院概要

名 称	医誠会病院
開 設 者	理事長 谷 幸治
管 理 者	病院長 松本 勝美
所 在 地	大阪府大阪市東淀川区菅原 6 丁目 2 番 25 号
病 床 数	327 床 (内、ICU12 床、HCU12 床、SCU6 床)
診 療 科 目	内科、呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、肝臓内科、腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、外科、整形外科、形成外科、眼科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、放射線科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、乳腺・内分泌外科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科
診 療 指 定	保険医療機関、生活保護指定医療機関、労災保険指定医療機関、原爆被爆者一般疾病医療機関、結核指定医療機関、自立支援医療機関、公害治療、特定疾患
主な施設と設備	手術室 (5 室)、ICU (12 床)、HCU (12 床)、SCU (6 床) マルチスライス CT (Discovery CT750 HD 64 列) マルチスライス CT (optima CT660 Pro 64 列)、 3T MRI (MAGNETOM skyra)、1.5T MRI (SIGNA HDx) PET-CT (16 列・Discovery ST Elite)、Angio 装置 2 台 (Innova IGS630、BRANSIST Safire HF-9) FCR 装置 2 台、ポータブル装置 4 台 PACS (SYNAPSE)、セノアドバンテックス 1 台、エクセラリス 1 台 (PET 解析用) AW4 台、TV 装置 2 台、動画像ネットワークシステム (Goodnet) フラットパネル、デジタルマンモグラフィー装置、リニアック (Varian VitalBeam) 外科用イメージ 3 台、胃部検診車、胸部検診車、乳がん検診車 (蓄電池搭載) 子宮がん検診車、胃部内視鏡検診車 形成外科用炭酸ガスレーザー、Q スイッチアレキサンドライトレーザー ロングパルスアレキサンドライトレーザー ALEX-2、内視鏡下手術装置 (胸腔・腹腔・子宮) 超音波手術装置、人工心肺装置、体外衝撃波結石破砕術装置 軟性腎盂尿管鏡レーザー結石破砕装置、PED システム 各種内視鏡装置、各種超音波診断装置、動脈硬化測定装置、エルゴメーター 骨密度測定装置
診 療 体 制	電子カルテ導入 (フィルムレス)、7 : 1 看護、全科予約診療、 自費診療 (人間ドック、検診センター、美容レーザー治療)

構造・敷地 建築面積（2,923.56㎡）、延面積（10,509.54㎡）、敷地面積（4,083.91㎡）

電話番号 06 - 6326 - 1121

FAX番号 06 - 6329 - 6111

アクセス ●自動車利用の場合

- ・ 阪神高速 12 号守口線 [長柄] から約 10 分
- ・ 阪神高速 11 号池田線 [豊中南] から約 30 分
- ・ 新大阪駅から約 15 分、大阪駅から約 30 分

●電車利用の場合

- ・ 新大阪から
おおさか東線「新大阪」から「JR 淡路」下車徒歩約 8 分
大阪メトロ（御堂筋線）「西中島南方」下車、阪急京都線「南方」より乗車
「淡路」下車徒歩約 10 分
- ・ 大阪から
阪急「梅田」から阪急京都線「淡路」下車徒歩約 10 分

●バス利用の場合

- ・ 大阪駅から
大阪シティバス井高野車庫行きに乗車、「菅原」下車すぐ



5 施設基準

基本診療料

- 急性期一般入院料 1 (旧 7 : 1)
- 臨床研修病院入院診療加算 1 基幹型
- 救急医療管理加算 (1日につき)
- 超急性期脳卒中加算
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 1 15 対 1
- 急性期看護補助体制加算 (25 対 1) 看護補助者 5 割以上
- 看護職員夜間 12 対 1 配置加算 1
- 緩和ケア診療加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算 1
- 医療安全対策地域連携加算 1
- 感染防止対策加算 1
- 感染防止対策地域連携加算
- 抗菌薬適正使用支援加算
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- 後発医薬品使用体制加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 2
- データ提出加算 2 イ .200 床以上
- 入退院支援加算 1
- 地域連携診療計画加算
- 入院時支援加算
- 総合機能評価加算
- 認知症ケア加算 3
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算 1
- 地域医療体制確保加算
- 特定集中治療室管理料 3
- 早期離床・リハビリテーション加算
- 早期栄養介入管理加算
- ハイケアユニット入院医療管理料 1
- 脳卒中ケアユニット入院医療管理料

特掲診療料

- 遠隔モニタリング加算
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料

- がん患者指導管理料イ
- がん患者指導管理料ロ
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料
- 救急搬送看護体制加算 1
- 外来放射線照射診療料
- ニコチン依存症管理料
- 療養・就労両立支援指導料
- 開放型病院共同指導料（Ⅱ）
- がん治療連携指導料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅患者訪問看護・指導料 注 2 に規定する施設基準
- 持続血糖測定器加算
- HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 検体検査管理加算（Ⅰ）
- 検体検査管理加算（Ⅳ）
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 植込型心電図検査
- センチネルリンパ節生検（片側）
- ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- CT 撮影及び MRI 撮影
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 連携充実加算
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算
- がん患者リハビリテーション料
- 集団コミュニケーション療法料
- 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
- 多血小板血漿処置
- 人工腎臓
- イ導入期加算 1
- 透析液水質確保加算
- 組織拡張器による再建手術（乳房の場合に限る）
- 椎間板内酵素注入療法

- 脊髄刺激装置植込術
- 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 2、単独法）
- 乳腺悪性腫瘍手術
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
- 経皮的冠動脈形成術
- 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
- 経皮的冠動脈ステント留置術
- 胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
- ペースメーカー移植術 及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術 及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
- 大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
- ダメージコントロール手術
- 体外衝撃波胆石破碎術
- 腹腔鏡下肝切除術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術
- 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
- 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
- 輸血管理料 I
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料（I）
- 高エネルギー放射線治療
- 病理診断管理加算 1

6 学会認定施設

<修練施設> ※一般社団法人日本専門医機構記載順による

【基本領域】

- 日本内科学会新専門医精度専門研修プログラム（内科領域）基幹病院
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本脳神経外科学会専門医研修プログラム研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本麻酔科学会専門研修プログラム基幹病院
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設（救急科専門医育成プログラム）
- 日本救急医学会救急科領域専門研修プログラム基幹病院
- 日本形成外科学会認定施設

【Subspecialty 領域】

- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本肝臓学会肝臓専門医制度特別連携施設
- 日本老年医学会認定施設
- 日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
- 三学会構成心臓血管外科学会専門医機構関連施設
- 日本脊髄外科学会認定訓練施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設

【区分未定】

- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター（PSC）施設
- 日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本膀胱学会指導施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 病院総合医育成プログラム
- 人間ドック健診専門医制度暫定研修施設

<実施施設>

- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- マンモグラフィ検診施設画像認定施設（検診車）
- マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- 日本臨床栄養代謝学会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- 日本人間ドック学会人間ドック・健診施設機能評価
- 日本人間ドック学会・日本病院会指定優良人間ドック・健診施設
- 日本脳ドック学会認定施設

7 (初期・後期) 臨床研修

- <初期臨床研修 研修開始時期：大学卒業後もしくは医師免許取得後 研修期間：2年>
 - 基幹型臨床研修病院（定員3名）
 - 特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定病院
 - 協力型臨床研修病院
 - 大阪市立大学医学部附属病院：（定員1年次：4名）
 - 協力施設
 - 関西医科大学附属病院
 - 関西医科大学総合医療センター
 - 松下記念病院

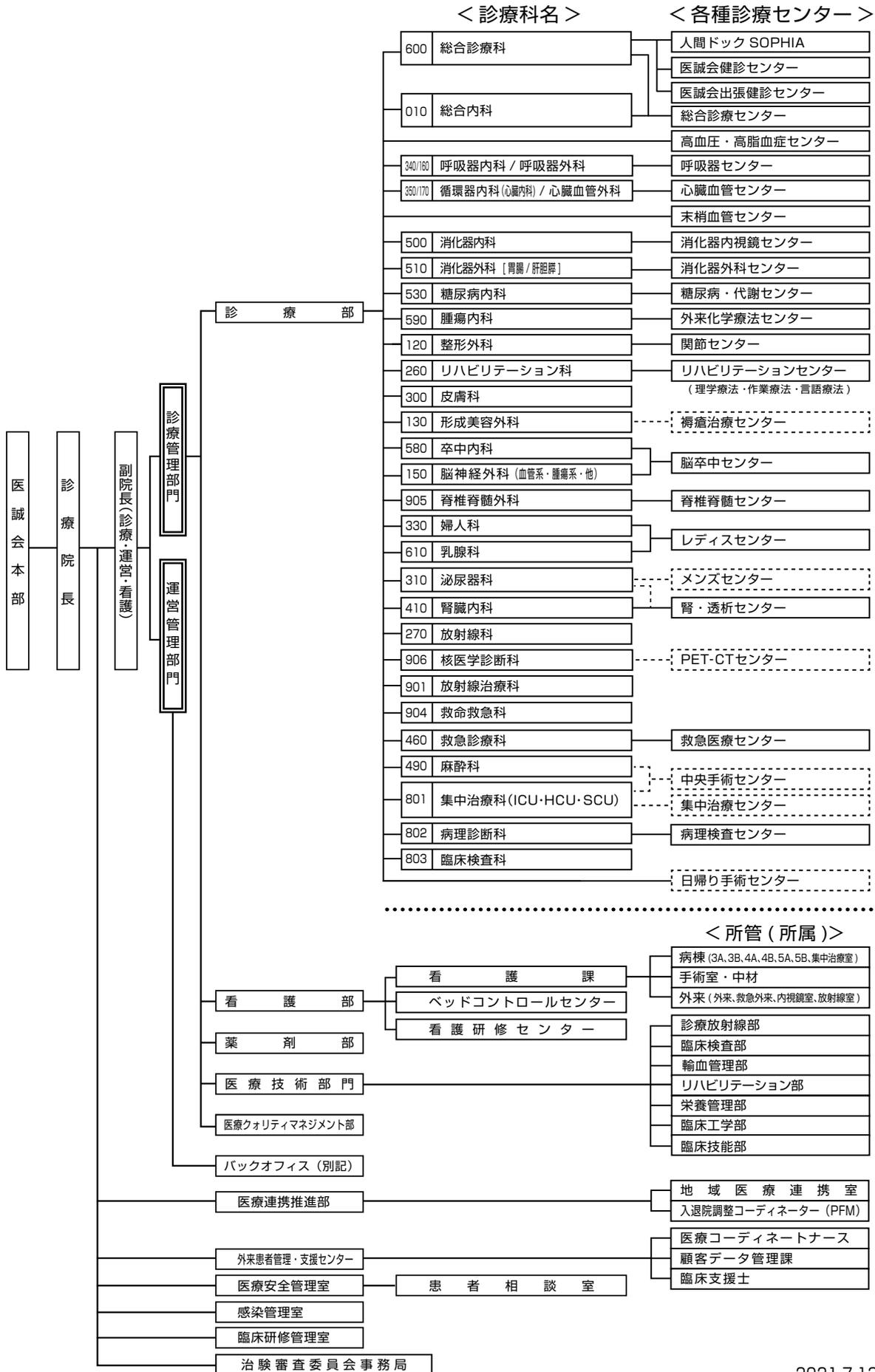
- <後期研修（新専門医制度基本プログラム）研修開始時期：初期臨床研修修了後 研修期間：3～5年>
 - 【基本領域】
 - 基幹施設（医誠会病院で採用、連携施設へ3～6ヶ月派遣）
 - ・救急科：2名
 - 連携施設：大阪大学、兵庫医科大学病院、長崎医療センター、城東中央病院
 - 特別連携施設：児島中央病院、東春病院
 - ・麻酔科：3名
 - 連携施設：大阪大学、県立西宮病院、母子医療センター、公立浜坂病院、千里救命救急センター
 - ・内科：1名
 - 連携施設：松下記念病院、城東中央病院、児島中央病院
 - 【Subspecialty 領域】
 - ・老年内科
 - 連携施設：松下記念病院、城東中央病院、茨木医誠会病院、神崎中央病院、赤井クリニック

- 連携施設（基幹施設で採用、医誠会病院へ派遣）
 - ・内科／基幹施設：大阪市立大学、松下記念病院
 - ・総合診療科／基幹施設：松下記念病院
 - ・外科／基幹施設：大阪大学
 - ・脳神経外科／基幹施設：大阪大学
 - ・形成外科／基幹施設：関西医科大学
 - ・病理診断科／基幹施設：兵庫医科大学

8 沿革

1983年(昭和58年)	病院開設 211床
1986年(昭和61年)	増床 327床
1987年(昭和62年)	医療法人 医誠会 名称変更
1998年(平成10年)	日帰り手術センター開設
1999年(平成11年)	健康増進センター開設
2000年(平成12年)	血管内療法センター開設
2001年(平成13年)	ロボット手術センター開設、病理検査センター開設、電子カルテ導入、キッズルーム(外来患者用無料託児所) 開設、外来診療予約制導入
2002年(平成14年)	画像応用低侵襲治療センター開設、MRI (SIGNA TwinSpeed 1.5T) 導入、病診連携システム稼働(画像転送システム完成)、病患連携システム稼働(インターネット電子カルテ閲覧サービス)、超高速マルチスライス3DCT「SOMATOM16」導入(日本初)
2003年(平成15年)	集束超音波装置(FUS) 導入(アジア初)、乳腺科開設、マンモグラフィ(MAMMOMAT 3000Nova) 導入、呼吸器病センター開設、MRI3号機稼働、免疫化学療法センター開設
2004年(平成16年)	開放型病室(5床) 認可、電子カルテシステムのバージョンアップ、リニアック装置稼働
2006年(平成18年)	PET 棟完成、レディスセンター開設
2007年(平成19年)	CT 撮影装置更新
2008年(平成20年)	脳卒中ケアユニット(SCU) 入院医療管理料、医師事務作業補助体制加算算定開始
2009年(平成21年)	DPC 対象病院、特定集中治療室(ICU) 管理料算定開始
2010年(平成22年)	基幹型臨床研修病院の指定、部検室設置、SCU 増床
2011年(平成23年)	体外衝撃波結石破碎装置 ドルニエ デルタⅡ 導入 MRI 2台バージョンアップ更新
2014年(平成26年)	高度治療室(highcareunit) 入院医療管理料算定開始
2015年(平成27年)	超高速マルチスライス3DCT「DiscoveryCT750HD64列」導入
2016年(平成28年)	マルチスライスCT Optima CT660 導入 Bi-Plane デジタルX線血管撮影装置 導入
2017年(平成29年)	放射線治療装置(リニアック) Vital BEAM(米国 VARIAN 社製) 導入
2018年(平成30年)	子宮がん検診車導入
2019年(令和1年)	胃管内視鏡検診車
2020年(令和2年)	乳がん検診車(蓄電池搭載車)

9 医誠会病院組織図



2021.7.13 現在

11 各科紹介

総合診療センター（総合内科）

特定の臓器や疾患にとらわれない全人的・包括的診療を行います。生活習慣病など複数の疾患を持つ患者さんでは全身管理病態を明らかにして各専門科と連携して治療に当たります。

1. スタッフ

医師



センター長 / 部長

もりた りゅうへい
森田 龍平 (副院長)

資格

医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本老年医学会 老年病指導医
日本医師会 認定産業医
厚生労働省医政局 指導医講習会 修了



部長

やまぐち ひろし
山口 博司

資格

日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 循環器専門医



副部長

かいち しんじ
鶏内 伸二

資格

日本病院会 病院総合医
日本病院総合診療医学会 認定医
日本消化管学会 胃腸科専門医
日本小児科学会 小児科指導医
日本小児循環器病学会 小児循環器専門医
認定産業医
PEG・在宅医療学会 嚥下機能評価研修会 (PON VEセミナー) 修了



医長

よしの ふゆみ
吉野 富裕美

資格

日本放射線腫瘍学会 認定医
日本内科学会 会員

シミュレーションセンター

(スキルスラボ)

胸部外傷トレーナー
胸部肩掛け型自己診断模型 乳房触診練習器
ALSシミュレーター
ALSベビートレーナー (マネキンのみ)
縫合手技トレーニング D腕部セット
ラパロトレーナー 上部消化管ERCP研修モデルE型
大腸内視鏡モデル

女性導尿・洗腸トレーニングモデル
採血・静注シミュレーター シンジョーII
手背の静脈注射シミュレーターAセット
AIRSIMブロンコ
CVC穿刺挿入シミュレーター

医療技術系

看護師

(総合診療センター専任: 7名)

松井 智子

大阪糖尿病療養指導士
フットケア指導士

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

岩下 祐希江

医師事務作業補助技能認定

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

寺田 智子

医療営業

吉見 麻子

(総合診療センター担当)

2. 施設認定

日本老年医学会認定施設
日本老年医学会認定研修施設
日本内科学会認定医制度教育関連施設

3. カンファレンス等

総合内科 カンファレンス 毎週火曜日 午後5時30分から 202号室
ミニカンファレンス 毎週金曜日 午後0時30分から 外来

4. 特徴とする診療

近年の医療の目覚ましい進歩に伴い医師の専門化・細分化が益々進んでいる。

その反面、複数の病気を持つお年寄りやいろいろな症状を訴える患者さんの診療には必ずしも対応できていないという問題があり、特定の臓器や疾患にとられず全人的・包括的に患者さんを診る『総合内科』の存在が注目されている。いわゆる内科疾患を中心に、生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症）など複数の疾患をお持ちの患者さんの全身管理、原因不明の感染症など多岐にわたる疾患が守備範囲となる。今後も内科の枠にとられることなく各専門診療科との連携を密にとりながら広く深い視野をもって総合的な診療を目指すとともに高度な医療を提供することを目標にしている。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	142	109	61	88	150	94	73	60	52	144	119	183	1,275
	初診	293	238	201	170	220	173	160	142	185	315	270	390	2,757
	再診	1,278	1,200	1,210	1,238	1,198	1,213	1,125	1,145	1,227	1,035	1,082	1,253	14,204
	総計	1,713	1,547	1,472	1,496	1,568	1,480	1,358	1,347	1,464	1,494	1,471	1,826	18,236

6. 今後の抱負

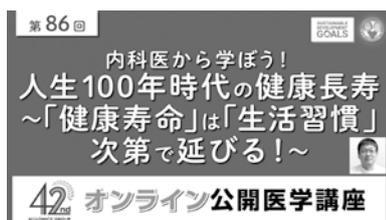
生活習慣病を中心に、患者さん一人ひとりに見合った治療を、医師だけではなく、看護師、栄養士、理学療法士、医療クラーク、コーディネーターなどの多職種混合チームでサポートしていく仕組みをさらに発展させたいと考えている。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

(2021 年 4 月～ 2022 年 3 月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
3/3	木	内科医から学ぼう！人生 100 年時代の健康長寿 ～「健康寿命」は「生活習慣」次第で延びる！～	副院長 総合診療センター センター長 兼 部長 森田 龍平 医師	110



<https://youtu.be/ehere2NMpwM>

8. その他

①国内学会発表

< 関戸 美真、鷄内 伸二 >

- ・ 第 235 回日本内科学会近畿地方会〔2021.3.12〕
精神科のない救急指定病院に入院した悪性症候群のまとめ

②国内論文

< 谷口 まり子、森田 龍平、原田 玲子、向 由美 >

- ・ 食後トリグリセライド血症のある2型糖尿病患者における基礎カーボカウントによる食事指導の有用性についての検討
Journal of the Japan Diabetes Society 第 54 号 S.215 2021.4.30

糖尿病・代謝センター（糖尿病・代謝内科）

多くの医療職種で糖尿病治療チームを編成しています。チーム力を結集し、糖尿病を持つ方に最適なオーダーメイド治療を提供し、患者さん自身の健康意識を高め、自己管理能力アップを目指します。

1. スタッフ

医師



センター長 / 部長

まずだ ひろし
増田 浩史

資格

医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医
日本内分泌学会 内分泌代謝（内科）専門医
日本医師会 認定産業医



部長

もりた ちひろ
森田 千尋

資格

医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本糖尿病学会 糖尿病専門医
日本心身医学会 心身医療「内科」専門医
日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士



医長

たなか ゆうこ
田中 裕子

資格

日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医



非常勤

かさはら ちかこ
笠原 智香子

資格

日本小児科学会 小児科専門医
日本アレルギー学会 アレルギー専門医
日本内科学会 認定内科医

医療技術系

(兼務)

薬剤師

臨床検査技師

管理栄養士

係長
中澤 秀美
日本糖尿病療養指導士

阿部 みさき

山田 匠
消化器内視鏡技師

桑原 毅

宮崎 汐里

吉山 真緒

理学療法士

健康運動指導士

社会福祉士

医療技術系

看護師

(糖尿病・代謝センター専任：2名)

松井 智子

大阪糖尿病療養指導士 / フットケア指導士

運営事務系

(兼務)

臨床支援士

デ-ザインティスト

医療営業

崎辺 千穂

上原 麻穂

吉見 麻子

(糖尿病・代謝センター担当)

専門係長

渡部 勇樹

日本糖尿病療養指導士
3学会合同呼吸療法認定士
腎臓リハビリテーション指導士
心臓リハビリテーション指導士

濱辺 希

大阪糖尿病療養指導士
健康運動実践指導者

下地 遥

精神保健福祉士
診療報酬請求事務能力認定

中野 宏美

杉田 奈津

糖尿病1泊2日教育入院 土日(休日)利用可

入院1日目 (9:30入院)

- ▶ 医師と面談
- ▶ 糖尿病についてのマンツーマンの学習
(薬剤師・栄養士・看護師)
- ▶ 運動(リハビリスタッフ)

入院2日目 (13:00退院)

- ▶ 糖尿病の学習
(栄養士・リハビリスタッフ・看護師)

2. 施設認定

日本糖尿病学会認定教育施設

3. カンファレンス等

糖尿病・代謝センター 抄読会：

毎週月曜日午後 1 時から 内科外来（医師、看護師）

糖尿病チーム会：

（毎月第3木曜日）午後 4 時から 会議室（糖尿病チームスタッフ）

→ COVID-19 流行中のためメールでも対応している

糖尿病ミニ勉強会：

毎月第 1 / 第 3 木曜日 午後 0 時 45 分～午後 1 時まで 22 診察室（院内全職員対象）

→ COVID-19 流行中のため休止している

4. 特徴とする診療

外来では慢性疾患である糖尿病の合併症予防・進行阻止にむけ、1 年単位での合併症管理・生活指導を行っている。看護師、管理栄養士が中心となり、腎症悪化防止・足壊疽予防（フットケアなど）を行っている。リハビリテーション科が中心となり、適切な運動指導も行っている。また、健診センター（SOPHIA）で発見された耐糖能異常者に対し、生活改善を最重点とした早期からの治療介入をしている。入院では、多忙な現代人むけに、週末土日一泊二日の、糖尿病合併症チェックと自己管理能力向上のための短期教育入院を行っている。救急患者が多い病院であることから、教育入院のみならず、低血糖性・高血糖性昏睡の救急入院治療を担当したり、糖尿病を合併する脳・心血管系、整形外科系救急疾患や周術期症例に対し共観での血糖管理を行っている。症例に応じ、持続血糖モニタリング（CGM）やインスリンポンプ療法（CSII）を導入し治療している。また、内分泌疾患の診療も扱っており、主に、バセドウ病・慢性甲状腺炎の管理、穿刺吸引細胞診を含む甲状腺腫瘍の診断といった甲状腺疾患の診断・治療、副腎疾患（偶発腫・機能性腫瘍）の診断を行っている。

5. 成果と実績

外来患者数

（2021 年度）

（名）

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	1	0	3	2	0	1	2	3	3	2	1	2	20
	初診	35	21	33	29	27	30	29	29	28	17	17	32	327
	再診	682	612	620	642	648	673	660	644	708	619	612	644	7,764
	総計	718	633	656	673	675	704	691	676	739	638	630	678	8,111

6. 今後の抱負

以下の方針で、糖尿病の各ステージにおけるケアを更に充実させていきたい。

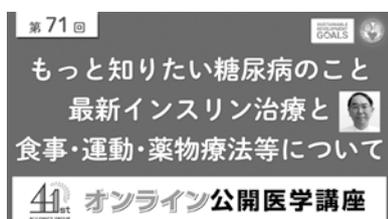
- ①糖尿病一次予防（発症予防）→ WEB 利用も含めた糖尿病教室の開催、健診で耐糖能異常やメタボリックシンドロームと診断例の早期生活指導、治療。肥満者に対する「肥満外来」を活用し、予防医学的診療も深めていく。
- ②糖尿病二次予防（合併症予防）→ 薬物療法のみならず、原点である食事・運動療法指導に努め、定期的な合併症スクリーニングを行う。
- ③糖尿病三次予防（合併症進展阻止）→ 循環器・脳外科・眼科との連携を密にし、ハイリスク例のフットケア / 透析予防指導を充実させる。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

（2021年4月～2022年3月）

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
11/12	金	世界糖尿病デー2021 イベント 「もっと知りたい糖尿病のこと！」	糖尿病・代謝センター センター長 兼 部長 増田 浩史 医師	67



<https://youtu.be/V9iVRya2vtU>

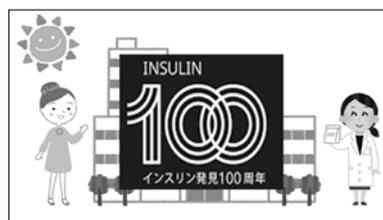
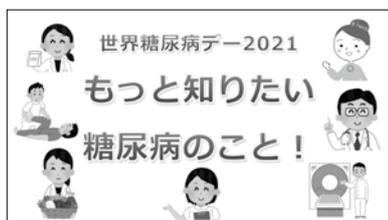
■もっと知りたい糖尿病のこと！ 春のオンライン遠足2021（期間限定 動画配信）

（2021年4月19日～30日）



■世界糖尿病デー2021 イベント「もっと知りたい糖尿病のこと」（期間限定 動画配信）

（2021年11月1日～30日）



8. その他

①国内学会発表

① <増田 浩史、田中 裕子、笠原 智香子、森田 千尋>

・第64回日本糖尿病学会年次学術集会〔2021/5/20-22〕

高血糖緊急症における血小板減少症と臨床的重要度

② <笠原 智香子、田中 裕子、森田 千尋、増田 浩史>

・第58回糖尿病学会近畿地方会〔2021/10/30〕

乳酸アシドーシスとDIC・敗血症に至る気腫性腎盂腎炎を発症した2型糖尿病の一例

③ <富山 麻里奈、田中 裕子、笠原 智香子、森田 千尋、増田 浩史>

・第234回日本内科学会近畿地方会〔2021/12/4〕

バセドウ病の内服継続中に短期間で甲状腺クリーゼを来した一例

心臓血管センター（心臓血管外科、循環器内科）

心臓血管外科治療における全ての疾患が治療可能です。
身体に負担の少ない治療、安全な治療を心がけています。

1. スタッフ

医師（循環器内科）



**心臓血管センター
センター長 / 部長**
とやま やすひろ
外山 康之

資格
医学博士
日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医
日本心臓血管インターベンション治療学会 CVIT 専門医
日本高血圧学会 高血圧専門医
日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士
植込み型除細動器 / ペーシングによる心不全治療研修 修了
大動脈動脈ステントグラフト実習 修了
リードレスペースメーカー実習 修了
厚生労働省医政局 卒後臨床研修指導医養成講習 修了



医長
おかべ しんや
岡部 真也

資格
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 会員
リードレスペースメーカー実習 修了



医長**橋本 哲也**

資格
日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医
日本心臓血管インターベンション治療学会 CVIT 認定医
植込み型除細動器 / ペーシングによる心不全治療研修 修了



医長**木村 紀之**

資格
日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本循環器学会 会員

- ※24時間365日体制で循環器医が院内に常駐
- ※循環器内科と心臓血管外科が連携し、緊急に治療が必要な疾患に総合的に対処
- ※心臓カテーテル検査、血管造影検査、マルチスライスCT、MRI等の検査が24時間施行可能



医師（心臓血管外科）



部長
やました けいご
山下 慶悟

資格
医学博士
日本外科学会 外科専門医
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 修練指導者
心臓血管外科専門医認定機構 関連施設修練責任者
日本心臓血管外科学会 国際会員
奈良県立医科大学 非常勤講師
関西胸外科学会 評議員



医員
にわ こうかい
丹羽 恒介

資格
日本外科学会 会員
日本心臓血管外科学会 会員
日本胸外科学会 会員
日本血管外科学会 会員
日本冠疾患学会 会員



医員**西川 浩史**

資格
日本外科学会 会員
日本心臓血管外科学会 会員
日本胸外科学会 会員
日本血管外科学会 会員
下肢静脈瘤血管内焼灼術 実施医



医員**上田 大輔**

資格
日本外科学会 会員
日本心臓血管外科学会 会員
日本胸外科学会 会員
日本血管外科学会 会員
腹部大動脈瘤ステントグラフト 実施医

- ※心臓手術、胸部及び腹部大動脈瘤手術、末梢血管手術、静脈手術に対応

主要装置

医療技術系

看護師

(心臓血管センター専任：5名)

野崎 香穂

診療放射線技師

(心臓血管センター専任：6名)

主任 作田 雄大
救急撮影認定技師



- 一般撮影装置 3台
- FPD搭載X線TV (SONIALVISION G4)
- 64列 デュアルエナジーCT (Discovery 750HD)
- 64列 CT (Optima 660 Pro Advance)
- PET-CT (16列 Discovery ST Elite)
- MRI 3.0T (MAGNETOM Skyra)
- MRI 1.5T (Signa HDX)
- 血管撮影装置 (Innova IGS 630)
- Cアーム型 X線透視装置 3台
- リニアック (Vital Beam)



運営事務系

(専従)

NCD クラーク

(NCD 登録)

松本 沙織
診療情報管理士

瀧 愛子
英語検定準 2 級

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

加藤 恵子

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

岩本 千翔
実用情報処理技能者資格
英語検定準 2 級

医療営業部

係長 大山 貴司
(心臓血管センター担当)

関連部署 (救急救命士)

(院外搬送)

(16名)

係長 山口 裕子

2. 施設認定

日本循環器学会研修施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本高血圧学会研修施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
心臓血管外科専門医認定修練施設（基幹施設）
胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
下肢静脈瘤に対する血管内治療実施施設

3. カンファレンス等

循環器内科 カンファレンス	火曜日午前 9 時から
術前カンファレンス	火曜日、金曜日午後 4 時から
心臓リハビリテーションカンファレンス	月曜日午後 2 時から（不定期）

4. 特徴とする診療

◆循環器内科：

当センターは急性心筋梗塞や急性大動脈解離、胸部や腹部大動脈瘤破裂、急性下肢動脈血栓塞栓症、シャントトラブルなど、突然に発症し、緊急に治療が必要な疾患にも、いつでも総合的に対処出来るように循環器内科と心臓血管外科とが一体化して設立されています。したがって夜間休日を問わず 24 時間 365 日、あらゆる心臓、血管の病気に対応できる体制を取っています。さらに、心臓カテーテル検査、血管造影検査、マルチスライス CT、MRI 等の検査も 24 時間施行可能で、迅速かつ正確な診断が行える様な体制を取り、疾患、病態に応じて内科的治療や冠動脈形成術、あるいは緊急心臓血管外科手術など最適な治療を最適なタイミングで行えるようにしています。また疾患によっては腎臓内科、脳神経外科、放射線科とリアルタイムでコンサルトしあう事により総合的な治療を迅速に施行可能な体制で患者さんの治療にあたっております。

常に心臓血管センターチームで患者さんのリアルタイムの状態を把握しあい、刻々と変化する患者さんの容態に対応する様にしています。さらに ICU、HCU と緊急で重篤な患者さんの積極的な加療をスムーズに施行するための体制を取っています。

◆心臓血管外科：

弁形成術（僧帽弁形成術、大動脈弁形成術、三尖弁形成術）、それらの小切開低侵襲心臓手術（MICS〈ミックス〉傷跡が小さく見えにくい）、大動脈基部再建手術、肥大型閉塞性心筋症へのモロー手術などの高難度といわれる手術を行っています。冠動脈バイパス手術、弓部大動脈瘤手術、腹部大動脈手術も行っています。特に心臓弁膜症疾患に対する外科治療は MICS（低侵襲小切開下）とよばれる心臓手術を行っています。これは原則 8cm 前後の小さい皮膚切開を用いて、弁形成術または弁置換術、不整脈手術を行い患者さんの早期社会復帰を実現しています。また大動脈瘤の治療に対しては身体にメスをいれないカテーテル治療、大動脈瘤ステントグラフト治療を行うことが出来ます。身体への負担が少なく安全に治療を行えるよう患者さんそれぞれに一番よい治療を提案しています。

◆心臓リハビリテーションチーム：

ICU、HCU に入室された当日より積極的にリハビリテーションチームも参加しています。また外科治療施行前の外来通院時や入院直後よりリハビリチームが介入することにより合併症予防に努めています。当院は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と多くのリハビリ技師数を有し、心臓血管センターの患者さんの早期社会復帰のための心臓リハビリテーションを積極的に行っております。外来通

院リハビリテーションも可能で、退院後のより早い社会復帰へのお手伝いや心疾患発症予防のための心臓リハビリテーションを行っております。

5. 成果と実績

心臓血管外科手術は全般的に増加傾向にあり、重篤な合併症なく効果的で安全な治療を行っております。心臓外科手術・末梢血管外科手術も緊急・待機的手術いずれも安定して行なっています。

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	2	4	3	4	1	2	6	4	3	7	1	3	40
	初診	165	129	153	139	126	172	168	159	118	129	116	146	1,720
	再診	679	617	643	617	628	596	589	571	603	497	513	568	7,121
	総計	846	750	799	760	755	770	763	734	724	633	630	717	8,881

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	7	4	8	8	7	8	13	5	4	10	9	10	93
その他	3	10	6	4	5	4	8	2	8	3	2	2	57

シャント設置術・シャント血栓除去術件数

(2021 年度)

(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

心臓カテーテル・PCI 件数

(2021 年度)

(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40	36	44	47	32	31	35	35	37	29	30	38	434

経皮的血管形成術 (PTA) 件数

(2021 年度)

(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	8	7	12	10	15	9	20	11	12	8	14	128

6. 今後の抱負

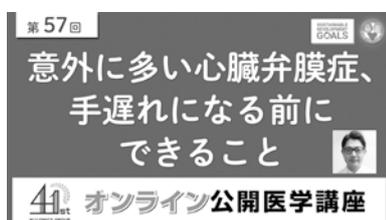
高齢化に伴い手術ハイリスクの患者さんが増加しています。低侵襲外科治療を極め、医誠会病院ならではの、より安心安全の心臓血管医療を推進していきたい。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

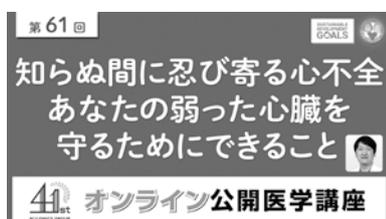
(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
8/13	金	意外に多い心臓弁膜症、手遅れになる前にできること	心臓血管外科 部長 山下 慶悟 医師	74



<https://youtu.be/feRzpD1qmrq>

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
9/3	金	知らぬ間に忍び寄る心不全 あなたの弱った心臓を守るためにできること	心臓血管センター センター長 医誠会病院 循環器内科 部長 外山 康之 医師	105



https://youtu.be/dIEQQ_KMhT8

8. その他

①国内学会発表

< 伴 望、外山 康之、岡部 真也、橋本 哲也、木村 紀之、河村 晃弘、上田 大輔、西川 浩史、丹羽 恒介、山下 慶悟 >

- ・ 第 233 回日本内科学会近畿地方会
「脳梗塞を合併した左室流出路粘液腫の 1 例」

< 外山 康之 >

- ・ Complex PCI & Imaging Conference
「Imaging and physiology guided PCI 2」

呼吸器外科、呼吸器内科

胸腔鏡による低侵襲手術。手術、抗癌剤化学療法、放射線治療などを組み合わせた集学的な肺癌治療。

1. スタッフ

呼吸器内科



部長
もり けいち
毛利 圭二

資格

日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医
日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医
ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
厚生労働省医政局 卒後臨床研修指導医養成講習 修了



副部長
むらかみ あき
村上 亜紀

資格

医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医
肺がんCT検診認定医機構 肺がんCT検診認定医師
日本結核病学会 結核・抗酸菌症指導医
ICD制度協議会 インフェクションコントロールドクター
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
日本医師会 認定産業医
兵庫医科大学臨床教育教授

呼吸器外科



部長
ふくはら けんじろう
福原 謙二郎

資格

医学博士
日本外科学会 認定医・外科専門医・指導医
日本胸外科学会 認定医
日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医・指導医
日本呼吸器外科学会 評議員
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了



副部長
ひらの かつや
平野 勝也

資格

日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了



医員
かただ あつし
堅田 敦

資格

日本内科学会 認定内科医



副部長
はやし あきお
林 明男

資格

日本外科学会 認定医・外科専門医
日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
ICD制度協議会 インフェクションコントロールドクター
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
厚生労働省医政局 卒後臨床研修指導医養成講習 修了

医療技術系

看護師

(呼吸器外科、呼吸器内科専任：3名)

家迫 由佳里

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

富岡 理恵

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

岩本 千翔

実用情報処理技能者資格
英語検定準2級

医療営業部

係長
大山 貴司

(呼吸器内科・呼吸器外科担当)



医員
にしい たかお
西井 豪

資格

日本外科学会 外科専門医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了

2. 施設認定

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設

3. カンファレンス等

呼吸器センターカンファレンス 毎週月曜日 15時から

4. 特徴とする診療

呼吸器外科専門医 2 名、呼吸器内科専門医 3 名 + 専門医取得予定医 1 名の体制ですが、全員、臨床経験豊富な医師で、的確な診療を行っております。

肺癌、自然気胸、膿胸、縦隔腫瘍、喘息、肺炎、非結核性抗酸菌症、肺気腫、間質性肺炎、呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群など、呼吸器疾患全般にわたり、幅広く対応しております。また、慢性呼吸不全に対する在宅酸素療法や非侵襲的人工呼吸器管理、禁煙外来などにも取り組んでおります。個々の患者さんの生活背景も考慮した最適な治療法の選択、安全で身体に負担の少ない気管支内視鏡検査および低侵襲手術（胸腔鏡下手術）を行っています。早く病気が治るよう最善の治療を心がけ、入院期間の短縮、早期に社会復帰できるようリハビリテーションも併用し、高度な医療の提供に努めております。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
呼吸器外科 患者数	新患	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
	初診	12	10	7	10	8	16	16	10	11	11	3	15	129
	再診	39	28	28	38	35	31	50	33	34	30	21	18	385
	総計	52	39	35	48	43	47	66	43	45	43	24	33	518
呼吸器内科 患者数	新患	2	0	3	5	6	8	5	5	3	2	2	1	42
	初診	84	72	113	81	82	85	100	84	84	71	121	87	1,064
	再診	360	338	353	362	346	382	333	352	366	336	290	378	4,196
	総計	446	410	469	448	434	475	438	441	453	409	413	466	5,302
センター月別合計		498	449	504	496	477	522	504	484	498	452	437	499	5,820

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	2		9	2	5	5	3	1	4	7	3	3	44
その他									2				2

6. 今後の抱負

チーム医療で包括的に呼吸器疾患を診ていきます。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■第4回 医誠会病院 WEB 症例検討会 WEB 講習会

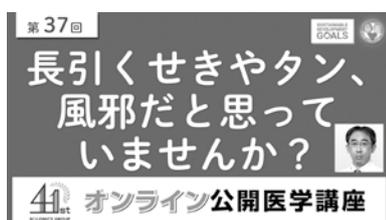
(2021年12月16日(水) 14:00～)

「気管支喘息における病態と初期対応」(医師会向け) 村上 亜紀 医師

■オンライン公開医学講座

(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
4/1	木	長引くせきやタン、風邪だと思っていませんか？	呼吸器内科 部長 毛利 圭二 医師	79



<https://youtu.be/ZdYVNbQ9Gp8>

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
4/9	金	肺に影があるといわれたら ～呼吸器外科医からのメッセージ～	呼吸器外科 部長 福原 謙二郎 医師	64



<https://youtu.be/zz-P1JicSdg>

8. その他

①国内学会発表

<毛利 圭二・村上 亜紀・堅田 敦・平野 勝也・藤谷 真弓・土田 泰昭>

・第234回 日本内科学会近畿地方会 2021年12月4日(土)

「卵巣粘液性境界悪性腫瘍および粘液膿胞腺に伴う Pseudo-Meigs 症候群の1例」

消化器内科／消化器内視鏡センター

鎮静剤を用いた苦痛の少ない内視鏡検査・治療。食道・胃・大腸・肝・胆・膵と多岐に渡る領域で消化器外科とも連携した多彩な治療を行います。

1. スタッフ

医師



**センター長
主任部長**
ふくち たくみ
福知 工

資格

日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 消化器病指導医
日本消化管学会 胃腸科認定医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
日本消化器病学会 学会評議員
日本消化器病学会 総会・大会学会評議員
PEG：在宅医療学会 着下機能評価研修会 (PDN VEセミナー)修了
兵庫医科大学 臨床教授
関西医科大学 消化器肝臓内科 臨床教授



医長
こが ひでおき
古賀 英彬

資格

日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
日本胆道学会 指導医
日本評議学会 認定指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
日本消化器病学会 近畿支部評議員



医長
すぎやま こうへい
杉山 浩平

資格

日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医



医員
うつのみや りん
宇都宮 蘭

資格

日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 消化器病専門医

医療技術系

看護師

(消化器内科専任：5名)

主任 河野 洋子

主要装置

内視鏡光源システム (CLV-290) 5台
上部消化管汎用ビデオスコープ 経口 11本 (内拡大観察可 4本)
上部消化管汎用ビデオスコープ 経鼻 9本
下部消化管用電子スコープ 10本
十二指腸ビデオスコープ 3本 (側視鏡)
胆道スコープ
小腸ビデオスコープ (シングルバルーン)
超音波内視鏡装置 (超音波プローブ) ラジアル1台、コンベックス1台
アルゴンプラズマ凝固システム (内視鏡的アルゴンプラズマ凝固療法) 2台
ヒートプローブ装置
高周波手術装置 4台



上部消化管内視鏡検査

※すい臓がんの早期発見と胆管疾患の専門的な治療

すい臓疾患の専門的な治療：(A) すい臓がん … ①閉塞性黄疸 ②健診でCA19-9上昇 (B) 胆嚢がん … 胆嚢壁肥厚

※人間ドックSOPHIA

自覚症状に乏しいすい臓がんの早期発見の為にすい臓がん検査(3.5万円/税抜):①超音波内視鏡検査(EUS)②MR胆管膵管撮影(MRCP)

シミュレーションセンター

(スキルスラボ)



CVC穿刺シミュレータ研修



上部消化管ERCP研修モデルE型



大腸内視鏡モデル

医療技術系

臨床検査技師

杉田 惇
消化器内視鏡技師

山本 博一
消化器内視鏡技師

運営事務系

(専従/専任)

臨床支援士
(医師事務作業補助者)

片岡 亮子
医師事務作業補助技能認定

データサイエンティスト
(データマイニング業務)

岩本 千翔
実用情報処理技能者資格
英語検定準 2級

医療営業

吉見 麻子
(消化器内科担当)

2. 施設認定

日本消化器内視鏡学会認定指導施設

日本消化器病学会認定指導施設

日本胆道学会認定施設

日本膵臓学会認定施設

3. カンファレンス等

消化器カンファレンス（消化器内科・消化器外科・放射線治療科）
毎週木曜日 17時30分から

4. 特徴とする診療

- ・消化器悪性腫瘍に対して、内科的診断と治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、経皮的ラジオ波焼灼術、癌化学療法など）を行うとともに、他科と共同で集学的検査・治療に幅広く対応しております。
- ・上部・下部内視鏡検査は月～土まで行っており、吐血に対する緊急止血内視鏡は、24時間365日対応しております。
- ・胆、膵臓疾患は、通常のERCPから小腸内視鏡まで、幅広く対応しています。
症性腸疾患の治療は、副作用が多様なステロイドを回避するよう努めており、その治療成績は海外まで発信しています。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	19	6	16	14	16	9	14	21	19	14	5	11	164
	初診	165	136	181	186	167	170	200	196	184	157	142	189	2,073
	再診	660	592	693	691	675	695	667	736	721	596	564	686	7,976
	総計	844	734	890	891	858	874	881	953	924	767	711	886	10,213

内視鏡実績

(2021年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃	326	346	512	545	504	543	569	604	493	485	431	477	5,835
大腸	153	118	148	145	160	153	151	167	157	137	89	115	1,693

ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）件数

(2021年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）				1			1	1				1	4
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術）	1	1	2	2	1	2	3		1	3	1	1	18
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術		2		3	3	1	2		4	1	1	2	19
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）									1	1			2
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル未満）	60	55	47	54	58	54	58	62	61	58	31	41	639
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル以上）		1	4	3		3	3	3	2	1			20
総計	61	59	53	63	62	60	67	66	69	64	33	45	702

GMA（顆粒球吸着療法）件数 ※グループ施設全体件数

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
GMA 患者数	9	7	4	5	4	2	5	4	4	5	6	4	59
GMA 延回数	48	29	26	17	17	7	29	16	24	17	22	13	265

6. 今後の抱負

消化器内科として、患者さんへ行えることを、チーム医療で健全におこないます。
その成果を発信していけたらと考えております。

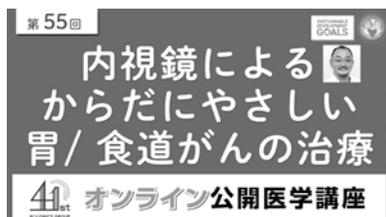
7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

- 姫路 IBD Web セミナー「潰瘍性大腸炎の初期治療 ～5-ASA と CAP」(2021 年 5 月 19 日)
- はりま IBD 治療 Web フォーラム「潰瘍性大腸炎の初期治療 ～5-ASA と CAP」(2021 年 6 月 2 日)
- IBD Network web seminar「COVID-19 流行下の今日における潰瘍性大腸炎に対する免疫制御療法 ～早期の CAP、そして Bio へ～」(2021 年 6 月 12 日)
- 消化器疾患について考える会「潰瘍性大腸炎の鑑別と 5ASA 治療」(2021 年 6 月 19 日)
- 大阪市北部 IBD Web セミナー「MMX-5ASA は既存の 5ASA と違うのか？」(2021 年 7 月 13 日)
- 奈良県 IBD 治療講演会「MMX-5ASA は既存の 5ASA と違うのか？」(2021 年 9 月 3 日)

■オンライン公開医学講座

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
7/29	木	内視鏡によるからだにやさしい胃/食道がんの治療	消化器内科/内視鏡センター センター長 福知 工 医師 兼 主任部長	88



<https://youtu.be/bwGnkk124QI>

8. その他

①国内学会発表

<福知 工>

- ・第 115 回 日本消化器病学会中国支部会 イブニング・セミナー
「潰瘍性大腸炎における早期 GMA 使用の意義 ～寛解導入と予後も含めて～」
〔2021 年 6 月 12 日〕
- ・第 42 回日本アフェレシス学会学術大会 シンポジウム 8
「活動期潰瘍性大腸炎外来患者に対する透析クリニックと連携した GMA」
〔2021 年 10 月 16 日〕
- ・第 29 回日本消化器関連学会週間 (JDDW)
一般演題「再燃が疑われる潰瘍性大腸炎に対する簡易的な緊急大腸内視鏡検査の有用性」
〔2021 年 11 月 4 日〕

<宇都宮 蘭>

- ・第57回 胆道学会学術集会「内視鏡的経乳頭胆嚢ドレナージ」〔2021年10月7～8日〕
- ・第4回 医誠会病院 WEB 症例検討会・WEB 講習会「黄疸を伴う胆道・膵腫瘍病変」〔2021年12月16日〕

②海外論文

<福知 工>

- ・ Induction of mucosal healing by intensive granulocyte/monocyte adsorptive apheresis (GMA) without use of corticosteroids in patients with ulcerative colitis: long-term remission maintenance after induction by GMA and efficacy of GMA re-treatment upon relapse.

Fukuchi T, Kawashima K, Koga H, Utsunomiya R, Sugiyama K, Shimazu K, Eguchi T, Ishihara S. J Clin Biochem Nutr. 2022 ;70:197-204

③国内書籍

<福知 工>

- ・「あなたも名医！比べてわかる！潰瘍性大腸炎とクローン病」jmed77（日本医事新報社）4章-6 アフェレシス（P.91-93）

<宇都宮 蘭>

- ・「教科書では教えてくれない！私の内視鏡 Tips Vol2」（医学書院）EUS1年生へ！（P.13）

消化器外科センター

ガイドラインに沿った標準的な治療に加え、患者さんの病状に応じたオーダーメイドの治療を提供しています。

<5つの特徴>

- ① 低侵襲性に配慮した傷の小さな内視鏡外科手術
- ② 高度進行癌の根治切除を目指した拡大手術
- ③ LECS（腹腔鏡内視鏡合同手術）などの消化器内科との合同手術
- ④ 食道裂孔ヘルニアや逆流性食道炎などに対する QOL 改善のための手術
- ⑤ 年齢だけで諦めず、全身状態を評価した上で行う高齢者に対する手術

1. スタッフ

医師



部長

ひぐち いちろう
樋口 一郎

資格

医学博士
日本外科学会 外科専門医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本核医学学会 核医学専門医・PET 核医学認定医
日本医療研究開発機構 臨床研究・試験従事者研修 修了
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
がんのリハビリテーション研修 修了
日本病態栄養学会 NST 研修 修了



部長

うらの なおみ
浦野 尚美

資格

医学博士
日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了



医長

いしかわ あきら
石川 彰

資格

日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
日本内視鏡外科学会 技術認定取得医(消化器・一般外科 胃)
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本食道学会 食道科認定医
日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本化学療法学会 抗がん剤治療認定医
ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
がんのQOL向上を目指したコミュニケーション(医師研修会(CST))修了
がんのリハビリテーション研修 修了
日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修 修了
臨床研修指導医養成講習会 修了



医長

もり よしひろ
森 至弘

資格

日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
日本内視鏡外科学会 技術認定取得医(消化器・一般外科 大腸)
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医
日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医
日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本乳癌学会 認定医
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医
ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター
日本化学療法学会 抗がん剤治療認定医
日本医療研究開発機構 臨床研究・試験従事者研修 修了
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
がんのリハビリテーション研修 修了
日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修 修了
臨床研修指導医養成講習会 修了



医長

すぎやま ともひろ
杉山 朋大

資格

日本外科学会 外科専門医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修 修了
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
臨床研修指導医養成講習会 修了
がんのリハビリテーション研修 修了



医長

こみなみ ひろあき
小南 裕明

資格

医学博士
日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医
日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医
四段階注射法講習 修了
日本乳癌学会 認定医
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医
日本医師会 認定産科医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本温泉気候物理医学会 温泉療法医
ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター
日本外科学会 外科専門医
日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修 修了
厚生労働省医政局 卒後臨床研修指導医養成講習 修了
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了



医長

たけうち ゆうじ
竹内 悠二

資格

日本外科学会 外科専門医
日本救急医学会 救急科専門医



医長

きのした おさむ
木ノ下 修

資格

医学博士
日本外科学会 外科専門医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医
日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医
日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本体育協会公認スポーツドクター
日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医
内痔核治療法研究会 四段階注射法講習 修了
日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修 修了
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
がんのリハビリテーション研修 修了
臨床研修指導医養成講習会 修了



主要装置

一般撮影装置 3 台
MRI 3.0T (MAGNETOM Skyra)/MRI 1.5T (Signa HDx)
FPD 搭載 X 線 TV (SONALVISION G4)
64 列 デュアルエナジー CT (Discovery 750HD)
64 列 CT (Optima 660 Pro Advance)
PET-CT (16 列 Discovery ST Elite)
MRI 撮影装置 (Innova IGS 630)
C アーム型 X 線透視装置 3 台
リニアック (Vital Beam)

医療技術系

看護師

(消化器外科専任：3名)

家迫 由佳里

運営事務系

(専任)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

竹辻 彩夏

データインテリ

(データマニング業務)

岩本 千翔

実用情報処理技術者資格
英語検定準 2 級

医療営業

吉見 麻子

(消化器外科担当)

医療技術系

(関連部署)

臨床検査部

病理細胞診センター

主任 荒木 優利香

細胞検査士

中間 愛

細胞検査士

長森 晴紀

細胞検査士

鈴木 由紀

細胞検査士

2. 施設認定

日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度修練施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本消化器病学会専門医認定施設
日本肝臓学会専門医制度特別連携施設（大阪市立十三市民病院）
日本大腸肛門病学会関連施設（大阪大学医学部附属病院）
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設

3. カンファレンス等

消化器カンファレンス（消化器外科・消化器内科・腫瘍内科・メディカルスタッフ）
毎週木曜日 17時から 202号室
病棟カンファレンス 毎週木曜日 14時30分 5A病棟

4. 特徴とする診療

消化器外科領域の対象疾患は、消化器癌、炎症性疾患、急性腹症など多岐にわたります。PET-CTをはじめとする最新の医療機器を備えている当院の特長を活かして、迅速かつ正確な診断のもとに治療が行えるよう心がけています。各種癌治療ガイドラインに沿った標準的な治療だけでなく患者さんの病状に応じたオーダーメイドの治療を提供できるように準備しています。毎週木曜日に消化器カンファレンスで消化器内科・腫瘍内科・メディカルスタッフ等参加の上、症例検討を行い、連携をとりながら、その総合力で治療に当たります。そして手術療法を柱とした化学療法・放射線療法・IVRなどを組み合わせた治療を行っています。また、木曜日14時30分から5A病棟でカンファレンス・病棟回診を行い、メディカルスタッフと協力しながら診療にあたっています。

近年、消化器癌手術は内視鏡外科手術（胸腔鏡・腹腔鏡下手術）の導入で術式が大きく変化しています。当科においても消化器癌に対する内視鏡外科手術を積極的に導入しており、食道亜全摘術、胃切除術（胃全摘術、噴門側胃切除術を含む）、大腸癌手術（直腸切除術を含む）などを行っています。現在胃癌（GIST等含む）においては7割近く、大腸癌においては8割以上の症例に対し内視鏡外科手術を行っています。内視鏡外科手術は低侵襲手術であるため在院日数が短縮でき、疼痛コントロールや整容性にも優れています。また技術の進歩に伴い、手術難易度は高くなりますが、さらなる低侵襲性を追求し、トロッカー数を減らしたreduced port surgeryや、臍の傷のみで行う単孔式腹腔鏡下手術を良性疾患（胆石症、虫垂炎、イレウス等）のみならず、消化器癌手術へ適応を拡大しております。また消化器内科とも連携し、潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術や、高度食道裂孔ヘルニアに対する修復術、胃GIST等においては術中に内視鏡を併用するLECS（腹腔鏡内視鏡合同手術）も積極的に行っております。

5. 成果と実績

昨年度までスタッフ欠員の状況下、消化器領域良性疾患はもとより消化器癌手術を安定して行ってまいりました。内視鏡外科手術の比率は年々上昇傾向にあります。近年の消化器内科スタッフの増員に引き続き、今年度はようやく消化器外科スタッフも増員され、今後さらなる手術症例数の増加が期待されます。当センターはカンファレンスで症例を共有するとともに、内視鏡外科技術認定（胃および大腸）を取得しており、手術の質を担保しております。

また日々の成果は積極的に学会等で発信し、さらなる診療技術の向上をはかります。研修医の先生方にも希望者には学会発表の経験を積んでもらっております。

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	4	3	3	1	2	4	5	2	5	1	3	0	33
	初診	25	22	35	38	35	31	34	37	37	24	26	30	374
	再診	201	191	213	236	223	248	219	250	234	241	190	199	2,645
	総計	230	216	251	275	260	283	258	289	276	266	219	229	3,052

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	31	33	35	31	27	25	35	37	35	37	11	32	369
その他	6	5	5	13	7	6	10	4	10	3	2	5	76

6. 今後の抱負

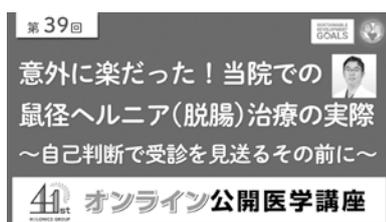
消化器外科スタッフの増員に伴い、これまで不可能だった主に平日日勤帯での並列手術が可能となるような体制強化を行ってまいります。また中核病院ですでに多くの施設がロボット支援手術を導入しており、今後新病院での展開を見据えて、内視鏡外科手術件数の増加、研修等の準備も必要と考えております。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

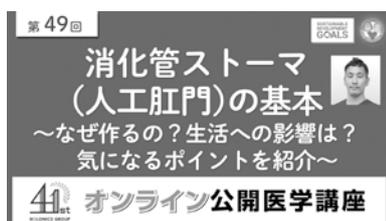
(2021 年 4 月～ 2022 年 3 月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
4/16	金	意外に楽だった！当院での鼠径ヘルニア（脱腸）治療の実際 ～自己判断で受診を見送るその前に～	消化器外科 医長 杉山 朋大 医師	53



<https://youtu.be/mafBTUHR-3o>

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
6/18	金	消化管ストーマ（人工肛門）の基本～なぜ作るの？ 生活への影響は？気になるポイントを紹介～	消化器外科 医長 木ノ下 修 医師	84



<https://youtu.be/XUesRUFMetg>

レディースセンター（乳腺・内分泌外科）

精度の高い検診及び2次精査で早期発見に努め、グローバルガイドラインに沿って形成外科・放射線治療科を含めた集学的治療を行います。

1. スタッフ

医師



非常勤

わたたに まさひろ
綿谷 正弘

資格

医学博士
日本外科学会 外科指導医
日本乳癌学会 乳腺指導医
日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 HBOC教育セミナー受講
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
日本甲状腺外科学会 評議員
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 会員
日本乳癌検診学会 会員
日本癌治療学会 会員
日本臨床外科学会 会員
日本内分泌外科学会 会員



非常勤

わたなべ ひろとし
渡辺 洋敏

資格

日本乳癌学会 乳腺認定医
日本外科学会 外科専門医
日本消化器外科学会 消化器外科指導医
マンモグラフィ読影認定医

主要装置

フラットパネルデジタルマンモグラフィ装置 (MAMMOMAT inspiration)
乳がん巡回検診車 (Pe・ru・ru) (フラットパネルデジタルマンモグラフィ搭載)
マンモトーム生検 (吸引組生検)
バードバコラ自動生検装置
バードマグナム自動生検装置
高精細画像モニター (Senoadv antage)
64列デュアルエナジーCT (Discovery CT750HD)
64列 CT (Optima 660 Pro Advance)
PET-CT (16列・Discovery ST Elite)
MRI 3.0T (MAGNETOM Skyra)
MRI 1.5T (Signa HDX)
リニアック (Vital Beam)
超音波診断装置 (Aplio300)
PrimeVita 端末

※乳がんの早期診断・早期治療に努め、乳がんの検診・診断・手術・治療・経過フォローまでトータルで行う
※悪性腫瘍、良性腫瘍、パセドウ病、橋本病などの甲状腺疾患を幅広く診療

医療技術系

看護師

(婦人科専任：7名)

原田 優香

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

安藤 香

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

岩本 千翔

医療営業部

吉見 麻子
(レディースセンター担当)

2. 施設認定

日本乳癌学会関連施設 (近畿大学病院)
オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー・インプラント実施施設
マンモグラフィ検診施設画像認定施設
マンモグラフィ検診施設画像認定施設 (検診車)

3. カンファレンス等

適宜行っております

4. 特徴とする診療

年々乳癌は増加しております。当院では市民健診・企業健診・人間ドックを毎日受け入れており早期発見につとめております。

また診療においても月～土の毎日外来診療を行っており、患者さんをお待たせすることなく乳腺専門医師による診察が可能です。

乳癌は一人一人病状の異なる疾患であり、患者さんのニーズに沿ったきめ細やかな個別化治療を行っております。

化学療法室も完備されており放射線治療医、病理医、形成外科医、リハビリ科とも協力し集学的な治療を行っております。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	8	4	3	6	4	7	5	3	10	3	10	3	66
	初診	103	147	229	197	174	187	242	245	314	246	188	313	2,585
	再診	97	85	116	97	70	79	90	70	78	60	52	75	969
	総計	208	236	348	300	248	273	337	318	402	309	250	391	3,620

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻		2	1										3
その他	1		3										4

マンモグラフィー検診 (2次精査)

(2021 年度)

(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	7	6	10	4	9	15	12	7	14	16	8	117

6. 今後の抱負

今後も患者さんとともに乳癌と闘って参ります。

レディースセンター（婦人科）

“切らない治療”と“傷の小さな手術”思春期から更年期以降までの幅広い年齢層の女性の健康管理に積極的に取り組んでいます。

1. スタッフ

医師



部長

いもと ひろすみ
井本 広済

資格

医学博士
日本産科婦人科学会 産婦人科専門医
日本産科婦人科内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医
日本産科婦人科内視鏡学会 論文審査員
日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定審査員
大阪市 難病指定医
JOGa_器質性月経困難症に対する適正なホルモン療法等に係る研修 修了



医長

ふじたに まゆみ
藤谷 真弓

資格

医学博士
日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医
日本内視鏡外科学会 認定医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
大阪府医師会母体保護法指定医
JOGa_器質性月経困難症に対する適正なホルモン療法等に係る研修 修了
オンライン診療研修 修了
緊急避妊薬の処方にかかるオンライン診療研修 修了

※低侵襲手術による婦人科疾患の治療
腹腔鏡下子宮全摘術、腹腔鏡下筋腫核出術、子宮鏡下手術

医療技術系

看護師

(婦人科専任：7名)

原田 優香

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

岡野 知代

データアナリスト

(データマイニング業務)

岩本 千翔

医療営業部

吉見 麻子

医療技術系

(関連部署)

臨床検査部 病理細胞診センター

主任

荒木 優利香
細胞検査士

中間 愛
細胞検査士

長森 晴紀
細胞検査士

鈴木 由紀
細胞検査士

2. 施設認定

日本がん治療認定医機構認定研修施設
母体保護法指定施設
日本産科婦人科内視鏡学会 認定研修施設

3. カンファレンス等

婦人科カンファレンス 毎週月曜日 15時～16時

4. 特徴とする診療

腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術、マイクロ波子宮内膜アブレーション（MEA）などを中心とした低侵襲手術による婦人科疾患の治療を行っています。腹腔鏡下手術は3～4カ所の5mmあるいは12mmの創部から腹腔鏡手術用の器具を挿入し、テレビモニターを見ながら行う手術で、おもに子宮筋腫や卵巣腫瘍、子宮内膜症などの婦人科良性疾患を対象として、腹腔鏡下子宮全摘術、腹腔鏡下筋腫核出術、卵巣腫瘍摘出術、子宮内膜症病巣除去術などを行っています。子宮鏡下手術は子宮鏡下に高周波電極を使用して子宮腔内に突出した粘膜下筋腫や内膜ポリープ切除をする手術であり、子宮機能を温存する低侵襲手術として行っています。MEAは過多月経による貧血症に対して、子宮内膜組織にマイクロ波を照射して壊死させる治療であり、子宮筋腫や腺筋症に伴う過多月経に

たいしても子宮摘出術の代替治療法として積極的に施行し、適応を拡大しているところです。常勤医 3 名（うち日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 2 名）で、上記の低侵襲治療に加えて開腹手術／腔式手術を含む標準的な婦人科治療を安定して提供しております。（2022 年 11 月以降は、1 名退職に伴い常勤医師 2 名での運営）

5. 成果と実績

手術症例の入院パスの適用率はほぼ 100% でした。腹腔鏡下手術の平均在院日数 3.7 日、MEA と子宮鏡下手術は 2 日と急性期病院に求められる運営と管理が婦人科では実践できました。腹腔鏡下手術特有の合併症はほとんどなく、さらに腹腔鏡下筋腫核出術などの妊孕性温存手術の術後には妊娠・出産のお知らせを聞くことができました。MEA の症例数は全国 1 位を続けています。

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	11	11	13	4	6	8	8	7	5	5	6	10	94
	初診	152	168	269	265	268	254	280	295	335	272	219	322	3,099
	再診	201	166	213	192	180	188	171	195	203	168	171	205	2,253
	総計	364	345	495	461	454	450	459	497	543	445	396	537	5,446

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	10	9	13	2	4	5	2	7	7	4	4	6	73

マイクロ波子宮内膜アブレーション (MEA) 実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
MEA	6	4	5										15

6. 今後の抱負

医療経済的にも社会貢献ができる低侵襲治療の実践を目指しています。

整形外科

運動器疾患の予防と治療

外傷（骨折、脱臼）へのすばやい対応

関節疾患（四肢関節）への安全、正確な治療

1. スタッフ

医師



部長

いちじ けんじ
市地 賢治

資格

日本整形外科学会 整形外科専門医



部長

ふくだ ひろまり
福田 宏成

資格

日本整形外科学会 整形外科専門医
日本整形外科学会 認定スポーツ医



医長

さやま まさひろ
猿山 雅博

資格

日本整形外科学会 整形外科専門医

医療技術系

看護師

(整形外科専任：4名)

鈴木 美紗子

医療技術系（リハビリテーション科）

理学療法士

(34名)

作業療法士

(10名)

健康運動指導士

(3名)

専門係長
渡部 勇樹

日本糖尿病療養指導士
3学会合同呼吸療法認定士
腎臓リハビリテーション指導士
心臓リハビリテーション指導士

係長
北原 昌明

3学会合同呼吸療法認定士
SJF学会基礎コース修了

濱辺 希

大阪糖尿病療養指導士
健康運動実践指導者

中野 宏美

杉田 奈津

リハビリ
施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料 I 205点 運動器リハビリテーション料 I 185点
脳血管疾患リハビリテーション料 I 245点 呼吸器リハビリテーション料 I 175点
廃用性症候群リハビリテーション料 I 180点 がん患者リハビリテーション料 205点

主要装置

3CCD関節鏡
一般撮影装置 3台
FPD搭載X線TV
(SONIALVISION G4)
64列 デュアルエナジーCT
(Discovery 750HD)
64列 CT
(Optima 660 Pro Advance)
PET-CT
(16列 Discovery ST Elite)
MRI 3.0T
(MAGNETOM Skyra)
MRI 1.5T (Signa HDX)
Cアーム型 X線透視装置 3台
骨密度測定装置
(DCS-600EXV)

※関節疾患（四肢関節）への安全、正確な治療

※運動器疾患の予防と治療

関連部署

医師（脊椎脊髄外科）



センター長 / 医局長

ささき まさひろ
佐々木 学

資格

日本脳神経外科学会 脳神経外科指導医
日本脊髄外科学会・日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科専門医
日本脊髄外科学会 理事・脊髄外科指導医
日本脊髄外科学会 脊髄内視鏡下手術技術認定医
日本脳神経外科学会 Neurologia medico-chirurgica 査読委員
日本脳神経外科学会 近畿支部学術評議員
日本脊髄障害医学会 評議員



副センター長 / 部長

にのみや こうし
二宮 貢士

資格

医学博士（大阪大学）
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脊髄外科学会 脊髄外科指導医

救急救命士

(院外搬送)

(15名)

係長
山口 裕子

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

医療営業部

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

保田 玲佳

診療報酬請求事務能力認定
医療秘書検定 2級
医師コンピュータ技能検定
ドクターズクラブ

澤本 春香

(整形外科担当)

岩本 千翔

実用情報処理技能者資格
英語検定準 2級

2. 施設認定

日本整形外科学会認定研修施設

3. カンファレンス等

術前・術後カンファレンス：毎週（月）午前 7 時 45 分から
リハビリカンファレンス：毎週（金）午前 11 時から

4. 特徴とする診療

一般外傷、関節の変性疾患を中心に治療を行っております。地域の要請にこたえるべく 3 次症例を除き、救急患者を断らない方針で診療にあたります。

骨折治療に対してはしっかりとした整復固定を心がけ、患者さんの早期社会復帰を目指しております。

また年々増加傾向にある大腿骨近位部骨折に対しては年間 300 例以上の手術を行っており準緊急での手術を行うべく各コメディカルと協力して、素早い対応を心がけております。

人工関節手術と人工骨頭挿入術は前方アプローチ（DAA）で行っており、低侵襲手術により術後早期の回復を目指しております。変形性膝関節症に対しては、プレカットによる TKA を行い術後の患者満足度の向上に努めております。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	13	8	18	13	7	15	13	15	21	16	7	14	160
	初診	197	161	215	174	175	169	187	191	182	186	136	164	2,137
	再診	1,054	1,036	1,201	1,186	1,202	1,132	1,104	1,125	1,240	1,070	906	1,019	13,275
	総計	1,264	1,205	1,434	1,373	1,384	1,316	1,304	1,331	1,443	1,272	1,049	1,197	15,572

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	64	51	56	57	49	44	51	67	69	69	25	65	667
その他	3	3	1	4	3	3	5	3	3	2	4	6	40

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
4/28	金	変形性膝関節症の原因と痛みを取る方法	整形外科 部長 福田 宏成 医師	110



<https://youtu.be/ptWZyrd1qeY>

脳卒中センター（脳神経外科）

脳卒中の領域は特に脳梗塞に対しては診断、治療技術が激変し、かつエビデンスも確立され、以前生存率すら悪かった例でも時間さえ間にあえばカテーテル血栓除去で5割以上が良好に日常生活に戻れるまでなっています。脳出血やくも膜下出血の分野でも、内視鏡手術、動脈瘤コイル塞栓、ステント治療など低侵襲で有効な治療の進歩がみられています。

当院では脳卒中PSCセンターの基準を2021年度取得、現在PSCコアセンターの申請にむけ準備を行っています。

1. スタッフ

医師



病院長

まつもと かつみ
松本 勝美

資格

医学博士
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳卒中学会 脳卒中指導医
日本脳神経血管内治療学会 専門医
日本脳卒中の外科学会 技術指導医
日本脳卒中学会 脳梗塞rt-PA適正使用講習会 受講
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
A型ボツリヌス療法講習機構（ボトックス講習・実技セミナー）修了



医長

いま ひろゆき
井間 博之

資格

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳卒中学会 脳卒中専門医
日本脳神経血管内治療学会 専門医
日本脳下垂体腫瘍学会 ハンズオンセミナー受講
A型ボツリヌス療法講習機構（ボトックス講習・実技セミナー）（上肢麻痺、下肢麻痺）修了
A型ボツリヌス療法講習機構（ボトックス講習・実技セミナー）（産性斜頸）修了
A型ボツリヌス療法講習機構（ボトックス講習・実技セミナー）（ボトックス講習・実技セミナー）（2歳以上の小児脳性麻痺患者における下肢痙攣に伴う尖足）修了
A型ボツリヌス療法講習機構（ボトックス講習・実技セミナー）（眼瞼下垂、片側顔面痙攣）修了
A型ボツリヌス療法講習機構（ボトックス講習・実技セミナー）（産後の原発性腋窩多汗症）修了



医長

ふくなが たかのり
福永 貴典

資格

医学博士
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳卒中学会 脳卒中専門医
日本神経内視鏡学会 神経内視鏡技術認定医
日本脳神経血管内治療学会 脳血栓回収療法実施医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
Crestline™~Obliqueアプローチに関するトレーニング受講
XLIF® トレーニング受講
OLIF25™ トレーニング受講
KYPHON® Balloon Kyphoplasty Primary Physician Training受講



医員

もりうち げんと
森口 玄渡

資格

シミュレーションセンター（スキルラボ）



脳神経外科手術練習用顕微鏡

（LED照明内蔵 グリノー実体顕微鏡 LeicaS6E）

主要装置

神経内視鏡
一般撮影装置 3台
FPD搭載X線TV (SONIALVISION G4)
64列 デュアルエナジーCT (Discovery 750HD)
64列 CT (Optima 660 Pro Advance)
術中ナビゲーション装置
MRI 3.0T (MAGNETOM Skyra)
MRI 1.5T (Signa HDX)
循環器用フラットパネルAngio装置 (Bransist Safire)

対象疾患

脳出血 脳梗塞 脳動脈瘤
脳腫瘍 頭部外傷 くも膜下出血
※認知機能障害（「もの忘れ」など）



脳梗塞



脳出血



くも膜下出血

- ※脳神経外科専門医が24時間365日常駐し緊急手術に対応
- ※急性脳梗塞に対するTPA治療とカテーテル血栓除去は24時間365日対応
- ※頭痛、もの忘れ、脳卒中後痙攣、その他脳疾患

医療技術系

（専従／専任）

看護師

（脳神経外科専任：3名）

鈴木 美紗子

理学療法士

（34名）

専門係長
渡部 勇樹
心臓リハビリテーション指導士
腎臓リハビリテーション指導士
3学会合同呼吸療法認定士
日本糖尿病療養指導士

作業療法士

（10名）

係長
北原 昌明
3学会合同呼吸療法認定士
SJF 学会基礎コース修了

言語聴覚士

（13名）

主任
津田 公平
認知ケア専門士
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

健康運動指導士

（3名）

主任
濱辺 希
大阪糖尿病療養指導士
健康運動実践指導者

診療放射線技師

（6名）

主任
作田 雄大
救急撮影認定技師

運営事務系

（専従）

臨床支援士

（医師事務作業補助者）

谷本 悠乃

データサイエンティスト

（データマイニング業務）

岩本 千翔
実用情報処理技能者資格

医療営業部

（脳神経外科担当）

主任
松永 宗二郎

2. 施設認定

日本脳卒中学会認定研修教育病院

日本脳ドック学会認定施設

日本脳神経外科学会専門医研修プログラム研修施設（阪大プログラム）

一次脳卒中センター

3. カンファレンス等

症例検討会 毎週 月、金 午後 16 時より

リハビリカンファレンス 毎週 金

ICU カンファレンス 月、金

SCU カンファレンス 月一金 毎日

救急教育カンファレンス 月-土 毎日適宜

4. 特徴とする診療

現在 3 名の血管内治療専門医を有し、365 日 24 時間体制で急性期脳梗塞に対する TPA 治療とカテーテル血栓除去手術に対応しています。カテーテルの種類も増え、また技術的にもステントのみから、吸引カテーテル併用になり、より再開通率が上がり、また末梢まで再開通ができるようになりました。近隣の病院からの血行再建の受け容れも行っています。動脈瘤に対してはコイル塞栓に加え、近年ステントを併用することで以前は困難であったネックの広い動脈瘤などにも対応し、開頭クリッピング手術よりコイル塞栓の手術件数のほうが多くなってきています。頸動脈狭窄に対する治療も内膜剥離手術とステント治療の双方を患者さんにとってのベストな治療として選択できるようにしています。また神経内科、脳卒中内科の外来も開きパーキンソン病や頭痛に対しても対応しています。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	18	13	13	15	15	8	12	18	18	18	10	5	163
	初診	170	123	155	158	130	126	182	166	184	119	118	206	1,837
	再診	677	610	596	628	700	727	737	712	686	618	527	632	7,850
	総計	865	746	764	801	845	861	931	896	888	755	655	843	9,850

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	5	7	4	13	10	9	12	9	10	7	6	10	102
その他	5	7	5	3	6	5	4	3	7	9	5	8	67

脳血管内手術

(2021年度)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	8	1	4	4	4	4	7	11	7	8	0	4	62

6. 今後の抱負

近隣医療機関からの紹介を積極的に受け入れ全体の手術数、入院患者数のさらなる増加を図る。低侵襲性の追求の為、脳血管内治療の適応症例の増加を図りながらも、直達術でも安全性を担保しながら治療成績を維持する。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■森ノ宮医療大学講義〔録画〕（2021年11月10日）

「脳の疾患と外科治療：脳神経外科領域での手術支援の進歩」

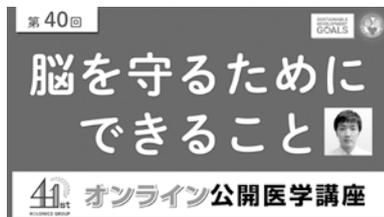
講師：医誠会病院 病院長 松本 勝美 医師



■オンライン公開医学講座

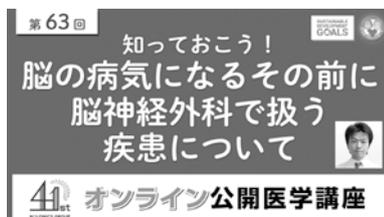
(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
4/23	金	脳を守るためにできること	脳神経外科 医長 馬場 庸平 医師	82



<https://youtu.be/jOpCLsqDLYU>

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
9/15	水	知っておこう！ 脳の病気になるその前に脳神経外科で扱う疾患について	脳神経外科 医長 福永 貴典 医師	98



<https://youtu.be/ZFRilxkoFwY>

脊椎脊髄センター（脊椎脊髄外科）

頸椎から腰椎まで椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症といった頻度の高い変性疾患だけでなく、脊椎外傷や脊髄腫瘍、化膿性脊椎炎などの治療も行っています。これらの疾患により脊髄神経の圧迫が原因で四肢の痛みやしびれ、運動感覚障害などを生じている病態に対して神経の圧迫を取り除く神経脊椎外科治療を主に行っています。

1. スタッフ

医師



センター長
ささき まなぶ
佐々木 学

資格

医学博士（大阪大学）
大阪大学医学部臨床准教授
日本医師会 認定健康スポーツ医
日本脳神経外科学会 脳神経外科指導医
日本脊髄外科学会・日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科専門医
日本脊髄外科学会 脊髄外科指導医
日本脊髄外科学会 脊髄内視鏡下手術技術認定医
日本脳神経外科学会誌 -Neurologia medico-chirurgica 査読委員
日本脳神経外科学会 近畿支部学術評議員
近畿脊髄外科研究会 学術評議員
日本脳神経外科漢方医学会 評議員
日本脊髄障害医学会 評議員
XLIF® トレーニング受講
AOSpine Japan Delegate



副センター長 / 部長
にのみや こうし
二宮 貢士

資格

医学博士（大阪大学）
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脊髄外科学会 脊髄外科指導医
日本脊髄外科学会・日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科専門医
XLIF® トレーニング受講



診療顧問（非常勤）
よねのひら かずき
米延 策雄

資格

医学博士（大阪大学）
日本脊椎脊髄病学会 認定脊椎脊髄外科指導医
日本整形外科学会 整形外科専門医
日本整形外科学会 脊椎脊髄病医
日本整形外科学会 認定リウマチ医



医長
ふくなが たかのり
福永 貴典

資格

医学博士
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本神経内視鏡学会 神経内視鏡技術認定医
日本脳神経血管内治療学会 脳血栓回収療法実施医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了

医療技術系

看護師

（脊椎脊髄神経外科専任：3名）

鈴木 美紗子

主要装置

64列デュアルエナジーCT (Discovery 750HD)
64列 CT (Optima 660 Pro Advance)
MRI 3.0T (MAGNETOM Skyra)
MRI 1.5T (Signa HDX)
Cアーム型 X線透視装置 3台
骨密度測定装置 (DCS-600EXV)
リニアック (Vital Beam)

シミュレーションセンター

（スキルスラボ）

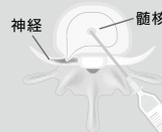


脳神経外科手術練習用顕微鏡 (LED照明内蔵 グリーン実体顕微鏡 LeicaS6E)

※ 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）

※ 腰椎椎間板ヘルニアの内視鏡下手術と顕微鏡下手術

※ 脊椎すべり症、分離すべり症の脊椎固定術



脳手術と同様に顕微鏡を用いた低侵襲手術

医療技術系

理学療法士
(34名)

専門係長
渡部 勇樹
心臓リハビリテーション指導士
腎臓リハビリテーション指導士
3学会合同呼吸療法認定士
日本糖尿病療養指導士

作業療法士
(10名)

係長
北原 昌明
3学会合同呼吸療法認定士
SJF 学会基礎コース修了

言語聴覚士
(13名)

主任
津田 公平
認知症ケア専門士
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

健康運動指導士
(3名)

主任
濱辺 希
大阪糖尿病療養指導士
健康運動実践指導者

診療放射線技師
(6名)

主任
作田 雄大
救急撮影認定技師

運営事務系

（専従）

臨床支援士
(医師事務作業補助者)

谷本 悠乃

データサイエンティスト
(データマイニング業務)

岩本 千翔

医療営業部

主任
松永 宗二郎
(脊椎脊髄外科担当)

2. 施設認定

日本脊髄外科学会認定訓練施設

3. カンファレンス等

毎週金曜日夕方に脊椎外科カンファレンス

4. 特徴とする診療

脳神経外科の脊椎専門医 3 人と非常勤の整形外科の脊椎専門医 1 人のコラボレーションで病態診断、治療方針の決定および手術を行っています。脊椎外傷などに対する従来のオープン手術による多椎間固定術のような大きく切開する手術だけでなく、手術用顕微鏡を用いたマイクロサージャリーで神経の圧迫を取り除く手術や 1cm 程度の切開から内視鏡を挿入して脊椎に至る経皮的内視鏡下手術など低侵襲手術にも取り組んでいます。頸椎および胸腰椎の手術では通常の脊椎後方から神経の圧迫除去あるいは固定を行う術式だけでなく、脊椎前方からの手術も行っています。頸椎前方手術は経椎間板で除圧固定を行う術式や椎体垂全摘を行い、腸骨や腓骨を移植する手術を行っています。胸腰椎でも前方・側方からの固定術を行う場合もあり、XLIF を用いて低侵襲胸腰椎側方固定術を行うこともあります。胸腰椎圧迫骨折の除痛目的で行う経皮的バルーン椎体形成術も行っており、高齢患者の早期離床を目指しています。

<主な対象疾患>

椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、椎間孔狭窄症、脊椎すべり症、脊椎分離症、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、環軸椎亜脱臼、化膿性脊椎炎、脊椎外傷（椎体骨折など）、脊髄腫瘍、脊髄血管障害（動静脈瘻、動静脈奇形など）

<主な術式>

頸 椎：椎弓形成術、前方除圧固定術、後方固定術（後頭骨あるいは環軸椎固定を含む）、顕微鏡下椎間孔後方除圧術

胸腰椎：顕微鏡下後方除圧術（脊柱管、椎間孔）、経皮的内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術（PELD）、後方椎体間固定術（PLIF, TLIF）、前方椎体間固定術（XLIF, OLIF）、後方固定術、経皮的バルーン椎体形成術（BKP）

5. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	初診	3	2	3	2	6	4	4	5	3	3	3	4	42
	再診	3	2	5	3	1	4	6	3	6	2	3	2	40
	総計	6	4	8	5	8	9	10	8	9	5	6	6	84

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	16	10	10	5	14	8	4	7	14	10	7	15	120
その他	1	1	1		2		1		2	1	1		10

6. 今後の抱負

近隣のクリニックや病院と今以上に連携を行い、外科的な治療が必要な症例は幅広く受け入れ、骨粗鬆症の治療を含めた保存的治療の継続のみでよい症例は継続加療を依頼するような役割分担のシステムを構築したいと考えています。よろしくお願ひ致します。

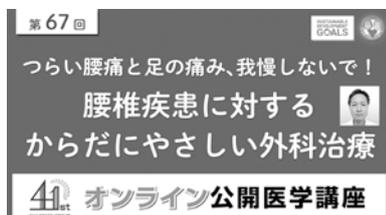
7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

大阪大学脳神経外科の関連施設から日本脊髄外科学会指導医の資格を取るための手術研修医師を受け入れています。

■オンライン公開医学講座

(2021 年 4 月～ 2022 年 3 月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
10/15	金	つらい腰痛と足の痛み、我慢しないで！ 腰椎疾患に対するからだにやさしい外科治療	脊椎脊髄センター 副センター長 / 部長 二宮 貢士 医師	83



<https://youtu.be/OEetyBHXGQE>

泌尿器科

一般泌尿器科外来を対象とした診療に加え、前立腺生検、内視鏡的手術（TUR-Bt、TUR-P）等に加えて膀胱脱や尿漏れに対する外科的治療など診療の幅を拡げています。

1. スタッフ

医師



部長

ながつま かつみ

長妻 克己

資格

日本泌尿器科学会 泌尿器科指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了
日本尿路結石症学会 会員



医長

いちはし あつし

市橋 淳

資格

がん治療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了

- ※尿路結石症の体外衝撃波結石破碎術（ESWL）
- ※前立腺生検、内視鏡的手術（TUR-B t、TUR-P）

医療技術系

看護師

（泌尿器科専任：4名）

越村 羽澄

運営事務系

（専従）

臨床支援士

（医師事務作業補助者）

兼平 美幸

データサイエンティスト

（データマイニング業務）

池上 美佳

医療営業部

係長 大山 貴司
（泌尿器科担当）

2. 施設認定

日本泌尿器科学会専門医教育施設

3. カンファレンス等

4 A病棟泌尿器科カンファレンス
毎週月曜日 午後1時30分から

4. 特徴とする診療

現在は尿路結石症に対して早期の治療を目指してPFC（プロセスフローチャート）を用いて術前管理を行っている。痛みが起きた段階から治療までの間隔を短くすることと、誰が診ても同じ手順でESWLまたは保存的療法の治療の選択が素早くできるようにしている。

また、腎癌・前立腺癌・膀胱癌・精巣癌の治療にも力を入れており、手術療法やすべての薬物療法を行うようにしています。

5. 成果と実績

現在は、尿路結石症に対して短期入院での治療を確立しております。

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	1	6	6	2	5	3	4	3	7	8	1		46
	初診	71	54	58	67	58	58	73	65	82	59	43	65	753
	再診	257	251	225	263	254	230	252	278	257	261	251	257	3,036
	総計	329	311	289	332	317	291	329	346	346	328	295	322	3,835

手術実績

(2021 年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	6	7	10	9	6	14	9	11	13	10	11	15	121
その他	1	4		2	2		1	1	1		1		13

ESWL 手術実績

(2021 年度)

(名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2	2	1	1	2	2	1				1	12



当院では、【体外衝撃波結石破碎装置：ドルニエ・デルタⅡ】を導入して治療を行っています。

6. 今後の抱負

現在、支部総会を中心とした学会発表と、総会等の大きい学会から小さい学会まで幅広く参加して得た先進の知識を駆使して診療にあたっております。

腎臓内科・透析室

腎疾患と急性期透析の治療・予防・早期治療のための全身管理、腎不全の保存的加療と透析導入へのトータルケアを行なっています。

1. スタッフ

医師



部長

なかお なおゆき
中尾 尚之

看護師

看護師

(腎臓内科専任：4名)

越村 羽澄

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

兼平 美幸

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

上原 麻穂

※救急、院内、紹介等の患者に対して、血液浄化治療（維持血液透析、持続血液透析濾過、エンドトキシン吸着、ビリルビン吸着等）を随時対応

※LDL吸着療法（特にDFT療法）による動脈硬化症関連疾患の進行阻止並びに症状緩和を実施

2. カンファレンス等

透析患者カンファレンスを適時、必要時に頻回に実施しています。

3. 特徴とする診療

- ・入院中透析患者並びに腎不全患者の回診・診察、コンサルテーションを行う。
- ・救急、院内、紹介等の患者に対して、血液浄化治療（維持血液透析、持続血液透析濾過、エンドトキシン吸着、ビリルビン吸着等）を随時対応しています。
- ・あらたな特殊透析療法の試みとして、以下ルーチンに実施出来るようになった。
 - ①患者の高齢化に伴い動脈硬化症関連疾患の頻度が高まっている為に、LDL 吸着療法（特に DFT 療法）による動脈硬化症関連疾患の進行阻止並びに症状緩和を実施。
 - ②消化器内科と連携して、潰瘍性大腸炎患者に対する特殊透析療法としての L-CAP 療法の再開。
 - ③皮膚科と連携して、難治性類天疱瘡重症患者に対する血漿交換療法を実施。
 - ④高度腹水患者に対して、腹水回収後腹水濃縮療法の実施。
- ・保存期腎不全に対しては、食事療法、薬物療法を行って腎機能進行を遅らせる。一方で、臓器保護の観点から、適切な透析導入時期を判断しています。
- ・心臓血管外科メンバーと連携を行い、従来の透析用緊急カテーテル導入（副作用が非常に多い）から、計画導入に改善しています。
- ・導入後透析患者は、適切な条件で外来透析クリニックに紹介しています。

4. 成果と実績

- ①安全な透析を目指しており、昨年度は重大な事故は発生しなかった。
- ②高齢者の導入が増えているが、高齢化に即した透析導入が実施されている。
- ③他科との連携で、特殊血液浄化法を実施している。

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	再診	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	4
	新患	4	3	15	8	7	10	7	9	8	9	4	7	91
	初診	14	8	16	16	13	11	14	16	24	10	11	13	166
	総計	18	11	31	25	20	22	21	26	32	19	16	20	261

透析件数

(2021 年度)

(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
231	219	189	165	197	178	356	271	301	152	115	169	2,543

5. 今後の抱負

効率的短期間入院、トータル腎ケアの実施、負担の少ない透析医療を行っていきます。

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

適宜研修を受け入れています。

形成外科・美容外科・褥瘡治療センター

褥瘡、難治性潰瘍を中心に創傷全般に対応致します。
体表面の形状の変化や疾患に対して、外科的治療を行います。

1. スタッフ

医師



医長

おかだ あゆみ
岡田 愛弓

資格

日本形成外科学会 形成外科専門医



医員

まえだ たまみ
前田 珠未

資格

日本形成外科学会 形成外科専門医



非常勤

くすもと けんじ
楠本 健司

資格

関西医科大学 前教授

※多血小板血漿 (PRP) 療法 (2020年4月より保険適用)

※隆鼻術、豊胸術、乳房再建術、乳房縮小術、皺治療、レーザー治療、ケミカルピーリング、レーザー脱毛、など

医療技術系

看護師

(形成外科・美容外科専任：4名)

守屋 貴帆

医療技術系

皮膚・排泄ケア認定看護師

専門課長 香川 愛
認定看護師

くわやま
栞山 麗
認定看護師

臨床検査技師

三木 香奈

山本 博一

運営事務系

(専従)

臨床支援士

(医師事務作業補助者)

福島 留美子

データサイエンティスト

(データマイニング業務)

岩本 千翔

実用情報処理技能者資格
英語検定準2級

医療営業部

澤本 春香

(形成外科・美容外科担当)

主要装置

炭酸ガスレーザーシステム (AcuPulse)
皮膚良性色素性疾患治療用レーザー装置 (ALEX II)
皮膚良性色素性疾患治療用レーザー装置 (GentleLASE)
高精細画像モニター (Senodv antage)
64列デュアルエナジーCT (Discovery CT750HD)
64列 CT (Optima 660 Pro Advance)
PET-CT (16列・Discovery ST Elite)
MRI 3.0T (MAGNETOM Skyra)
MRI 1.5T (Signa HDX)
リニアック (Vital Beam)
PrimeVita 端末



皮膚良性色素性疾患
治療用レーザー装置
(ALEX II)

炭酸ガス
レーザーシステム
(AcuPulse)

2. 施設認定

日本形成外科学会認定施設
乳房再建用インプラント実施施設

3. カンファレンス等

毎週木曜日 16:30 頃～
必要に応じて適宜症例検討と実施

4. 特徴とする診療

「形成外科・美容外科」を標榜し、保険診療と自費診療の2つの診療を行っている。構成は常勤医師2名であるが、非常勤では、関西医科大学形成外科前教授、くすもと形成外科クリニック院長の楠本健司医師や、関西医科大学形成外科学講座の応援をいただいている。難治性潰瘍、褥瘡、外傷、熱傷、フットケア、眼瞼下垂症、皮膚腫瘍、乳房再建、瘢痕など幅広い領域の形成外科疾患の治療を行っている。他院との違いとして、PRP（多血小板血漿）治療を褥瘡や潰瘍、しわ治療などに導入している。

また美容外科の分野においては、加齢性変化に対してレーザー治療や外科的治療なども行い、機能的および、外見的に社会生活の質（QOL）を向上させることを目標に治療を行っている。

尚、当院は、形成外科学会認定施設である。

5. 成果と実績

外来患者数

(2021年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	16	20	20	10	13	12	15	19	20	11	7	13	176
	初診	71	61	97	65	78	80	68	65	67	70	44	61	827
	再診	197	203	228	266	271	249	238	244	265	229	198	278	2,866
	総計	284	284	345	341	362	341	321	328	352	310	249	352	3,869

手術実績

(2021年度)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全麻	5	10	10	10	13	11	9	12	11	4	1	4	100
その他	17	12	16	17	15	6	16	16	10	12	17	11	165

6. 今後の抱負

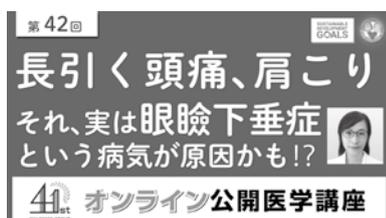
褥瘡や難治性潰瘍のみならず、他科やコ・メディカルとの連携を図り、体表の形状の変化や疾患全般に対応し、患者の満足度に貢献できる科を目指します。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
5/7	金	長引く頭痛、肩こりそれ、実は眼瞼下垂症という病気が原因かも!?	形成美容外科 医長 岡田 愛弓 医師	93



https://youtu.be/Gij3BSuY_9E

腫瘍内科

近年の抗がん剤治療の進歩の結果、臨床腫瘍学の知識を背景として、臓器横断的に各種悪性腫瘍の診療を行う、抗がん剤に精通した「腫瘍内科医」の必要性が高まってきました。一方で、本邦では従来、抗がん剤治療は外科医などの臓器別専門医が中心となって実施されてきた経緯があり、「腫瘍内科」を設置している病院は全国的にもまだ少ないのが現状です。当科は、がんの検査、治療を行う当センターにおいて、抗がん剤を専門的に扱う診療科として開設されました。がん診療を専門とする内科医として、臓器横断的に抗がん剤治療を中心に診療を行っております。科学的根拠に基づき、それぞれの患者さんに最適と思われる治療方針を提案させていただきます。詳細な病状と、治療による利益、不利益を説明の上で、患者さんやご家族とよく相談し、同意をいただいた後に、治療を進めてまいります。抗がん剤治療に関しては、患者さんの生活の質を保つことも大切な要素の一つであるため、支持療法（＝副作用対策）、緩和療法（＝症状に対する対症療法）を十分にを行い、また、少しでも入院せずに治療が出来るよう、可能な限り、外来での抗がん剤治療を推進しております。

1. スタッフ

医師	コア機能	医療技術系（届出看護師）	医療技術系
 <p>部長 うえだ しんや 上田 眞也</p> <p>資格</p> <p>医学博士 日本内科学会 認定内科医 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本医師会 認定産業医 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了</p>		<p>看護師</p> <p>化学療法看護5年以上経験者</p> <p>専門師長 主任 主任 穴谷 理香 笠野 幸恵 杉山 恵 家迫 由佳利 認定看護師</p>	<p>薬剤師</p> <p>薬剤師経験5年以上 主任 福田 佳代 濱中 誠一</p> <p>診療検査技師</p> <p>主任 荒木 優利香 堀川 北斗</p>

2. 施設認定

日本がん治療認定研修施設

3. カンファレンス等

- 毎週月曜日呼吸器カンファレンス
- 毎週木曜日消化器カンファレンス
- 毎週金曜日化学療法カンファレンス

4. 特徴とする診療

抗癌剤治療の適応などの判断、治療、副作用対策など

5. 成果と実績

外来患者数

(2021年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	初診	5	4	1	2	7	3	3	5	5	2	3	5	45
	再診	64	66	74	71	64	72	62	64	73	71	67	67	815
	総計	69	71	76	73	71	75	65	69	78	73	70	72	862

6. 今後の抱負

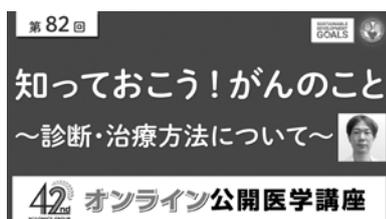
がん治療認定施設への登録

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座

(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
2/4	金	知っておこう！がんのこと ～診断・治療方法について～	腫瘍内科 部長 上田 真也 医師	107



<https://youtu.be/X8kt2BVZIT4>

放射線治療科

スタッフ一同、様々な癌への様々なステージでの治療に、患者さんの立場に立った迅速かつ適切な診療を行います。

1. スタッフ

医師



医長

たかだ やすひろ
高田 康弘

資格

医学博士
日本医学放射線学会 放射線治療専門医・研修指導者
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本医師会 認定産業医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 修了
日本放射線腫瘍学会 会員
日本緩和医療学会 会員

看護師

(交代制)

しば
斯波 千華

※手術、化学療法と並んで、がん治療の3本柱のひとつである放射線治療
放射線治療単独はもとより、手術や化学療法の併用療法として様々な部位での治療に貢献

主要装置

リニアック (Vital Beam)
64列デュアルエネルギーCT (Discovery 750HD)
64列CT (Optima CT660 Pro Advance)
MRI3.0T (MAGNETOM Skyra)
MRI1.5T (SIGNA HDxt)
PET-CT (16列・Discovery ST Elite)
バイプレーンアンギオ装置 (Inova IGS630)
心臓用アンギオ装置
(BRANSIST safire UD150G-40)



高精度放射線治療装置 (リニアック) Vital Beam

医療技術系

診療放射線技師

係長 石原 慎吾
リーダー 藤田 直生 久保庭 加寿人

医学物理士

運営事務系

(専従)

医療クラーク

(非常勤)
岡田 和葉

医療営業部

係長
大山 貴司

2. カンファレンス等

月曜日午後 3 時～ 呼吸器合同カンファレンス

木曜日午後 5 時 30 分～ 消化器合同カンファレンス

3. 特徴とする診療

1) 放射線治療科の特徴

放射線治療はがん治療の主要な柱の一つです。放射線治療の対象疾患はほぼ全ての領域に及び、特にご高齢のがん患者さんには身体に負担の少ない治療として適します。

多くの患者さんが、放射線治療の恩恵を得られるように緩和治療も含め積極的に放射線治療の適応を拡げて行きます。

放射線治療は機能と形態温存という優位な点があります。ただし、がんと同時に周囲正常組織も照射されるため、ある程度の障害を伴う場合があります。そのため、予防的な処置や処方、適応の検討を行います。

放射線治療単独はもとより、手術や化学療法の併用療法としても、様々な部位での治療に貢献しています。高齢化社会の到来に伴いご高齢のがん患者さんは増加してきており、この方々に対して身体に優しい放射線治療が選択されます。

2) 放射線治療の適応

放射線治療の適応範囲は多岐にわたります。

- ① 術後の再発抑制（術後照射）。 --- 早期乳がん etc.
- ② 手術後の領域に放射線治療を用い、根治性の向上に寄与させる。
- ③ 手術前に照射し、がんの縮小や転移を予防したうえで手術する（術前照射）。
- ④ 手術でもよいが、放射線でも同じ位治る時で、まず放射線で治療する。
--- 子宮頸がん、喉頭がん、皮膚がん、舌がん etc.
- ⑤ 手術より放射線治療のほうがよく治るから放射線治療をする。
--- 悪性リンパ種他
- ⑥ 治すことは困難だが、疼痛・呼吸困難・嚥下障害・麻痺の予防・その他の苦痛を軽減する。
--- QOL（生活の質）の改善、緩和ケアへの寄与。
- ⑦ 手術不能の時、及び手術後の再発時の手段（根治～準根治～対症的治療まで幅広く）。
- ⑧ その他併用療法として使用。 --- 化学療法等に併用 etc.

4. 成果と実績

外来患者数

(2021 年度)

(名)

	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
患者数	新患	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	初診	19	15	8	25	7	18	35	32	35	22	9	11	236
	再診	131	67	99	61	60	122	70	31	61	111	93	63	969
	総計	150	82	107	86	67	141	105	63	96	134	102	74	1,207

放射線治療患者・部位別内訳

医誠会病院(18年間) (2004～2021)

部位	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	合計
舌・歯肉・口腔	0	0	5	0	1	1	1	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	17
上・中・下咽頭	1	3	0	4	0	0	0	0	2	4	0	0	1	1	0	0	0	0	16
副鼻腔	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
喉頭	1	5	8	2	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	22
食道	4	10	12	12	6	7	16	8	3	8	2	3	3	2	2	4	1	1	104
胃	1	4	9	2	3	10	9	5	0	5	4	4	2	1	1	0	1	0	61
大腸・肛門	2	8	11	5	6	11	13	9	8	12	16	10	7	3	5	5	6	7	144
肝・胆・膵	3	10	10	7	15	15	19	23	12	9	5	9	10	5	8	7	3	2	172
肺・気管	7	17	69	69	24	34	33	50	34	29	34	22	36	20	33	27	16	14	568
胸腺・胸膜	0	0	1	0	3	1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	13
骨・軟骨	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
軟部組織・筋	0	0	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
皮膚	0	0	1	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	9
乳腺	18	36	62	22	26	20	20	19	25	28	16	9	3	9	7	13	14	12	359
子宮	0	2	3	0	0	3	4	7	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	25
卵巢・卵管	0	1	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
前立腺	2	5	15	12	2	1	3	1	6	12	10	4	8	3	13	8	7	4	116
膀胱	0	3	0	1	0	0	1	3	3	1	2	0	2	0	0	2	0	0	18
精巣・陰茎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	5
腎・尿管	0	1	8	1	1	1	1	4	1	2	5	1	1	0	1	2	1	1	32
中枢神経系	1	6	8	10	5	4	4	9	7	6	5	3	1	1	2	0	0	2	74
甲状腺	0	0	3	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9
悪性リンパ腫	0	0	4	0	1	1	3	6	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	21
骨髄腫	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
白血病	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	9
不明	0	1	1	2	0	1	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	14
ケロイド	3	4	2	2	0	3	1	1	1	5	3	0	1	4	16	8	2	2	58
合計	43	119	242	155	97	116	137	161	109	138	107	68	81	49	89	80	55	46	1,846
症例数	38	109	215	150	95	109	113	141	98	119	97	59	71	49	83	75	54	46	1,721
多重癌	5	9	24	5	2	7	19	19	11	17	9	7	7	1	1	0	0	0	143
院外症例	14	51	141	85	41	34	45	79	42	45	23	4	2	6	16	11	2	2	643
院内症例	24	58	74	65	54	75	68	62	56	74	74	55	69	43	73	69	53	44	1,090

5. 今後の抱負

より患者に近い位置での治療への貢献ができるよう、スタッフ共々協力し合い全科のニーズに応えていきます。

麻酔科

患者様にも 外科医にも
ストレスの無い麻酔環境を提案します

1. スタッフ

医師



主任部長

たなか とおる
田中 暢

資格

日本麻酔科学会 麻酔科指導医
日本救急医学会 救急科専門医
日本集中治療医学会 集中治療専門医
厚生労働省医政局 麻酔科標榜医
日本呼吸療法医学会 呼吸療法専門医



医長

かやま くにひと
嘉山 邦仁

資格

日本麻酔科学会 麻酔科指導医
厚生労働省医政局 麻酔科標榜医
日本呼吸療法医学会 呼吸療法専門医
指導医養成講習会 修了



医長

なかにし みか
仲西 未佳

資格

医学博士
日本麻酔科学会 麻酔科専門医
厚生労働省医政局 麻酔科標榜医
厚生労働省健康局 麻酔科指導医
日本心臓血管麻酔科学会 心臓血管麻酔専門医
日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医
臨床研修指導医養成講習会 修了
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了



医員

あらい あつし
新井 睦

資格

日本麻酔科学会 麻酔科専門医
厚生労働省医政局 麻酔科標榜医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了

認定施設

日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本集中治療医学会専門医研修施設
麻酔科専門研修プログラム 基幹施設

※手術室・内視鏡室・血管造影室における全身麻酔・硬膜外麻酔・脊椎麻酔に24時間365日対応

2. 施設認定

日本麻酔科学会認定病院
日本専門医機構 麻酔科専門研修基幹施設
日本集中治療学会専門医研修施設

3. カンファレンス等

症例カンファレンス 毎週月曜日 16:00～17:00
抄読会 (NEJ) 毎月第2月曜日 15:00～16:00

4. 特徴とする診療

手術室・内視鏡室・血管造影室における全身麻酔・硬膜外麻酔・脊椎麻酔は24時間365日迅速に対応します（依頼から入室まで1時間以内。平日日中は最速10分で可能。）

手術麻酔のみならず、急性期の全身管理を得意としており、集中治療室専従を週2日、HCU日当直を週1.5日担当しています。

初期研修医教育・後期研修教育は医誠会病院内でも屈指で、多くの初期研修医を受け入れており、持ち上がりで後期研修医（専門医研修）も在籍中。

5. 成果と実績

各麻酔件数は年間手術症例数を参照（197ページ）。現体制発足以降、5年間麻酔断り症例無し。

6. 今後の抱負

◎救急・集中治療分野へのさらなる進出。

（状態が不安定な患者を見つけて、初期治療をしてICUに収容し集中治療を行うことにより、主科の先生方の負担を減らします。）

◎麻酔科クラーク、周術期管理チームの充実

（新病院・全身麻酔15列を目指し、麻酔規模の拡大を計画）

救急医療センター（救急診療科）

救急及び脳神経外科・循環器科医の専門医を中心に 24 時間 365 日の体制で、救急疾患の初期診断と治療を行っています。

1. スタッフ

医師



センター長 細原 勝士 部長 渡辺 和彦 部長 安井 大雅 部長 腎臓内科兼務 高井 信幸 部長 有元 秀樹 医長 大川 惇平 医員 楠本 健太 医員 北田 真己

資格

細原 勝士 医学博士 兵庫医科大学臨床教育教授 日本救急医学会 救急科専門医 日本麻酔科学会 麻酔科認定医 厚生労働省医政局 麻酔科標榜医	渡辺 和彦 医学博士 日本外科学会 外科専門医 日本消化器内視鏡学会 会員 大腸肛門病学会 会員	高井 信幸 医学博士（千葉大学、救急集中治療医学） 日本救急医学会 救急科専門医 日本集中治療医学会 集中治療専門医 日本蘇生学会 会員 / 大阪府 難病指定医 厚生労働省認定 臨床研修指導医 厚生労働省 病院前医療体制における指導医等研修 修了 全日本病院協会 看護部特定行為研修指導者講習会 修了 大阪府医師会 災害・外傷初期診療研修会 修了 日本救急医学会 ICLS コースディレクター ICD 制度協議会インフェクション・コントロール・ドクター 日本集中治療医学会 ICT 育成コース 修了 日本航空医療学会 ドクターヘリ講習会 修了 日本病態栄養学会 NST 研修 修了	有元 秀樹 日本救急医学会 指導医 日本蘇生学会 指導医 日本集中治療医学会 集中治療専門医 日本循環器学会 循環器専門医 日本外科学会 外科専門医 日本麻酔科学会 麻酔科専門医 厚生労働省医政局 卒後臨床研修指導医養成講習会 修了 日本外傷学会 評議員 日本臨床救急医学会 評議員 日本 DMAT 隊員	北田 真己 日本救急医学会 救急科専門医 日本高気圧環境・潜水医学会 高気圧酸素治療専門医 日本内科学会 認定内科医 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 修了 日本航空医療学会 ドクターヘリ講習会 修了 日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修 修了 日本内科学会 JMECC インストラクター 厚生労働省 統括 DMAT 日本救急医学会 ICLS ディレクター
---	---	--	---	---

■ 専門救急はオンコール体制
■ 医師当直体制

月	火	水	木	金	土	日
6名	6名	6名	6名	5名	4名	4名

大川 惇平
日本救急医学会 救急科専門医

看護師

常勤：17名

副師長 高須賀 康伸	主任 兼石 彩也桂	主任 岩井 良憲	主任 南 寛貴	寺尾 真里那	猪原 昌子	南 真吾	野中 厚子
浪口 真紀	大久保 早希	金本 紗希	水田 真奈	山根 歩美			
伊藤 瑞美	津嘉山 葉月	長谷川 莉沙	林 千尋				



医療技術系

薬剤師 兼務 常勤：1名	緊急検査士 兼務 常勤：2名	救急サポートスタッフ 専任 常勤：1名
------------------------	--------------------------	-------------------------------

専門部長 安部 敏生 (日本臨床救急医学会)	統括次長 田島 直人	主事補 細井 祐美子	宮崎 円
------------------------------	---------------	---------------	------

運営事務系

医療事務部 救急専任 常勤：3名	医療事務部(データ入力担当) 救急専任 非常勤：2名	医療営業部 救急専任 常勤：1名
----------------------------	--------------------------------------	----------------------------

川邊 哲也	川崎 光紘	太田 博士	高木 悦子	久須 耐子	主任 松永 宗二郎
-------	-------	-------	-------	-------	--------------

救急救命士(院外搬送)

常勤：14名

係長 山口 裕子	主任 大野 貴之	主任 西村 昌秀	山本 海	仙田 航也	宮下 大輝	松井 徹	横張 友祐
海野 歩	中野 なつみ	堅山 元気	齋藤 裕太	行元 颯	岡田 海和		



2. 施設認定

日本救急医学会 救急科専門医指定施設
 日本救急医学会 救急科指導医指定施設
 日本集中治療医学会 専門医研修施設
 日本呼吸療法医学会 呼吸療法専門医研修施設

3. カンファレンス等

毎週水曜日 9時～10時

4. 特徴とする診療

センターの専門医師により、全ての救急搬送・独歩患者に対して初期診療(診断・初期治療)を行います。また、独歩患者には救急外来看護師・救命救急士がトリアージを行い、緊急性の有無を判断し、緊急性があると判断されれば、救急車で来院の患者同様、専門医師の診察を受けることとなります。初期診療後、入院が必要な患者は、全て専門担当科に振り分け連携を図っています。

5. 成果と実績

2021年度 救急医療センター 診療数推移

月	救急搬送						独歩			救急計			病院全体				
	搬送依頼	断り	受入(台数)	受入数(患者数)	受入率	搬送入院	入院率	独歩	独歩入院	入院率	診療数計	入院計	入院率	入院患者数	退院患者数	救急入院比率	在院患者数
4月	714	119	595	596	83.3%	362	60.7%	791	165	20.9%	1,387	527	38.0%	760	785	69.3%	9,392
5月	592	88	504	504	85.1%	279	55.4%	789	169	21.4%	1,293	448	34.6%	686	663	65.3%	9,579
6月	580	25	555	555	95.7%	333	60.0%	645	177	27.4%	1,200	510	42.5%	751	747	67.9%	9,412
7月	650	15	635	636	97.7%	352	55.3%	775	176	22.7%	1,411	528	37.4%	755	773	69.9%	9,842
8月	645	44	601	602	93.2%	322	53.5%	872	165	18.9%	1,474	487	33.0%	741	738	65.7%	9,603
9月	641	21	620	620	96.7%	356	57.4%	678	168	24.8%	1,298	524	40.4%	759	760	69.0%	9,184
10月	684	12	672	672	98.2%	398	59.2%	593	185	31.2%	1,265	583	46.1%	794	797	73.4%	9,648
11月	669	23	646	646	96.6%	366	56.7%	645	187	29.0%	1,291	553	42.8%	795	781	69.6%	9,629
12月	746	10	736	737	98.7%	436	59.2%	663	183	27.6%	1,400	619	44.2%	860	905	72.0%	9,749
1月	818	115	703	704	85.9%	354	50.3%	1,202	136	11.3%	1,906	490	25.7%	723	718	67.8%	9,747
2月	585	394	191	191	32.6%	84	44.0%	721	84	11.7%	912	168	18.4%	294	379	57.1%	6,391
3月	598	142	456	456	76.3%	294	64.5%	536	140	26.1%	992	434	43.8%	631	579	68.8%	7,689
実績合計	7,922	1,008	6,914	6,919	87.3%	3,936	56.9%	8,910	1,935	21.7%	15,829	5,871	37.1%	8,549	8,625	68.7%	109,865
平均	660.2	84.0	576.2	576.6		328.0		742.5	161.3		1319.1	489.3		712.4	718.8		9,155.4

※ 2019年4月より一般(電話)の断り件数も含む

6. 今後の抱負

卒後臨床研修において救急研修は必修科目であることから、救急診療研修を通して次世代を担う医師の育成を目指す。

この目標に向けて下記を中心に体制を整備する。

- ・救急部門研修の更なる充実と高度先進化
- ・救急科専門研修プログラムの整備・充実
- ・専門研修医（後期研修医）の招聘

集中治療センター（集中治療科〈ICU・HCU・SCU〉）

集中治療センターはICU 12床、HCU 12床、SCU 6床を有し、集中治療専門医が在籍し、専門看護師を中心に重症患者を管理するために薬剤部、臨床工学部、臨床検査部、栄養管理部、リハビリテーション部など多職種が診療に参加しています。24時間体制で重症患者を受け入れており、院内急変対応にも注力しています。

1. スタッフ

<p>医師</p>  <p>集中治療センター センター長 兼 救急診療科 部長 ありもと ひでき 有元 秀樹</p> <p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本救急医学会 指導医 日本蘇生学会 指導医 日本集中治療医学会 集中治療専門医 日本循環器学会 循環器専門医 日本外科学会 外科専門医 日本脈管学会 脈管専門医 厚生労働省医政局 卒後臨床研修指導医養成講習 修了 日本外傷学会 評議員 日本臨床救急医学会 評議員 日本DMAT 隊員 	<p>看護師 常勤：48名 非常勤：1名</p> <table border="1"> <tr> <td>(ICU専任 22名・兼務1名) 副部長 井上 智華</td> <td>(HCU専任 15名) 主任 角田 誠</td> <td>(SCU専任 11名) 主任 木原 廉</td> </tr> </table>	(ICU専任 22名・兼務1名) 副部長 井上 智華	(HCU専任 15名) 主任 角田 誠	(SCU専任 11名) 主任 木原 廉									
(ICU専任 22名・兼務1名) 副部長 井上 智華	(HCU専任 15名) 主任 角田 誠	(SCU専任 11名) 主任 木原 廉											
<p>主要装置</p> <table border="1"> <tr> <td>ICU専用人工呼吸器</td> <td>血管内体温管理装置</td> </tr> <tr> <td>ネーザルハイフロー装置</td> <td>連続心拍出量測定装置</td> </tr> <tr> <td>経皮的補助循環装置（ECMO）</td> <td>超音波診断装置</td> </tr> <tr> <td>大動脈内バルーンパンピング装置（IABP）</td> <td>血液ガス分析装置</td> </tr> <tr> <td>持続血液浄化装置</td> <td>12誘導心電図装置</td> </tr> <tr> <td>個人用透析装置</td> <td>輸液・シリンジポンプ</td> </tr> </table>		ICU専用人工呼吸器	血管内体温管理装置	ネーザルハイフロー装置	連続心拍出量測定装置	経皮的補助循環装置（ECMO）	超音波診断装置	大動脈内バルーンパンピング装置（IABP）	血液ガス分析装置	持続血液浄化装置	12誘導心電図装置	個人用透析装置	輸液・シリンジポンプ
ICU専用人工呼吸器	血管内体温管理装置												
ネーザルハイフロー装置	連続心拍出量測定装置												
経皮的補助循環装置（ECMO）	超音波診断装置												
大動脈内バルーンパンピング装置（IABP）	血液ガス分析装置												
持続血液浄化装置	12誘導心電図装置												
個人用透析装置	輸液・シリンジポンプ												
<p>医療技術系 (専従/専任)</p> <table border="1"> <tr> <td>薬剤師 常勤：3名</td> <td>管理栄養士 常勤：3名</td> <td>理学療法士 常勤：2名</td> </tr> <tr> <td>(ICU) 山田 穰・長谷川 瑞希 (HCU・SCU) 卜部 侑華</td> <td>(ICU) 川手 美穂 (HCU) 小林 由佳 (SCU) 吉澤 佳与</td> <td>(ICU) 才穂 亮介 (SCU) 市川 雄大</td> </tr> </table>		薬剤師 常勤：3名	管理栄養士 常勤：3名	理学療法士 常勤：2名	(ICU) 山田 穰・長谷川 瑞希 (HCU・SCU) 卜部 侑華	(ICU) 川手 美穂 (HCU) 小林 由佳 (SCU) 吉澤 佳与	(ICU) 才穂 亮介 (SCU) 市川 雄大						
薬剤師 常勤：3名	管理栄養士 常勤：3名	理学療法士 常勤：2名											
(ICU) 山田 穰・長谷川 瑞希 (HCU・SCU) 卜部 侑華	(ICU) 川手 美穂 (HCU) 小林 由佳 (SCU) 吉澤 佳与	(ICU) 才穂 亮介 (SCU) 市川 雄大											
<p>運営事務系 (専従/専任)</p> <table border="1"> <tr> <td>臨床支援士 常勤：2名 (医師事務作業補助者)</td> <td>データサイエンティスト 常勤：1名 (データマイニング業務)</td> </tr> <tr> <td>富岡 理恵・山成 幸子</td> <td>池上 美佳</td> </tr> </table>	臨床支援士 常勤：2名 (医師事務作業補助者)	データサイエンティスト 常勤：1名 (データマイニング業務)	富岡 理恵・山成 幸子	池上 美佳	<p>医療技術系 (兼務)</p> <table border="1"> <tr> <td>臨床検査技師 常勤：1名</td> <td>臨床工学技士 常勤：1名</td> </tr> <tr> <td>係長 下川原 逸美 (消化器内視鏡技師) (CPAP療法士) (日本睡眠学会認定検査士)</td> <td>統括次長 田中 太郎 (呼吸治療関連専門臨床工学技士) (認定集中治療関連臨床工学技士)</td> </tr> </table>	臨床検査技師 常勤：1名	臨床工学技士 常勤：1名	係長 下川原 逸美 (消化器内視鏡技師) (CPAP療法士) (日本睡眠学会認定検査士)	統括次長 田中 太郎 (呼吸治療関連専門臨床工学技士) (認定集中治療関連臨床工学技士)				
臨床支援士 常勤：2名 (医師事務作業補助者)	データサイエンティスト 常勤：1名 (データマイニング業務)												
富岡 理恵・山成 幸子	池上 美佳												
臨床検査技師 常勤：1名	臨床工学技士 常勤：1名												
係長 下川原 逸美 (消化器内視鏡技師) (CPAP療法士) (日本睡眠学会認定検査士)	統括次長 田中 太郎 (呼吸治療関連専門臨床工学技士) (認定集中治療関連臨床工学技士)												

2. 施設認定

日本集中治療医学会 専門医研修施設

3. カンファレンス等

毎日の多職種ラウンドおよび毎週木曜日に院長回診を行っています。
倫理カンファレンスなどの多職種カンファレンスは適宜開催しています。

4. 特徴とする診療

ICUとしては重症救急入院患者を受け入れる救急ICUと術後重症患者を受け入れる外科ICU、また循環器疾患を受け入れるCCUとしての機能を持っています。集中治療専門医が常駐しており、セミクローズドICUとして各科の治療方針に基づいた全身管理を行います。加えて充実したコ・メディカルとともにチーム医療を実践し、早期の回復を目指しています。

HCUは基本的に各科管理で運営され、積極的なりハビリテーションなど重症病棟と一般病棟の橋渡しとして機能しています。

SCUは脳神経外科を中心に運営され、脳卒中を中心に専門的な医療を提供しています。

5. 成果と実績

各ユニット共に患者の受け入れを積極的に行い、効率的な運営を行っています。

新入院患者数

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
ICU	52	54	49	55	48	60	50	51	64	66	54	68	671
HCU	38	28	49	56	54	41	68	63	78	67	65	19	626
SCU	29	23	25	23	19	32	29	20	24	21	21	1	267
総計	119	105	123	134	121	133	147	134	166	154	140	88	1,564

退院患者数

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
ICU	16	18	13	14	10	22	9	8	18	15	15	5	163
HCU	11	6	19	11	23	18	17	20	29	14	19	12	199
SCU	4	2	4	4	9	3	2	1	3	4	4	0	40
総計	31	26	36	29	42	43	28	29	50	33	38	17	402

在院患者数

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
ICU	279	307	303	320	321	300	328	305	325	298	292	227	3,605
HCU	296	262	340	348	336	275	351	340	340	340	316	139	3,683
SCU	177	178	179	184	171	177	187	180	183	174	167	144	2,101
総計	752	747	822	852	828	752	866	825	848	812	775	510	9,389

平均在院日数

(2021年度)

(日)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
ICU	8.2	8.5	9.8	9.3	11.1	7.3	11.1	10.3	7.9	7.4	8.5	6.2	8.6
HCU	12.1	15.4	10.0	10.4	8.7	9.3	8.3	8.2	6.4	8.4	7.5	9.0	8.9
SCU	10.7	14.2	12.3	13.6	12.2	10.1	12.1	17.1	13.6	13.9	13.4	288.0	13.7

6. 今後の抱負

重症心不全に対する補助循環装置の施設認可を想定しており、より専門的な医療の提供を目指します。また、医療安全面より Rapid Response System の運営を行い、安全面でのサポートを行っていきます。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

救急診療科と共同で、二次救命処置の指導を行い救急対応のトレーニングを行っています。各職種の病院実習の現場として活用されています。

■研修医受け入れ

1 年目、2 年目問わずローテーション先として積極的に研修医の受け入れを行っています。

8. その他

①海外論文

<有元 秀樹>

・Toru Hifumi, et al: Variability of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation practice in patients with out-of-hospital cardiac arrest from the emergency department to intensive care unit in Japan; Acute Medicine & Surgery, (8), e647, 2021

②国内学会発表

<有元 秀樹>

・第 24 回日本脳低温療法・体温管理学会学術集会〔2021 年 9 月〕
「救急医療現場ではどのようなエビデンスを必要としているか？」
・第 49 回日本救急医学会学術集会〔2021 年 11 月〕
「Reboot: Rapid Response System ～ 持続可能な RRS の再立ち上げへ」

<鹿島 秀明・豊田 大洋・齋藤 周作・山崎 太郎・田中 太郎・安部 敏生・才穂 亮介・高井 信幸・有元 秀樹>

・第 49 回日本集中治療医学会学術集会〔2022 年 3 月〕
「SP02/FIO2 ratio を起動要素にした RRS の ICU 予定外緊急入室に与える影響」

<有元 秀樹・鹿島 秀明>

・第 49 回日本集中治療医学会学術集会〔2022 年 3 月〕
「電子カルテでの自動化したトリアージは Rapid Response System において双方向性の起動要素を実現する」

③国内論文

<有元 秀樹>

・脳神経疾患に対する鎮静，鎮痛，筋弛緩，脳神経疾患管理 2021-22.2021; (1) 33.73-79
・体温管理療法. 一般社団法人日本呼吸療法学会・日本経皮的心肺補助研究会編. ECMO・PCPS バイブル. メディカ出版. 2021; 237-238
・第 20 章 鎮静, 第 21 章 発熱と体温の管理, 黒田 泰弘, 永山 正雄監修. Neuro ICU ブック. メディカル・サイエンス・インターナショナル. 2021; 406-443

病理検査センター

手術や生検、各種検体の病理検査に対応しています。

1. スタッフ

医師	医療技術系
 <p>部長 つちだ やすあき 土田 泰昭</p> <p>資格 医学博士 日本病理学会 病理専門医 日本臨床細胞学会 細胞診専門医</p>	<p>細胞検査士</p> <p>荒木 優利香 長森 晴紀 中間 愛 鈴木 由紀</p> <p>臨床検査技師</p>

2. 施設認定

日本病理学会登録施設

3. カンファレンス等

- ・(定期) 毎月第2月曜日 16:00～16:30 研修医講義 (病理診断)
- ・(不定期) 第4木曜日 15:00～16:00 CPC (2017年剖検例 1例、2018年剖検例 2例、2019年剖検例 4例+生存例 1例、2020年剖検例 3例、2021年剖検例 5例)

4. 特徴とする診療

迅速にして正確

5. 成果と実績

細胞診 5,628例、組織診 3,401例、術中迅速細胞診・組織診 52例、剖検 5例

6. 今後の抱負

ゲノム治療に対応できる方向で準備する。

7. その他

①国内学会発表

<土田 泰昭>

第67回日本病理学会秋期特別総会〔2021年11月14日〕

- ・左卵管峡部間膜内に発生した硬化性間質性腫瘍の1例

臨床検査科

総勢 35 名体制で、採血に始まり、検体検査や輸血検査、超音波を始めとする生理検査、内視鏡センター、病理センター、健診センター（人間ドック SOPHIA）、大阪医誠会がん治療クリニック、透析クリニックなど様々な場所と分野で活躍しています。

また、24 時間 365 日の救急医療に対応するため、通常勤務に加えて日当直 2 人体制で運営している。『信頼性の高い検査データを迅速に臨床の場に提供する』をモットーにそれぞれの分野に精通した臨床検査技師が担当しています。

1. スタッフ

医師



医員

おかだ ひであき
岡田 英晶

資格

2. 施設認定

- ・検体検査管理加算（Ⅳ）

3. カンファレンス等

- ・臨床検査の適正使用に関する委員会
- ・その他検査技術に関する勉強会および定例ミーティングの開催

4. 特徴とする診療

毎月開催している臨床検査適正委員会にて、検査に用いる検査機器や検査試薬、検査のフローや基準値などを、最新ガイドラインの知見に合わせて選定・更新を行っています。また精度管理データの報告と検討を行うことで、各診療科に提供している日々の検査データの精度を保証しています。

5. 成果と実績

- ・H28 年度 日臨技臨床検査精度管理調査 200 項目全てにおいて A 評価
- ・H28 年度 大阪府臨床検査精度管理調査 84 項目全てにおいて A 評価
- ・H29 年度 日臨技臨床検査精度管理調査 1 問を除く 202 項目において A 評価
- ・H29 年度 大阪府臨床検査精度管理調査 84 項目全てにおいて A 評価

6. 今後の抱負

技師一人当たりが担当可能なエコー領域を増やし、救急病院としての検査受け入れ体制の強化・断らない医療を目指します。また無駄な検査を削減できるよう発生時点管理を徹底し、医師への積極的なフィードバックを行います。

人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター・医誠会出張健診センター

新しい医療文化の創造を志向し、安全で良質な健診サービスの提供を通して受診者の健康管理と増進のために貢献します。

1. スタッフ

人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター 医師



センター長

やん どりょう
梁 徳淳

資格

日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医制度暫定指導医
日本人間ドック学会 人間ドック認定医
日本胸部外科学会 認定医



副センター長

はしもと たかみ
橋本 宇史

資格

日本人間ドック学会 人間ドック専門医
日本胸部外科学会 認定医・指導医



医員

みずかみ けんじ
水上 健治

資格

医誠会出張健診センター 医師



所長

なかむら よしこ
中村 芳子

資格

医学博士
日本医師会 認定産業医



医員

たにくち なみ
谷口 奈美

資格

日本医師会 認定産業医
日本保険学会 認定医



医員

あおき けいこ
青木 圭子

資格

2. 施設認定

日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」、人間ドック専門医研修施設
日本脳ドック学会「日本脳ドック学会施設認定」

3. カンファレンス等

毎週月曜日 午後 3 時～（感染対策として不定期開催としている。受診者さんのアンケート結果については、メールで内容を確認共有している。）

4. 特徴とする診療

先進医療の診断学を積極的に取り入れた検査

基本コースに加えた豊富なオプション検査

再検査から治療までホロニクスグループでトータルサポート（料金は保険診療となります）

人間ドック SOPHIA では人間ドック学会のガイドラインに基づく感染対策を十分に行っています。また受診者さんへの受診に際しての留意点の周知や保健師による受診直近の健康チェックなど施設内への感染持ち込みに対する水際対策も独自に行いました。その結果、施設内での感染はみられませんでした。

5. 成果と実績

■予防医療事業部 受診人数

(2021 年度) (名)

人間ドック受診者数	3,379
健診受診者数	19,509
出張健診受診者数	5,502
出張乳がん検診受診者数	6,576

■保健師 特定保健指導実施者数

(名)

(初回面談実施)	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
動機づけ支援	41	29	35	461	357	337
積極的支援	17	28	49	272	175	208
合計	58	57	84	733	532	545

■人間ドック件数

(2021 年度)

(件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
107	145	278	313	307	307	357	343	341	278	261	342	3,379

■健診件数

(2021 年度)

(件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
健診	366	388	529	559	599	567	654	627	712	597	545	714	6,857
出張健診	260	828	1,846	1,342	1,330	2,302	2,362	2,469	1,526	1,998	1,997	1,249	19,509
出張職員健診	480	626	547	481	384	341	542	452	392	376	312	569	5,502
合計	1,106	1,842	2,922	2,382	2,313	3,210	3,558	3,548	2,630	2,971	2,854	2,532	31,868

6. 今後の抱負

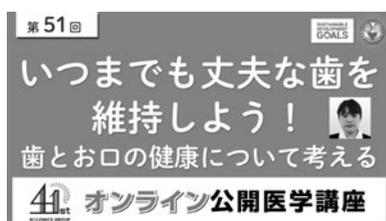
保健師による受診勧奨システムをフル活用し、医療機関での診療が必要と判断された受診者の、医療機関への受診率を向上させる。

7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

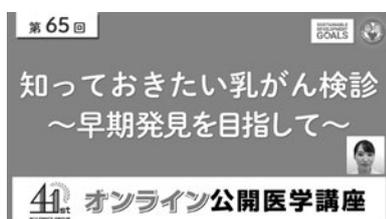
■オンライン公開医学講座

(2021年4月～2022年3月)

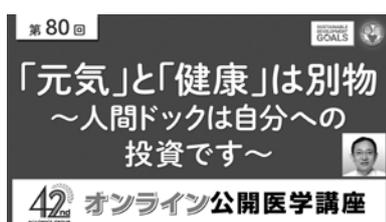
日付	曜日	テーマ	講師名	参加数人
7/2	金	いつまでも丈夫な歯を維持しよう！ 歯とお口の健康について考える	医誠会病院 予防医療事業部 古木 怜奈 保健師	100
10/1	金	知っておきたい乳がん検診 ～早期発見を目指して～	医誠会病院 予防医療事業部 谷口 早 保健師	55
1/21	金	「元気」と「健康」は別物 ～人間ドックは自分への投資です～	人間ドック SOPHIA 医誠会健診センター長 梁 徳淳 医師	87



<https://youtu.be/-C-ybX0IsVA>



<https://youtu.be/ckZZ8li7wgg>



<https://youtu.be/v4iLzUjuk4>

8. その他

①国内学会発表

<宮園 希望・林田 智美・三橋 若奈・甲斐 愛梨・谷口 奈美・橋本 宇史・梁 徳淳>

・人間ドック学会

「当院人間ドックにおけるコロナ感染者の水際対策」

12 看護部

看護部

一人ひとりがいきいきと働き、持てる力を発揮できる看護部を目指していきます。

【2021年度 看護部】

■看護部組織

副院長	高須賀 千恵子【認定看護管理者】※2021年6月末迄
看護部長	上野 ゆかり【認定看護管理者】※2021年12月末迄(2022年1月～本部常務理事)
副看護部長	田原 晴実
専門看護師	
急性重症患者	鹿島 秀明(師長)
急性重症患者	永友 舞(師長)

認定看護師

感染管理	東 麻奈美(専門師長)
感染管理	秋山 拓三(専門主任)
皮膚・排泄ケア	濱元 佳江(専門師長・教育専従師長)
皮膚・排泄ケア	栞山 麗(専門師長)
がん化学療法看護	穴谷 理佳(専門師長)
集中ケア	豊田 太陽(専門主任)

医療安全管理者 田村 一子(師長)

師長 13名 副師長 6名 主任 25名

■看護部目標

1. 看護の質の向上
2. 外来・入院単価の改善
3. 働きやすい職場を目指した環境の改善
4. 人材育成

■看護の提供体制

看護体系	急性期入院基本料 1 特定集中治療室管理料 3 ハイケアユニット管理料 1 脳卒中ケアユニット管理料
看護方式	ベッドサイドナーシング
看護単位	6病棟・ICU・HCU・SCU・手術室・救急外来・一般外来

■看護外来

	外来名	月	火	水	木	金	土
午前	皮膚・排泄ケア看護外来					栞山	
	がん相談外来	穴谷	穴谷	穴谷	穴谷	穴谷	
	糖尿病看護外来	松井	松井	松井	松井	松井	松井(第2・4)
午後	皮膚・排泄ケア看護外来	栞山					
	がん相談外来	穴谷	穴谷	穴谷	穴谷	穴谷	
	糖尿病看護外来	松井	松井	松井	松井	松井	



皮膚・排泄ケア看護外来



がん相談外来



糖尿病看護外来

■行事内容 * 2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で未開催あり

4月	新卒入社式・新入職者オリエンテーション
5月	ナイチンゲール生誕記念「看護の日」イベント・ふれあい看護体験（府内高校生）
7月	院内看護研究発表会
10月	レベルIローテーション研修開始
11月	レベルIII事例検討発表会
2月	看護部意向調査
3月	看護部成果発表会・レベルI修了式

■実績（学会発表・執筆等）

1. 学会発表

■第52回（2021年度）日本看護学会学術集会

「急性期病院看護師の多職種連携実践能力に関連する要因 一看護師の多職種連携実践能力の向上に向けて」

■第49回 日本集中治療学会学術集会

「SPO2/FIO2ratio を起動要素にした RRS の ICU 予定外入室に与える影響」

■第9回 大阪府看護学会

「チューブ類抜去予防目的の身体拘束減少に向けた身体拘束予防ガイドラインの活用と有効性の検討」

「自宅で大腸内視鏡検査の前処置を施行した患者における前処置不良の要因」

「セル看護が影響する看護師のストレスとその要因とコーピングについて」

■セル看護推進研究会

「セル看護提供方式導入迄の経緯」

2. 書籍執筆

2021年度 実績なし

3. 資格取得・更新

資格取得：2021年11月 感染管理認定看護師 秋山 拓三

■社会貢献（臨地実習受入れ・外部講師・公開講座等）

1. 臨地実習受入れ

- 京都橘大学：専門看護師実践看護応用学Ⅰ・Ⅱ実習
- 四條畷学園大学：基礎Ⅰ・Ⅱ、成人Ⅰ慢性期、統合
- 大阪青山大学：基礎Ⅰ・Ⅱ、成人Ⅱ急性期

2. 外部講師

- 看護部長 上野 ゆかり
 - ①学校法人 藍野大学キャリア開発・研修センター
2021年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修講師
 - ②四條畷学園大学 非常勤講師
- 急性重症患者看護専門看護師 鹿島 秀明
 - ①京都橘大学 看護学研究科非常勤講師

3. オンライン公開医学講座

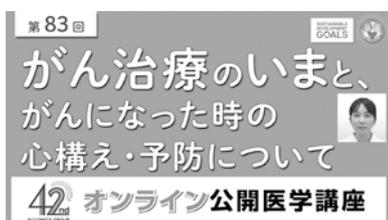
(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
5/13	木	床ずれ予防エキスパートの「皮膚・排泄ケア認定看護師」3名による座談会	皮膚・排泄ケア認定看護師 栗山 麗	53



https://youtu.be/oP_jI3D34XY

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
2/10	木	がん治療のいまと、がんになった時の心構え・予防について	外来化学療法室 がん化学療法看護認定看護師 穴谷 理佳	75



<https://youtu.be/ayueYVFXFYU>

■看護部の取組み

1. 看護提供方式ベッドサイドナーシングの定着

2023年10月新病院移転に向け、2019年6月から2021年3月にかけて6病棟で順次看護提供方式をベッドサイドナーシングに移行。2021年度から一部病棟に機能別を取り入れ、薬剤に関する作業ミス減少につながっている。次年度は機能別を他の病棟に拡大し業務の効率化、ケアの充実、質の向上を目指す。

2. 看護の質向上を目指した人材育成

中長期計画として看護の専門性をより発揮するためリソースナースの育成・採用に力を入れており、2021年度は感染認定看護師を1名が取得、医療安全管理者研修を4名が修了した。

3. 働きやすい職場を目指した離職防止・定着への取組み

時間外残業の削減、有休取得率の向上を目指し、経年的に業務の効率化に取り組んでいる。シフト時間の見直し、管理日誌のアプリ化、常駐栄養士の業務開始、メッセージ業務の移行、病棟クランク業務の調整等、看護ケア周辺業務もシフトされている。

13 各部・センター紹介

薬剤部

「One for all, All for one」

一人はみんなのために、みんなは適正な薬物治療提供のため。一人の患者のために

医薬品の適正使用と安全管理、処方設計の支援や減薬などに貢献するために、病棟常駐化や外来院内調剤、ICT、AST、NST、褥瘡、がん化学療法、糖尿病などのチーム医療の一員としても活躍しています。また、薬学部実務実習だけでなく、薬学生のインターンシップの受け入れも行い、薬剤師の育成にも力を注いでいます。

1. スタッフ

全体人数：28人

■科長 城尾 晃太

■係長 松永 都

殿 啓徳

中澤 秀美

■主任 福田 佳代

上出 紗栄加

安部 沙織

中原 正季

■専門部長 安部 敏生

資格：日本静脈経腸栄養学会認定 NST 専門療法士	3名
日本臨床救急医学会認定 救急認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター認定 認定実務実習指導薬剤師	4名
日本糖尿病療養指導士認定機構認定 日本糖尿病療養指導士	3名
日本中毒学会認定 認定クリニカル・トキシコロジスト	1名
日本病院薬剤師会認定 日病薬病院薬学認定薬剤師	3名
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	1名
化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師	3名

2. カンファレンス等

薬剤部ミーティング（月1回）：病棟

3. 目的・職務

医師をはじめとするあらゆる医療従事者と協力して患者に最適な薬物治療を提供し、医薬品に関する医療安全を確保するとともに、医療薬学の教育に貢献し、医療の質と効率の向上に寄与する

業務

- ・ 調剤業務
- ・ 製剤業務
- ・ 注射調剤業務
- ・ 抗がん薬調製業務
- ・ 薬剤管理指導業務
- ・ 医薬品管理業務
- ・ 医薬品情報管理業務
- ・ 教育業務
- ・ 臨床研究業務
- ・ チーム医療

4. 成果と実績

処方箋枚数

(枚)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処方箋枚数	外来	4,593	4,476	4,565	4,541	4,929	4,786	4,436	4,927	4,970	4,265	3,920	4,486	54,894
	入院	8,438	7,824	7,961	7,720	8,079	8,179	8,229	8,670	8,495	6,861	4,433	6,461	91,350
注射箋枚数		11,195	11,183	11,588	11,625	11,682	11,314	12,820	11,337	11,859	13,212	8,673	12,011	138,499

薬剤管理指導件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤管理指導	1,104	1,263	1,354	1,246	1,279	1,318	1,168	1,290	1,359	1,211	440	902	13,934
退院時薬剤情報管理指導	443	382	452	454	444	442	455	447	538	411	205	340	5,013
麻薬管理指導	11	8	10	10	8	22	11	10	11	12	3	5	121

病棟薬剤業務実施加算件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病棟薬剤業務実施加算 1	1,881	2,067	1,852	1,904	2,114	1,838	2,160	1,989	1,957	2,113	1,119	1,558	22,552
病棟薬剤業務実施加算 2	713	648	798	793	789	676	783	665	744	756	403	406	8,174

無菌製剤処理（抗がん薬無菌調製）件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来化学療法	82	78	98	71	78	69	61	79	74	64	58	76	888
入院化学療法	9	15	12	12	20	11	14	6	10	9	11	13	142

5. 今後の抱負

①患者満足度の向上：Patient (benefit) first principle

- ・ 外来投薬待ち時間の短縮（平均 17 分以内、1 時間超え件数 0）を目指す。

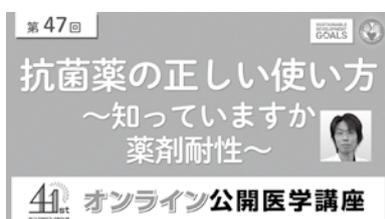
②適正な薬物治療の提供

- ・ STOPPcriteria をもとに減薬提案を行う。
- ・ 多剤併用処方の見直しを行い、10 剤以内（最終目標 6 剤以内）を目指す。
- ・ 薬剤師の質的向上のための教育システムを整備する。
- ・ 標準処方、薬剤選択基準、フォーミュラリーの作成を行う。
- ・ 病棟薬剤業務と薬剤管理指導の記録の効率化を図る。

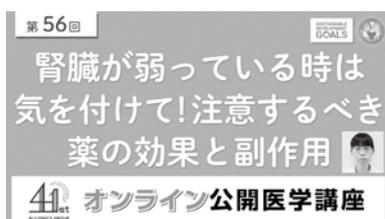
6. 社会貢献（公開講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座（2021年4月～2022年3月）

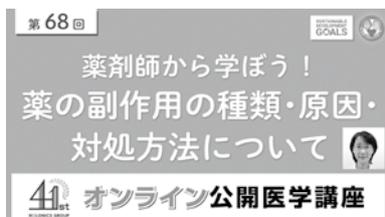
日付	曜日	テーマ	講師	参加人数
6/4	金	抗菌薬の正しい使い方 ～知っていますか薬剤耐性～	神崎中央病院 薬剤科 松本 武輝 薬剤師	88
8/6	金	腎臓が弱っている時は気を付けて！ 注意すべき薬の効果と副作用	檀原リハビリテーション病院 薬剤科 村田 紫織 薬剤師	88
10/22	金	薬剤師から学ぼう！ 薬の副作用の種類・原因・対処方法について	エスペラル東淀川 薬剤科 西本 泉 薬剤師	83
11/5	金	薬の飲み合わせに気を付けて！ ～データに基づく薬の相互作用～	東舞鶴医誠会病院 薬剤科 土下 喜正 薬剤師	70
12/17	金	誰にでも身近なこころの病気 うつ病薬の種類と服用について	東春病院 薬剤科 笠井 俊典 薬剤師	64
1/7	金	お薬の選び方お教えします！痒みと薬の使い方	摂津医誠会病院 薬剤科 中尾 枝穂 薬剤師	89
3/18	金	市販薬と病院でもらうお薬って何が違うの？ ～いまいちど考えてみる選び方や使い方～	医誠会病院 薬剤部 有泉 壮馬 薬剤師	97



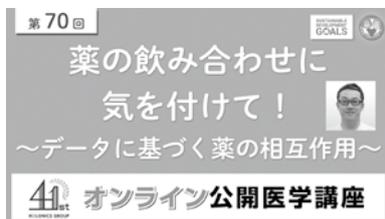
<https://youtu.be/Xop9G9mM7BE>



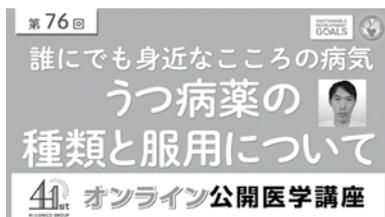
<https://youtu.be/OTgal6TCvho>



<https://youtu.be/I4lJDWphrq4>



<https://youtu.be/gfekQQuTv64>



<https://youtu.be/Btdwso1Dtw>

第 78 回

GOALS

お薬の選び方お教えします！
痒みと薬の使い方

42 オンライン公開医学講座



<https://youtu.be/zUZRGXqEu2c>

第 88 回

GOALS

市販薬と病院でもらうお薬って
何が違うの？
～いまいちど考えてみる選び方や使い方～

42 オンライン公開医学講座



<https://youtu.be/AGyIjQluWA>

臨床検査部

総数 72 名体制（うちキーパンチャー 4 名、内視鏡洗浄員 3 名、事務員 1 名）で、採血に始まり検体検査や輸血検査、超音波検査などの生理検査、内視鏡センター業務介助、病理検査センター、人間ドック SOPHIA、健診センター、出張健診、大阪医誠会がん治療クリニック、付属クリニックでの業務応援など、様々な場所と分野にて活躍しています。

『臨床へ価値あるデータを迅速に』をモットーにそれぞれの分野に精通した臨床検査技師が責任を持って取り組んでいます。

救急医療に対応するため、通常ルーチン業務に加えて 24 時間 365 日の当直 2 名体制で運営しています。

2020 年 4 月よりリアルタイム PCR 法を利用した遺伝子検査内製化を達成し、さらなる医療貢献を進めて参ります。

1. スタッフ

全体人数：72 人（2022 年 4 月 1 日時点）

- 統括次長 田島 直人
- 科長 前田 嘉文（予防）
- 係長 下川原 逸美
- 主任 杉田 惇（内視鏡）、荒木 優利香（病理）、原 久美（予防）、中村 仁美（予防）
- 主事補 細井 祐美子
- リーダー 山本 博一、飯島 圭亮

資格：超音波検査士（循環器、血管、消化器）

認定脳神経超音波検査士

認定病理検査技師

細胞検査士

国際細胞検査士

緊急検査士

消化器内視鏡技師

認定心電図判読技師

心電図検定 1 級、2 級、3 級

二級検査士（循環生理学、血液学、病理学、微生物学）

栄養士・管理栄養士・健康食品管理士、上級健康食品管理士

特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者

ISO9001 内部監査員養成研修修了

日本救急医学会 BLS、ICLS

第二種 ME 技術実力検査士

中級バイオ技術者認定

認定 POCT コーディネーター

CPAP 療法士

日本睡眠学会認定検査士

ピンクリボンアドバイザー 初級、中級

2. 施設認定

検体管理加算（Ⅳ）、輸血管管理料（Ⅰ）、輸血適正使用加算（Ⅰ）、病理診断管理加算（Ⅰ）、感染防止対策加算（Ⅰ）

3. 委員会・カンファレンス等

- ・臨床検査適正委員会
- ・医療安全管理委員会
- ・感染防止対策委員会
- ・ICTミーティング
- ・ASTミーティング
- ・臨床研修管理委員会
- ・輸血療法委員会
- ・化学療法検討委員会
- ・NST運営委員会
- ・個人情報管理委員会
- ・役割分担推進委員会
- ・事故防止対策委員会
- ・DPC委員会
- ・患者サービスWGミーティング
- ・ISO管理WGミーティング
- ・遺伝情報管理WGミーティング
- ・治験審査WGミーティング
- ・クリニカルパス委員会
- ・糖尿病チームミーティング
- ・出張健診ミーティング
- ・慢患ワーキング
- ・施設基準・診療報酬ミーティング
- ・CPC(臨床病理検討会)
- ・循環器カンファレンス
- ・消化器内視鏡カンファレンス
- ・その他検査技術に関する勉強会及び定例ミーティングの開催

4. 目的・職務

患者検体や患者の体から得られた情報を分析・評価し、得られた科学的・客観的データを臨床に提供することで診断治療のサポートを行います。データの管理、異常データの追跡も行い、また栄養や感染といった専門知識を活かして院内ラウンドにも参加します。

業務

- ・検体検査（血液検査、微生物検査、免疫検査、輸血検査、病理検査）
- ・生理機能検査（心電図、呼吸機能、脳波、超音波、神経）
- ・遺伝子検査（LAMP法、リアルタイムPCR法）
- ・内視鏡（患者介助、内視鏡的治療補助、光源装置・ファイバー・治療器具の選定と管理）
- ・予防医療（院内でのドック・健診、専用バスにて院外事業所への出張検査、報告書作成）
- ・検体採取（採血、生検など）

また各種委員会への参加や、糖尿病教室、医療公開講座といった活動を通じ、職能横断的活動に活躍しています。

5. 成果と実績

院内検体検査実績件数 (2021年4月～2022年3月)

生化学検査	免疫学検査	血算検査	凝固線溶検査	一般検査	血液ガス検査	新型コロナ PCR
88,837	28,173	83,777	15,253	41,782	25,022	29,872

輸血検査実績件数

血液型検査	不規則抗体検査	交差適合試験
3,688	801	2,024

使用製剤 (単位)

赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	自己血
4,048	1,038	2,240	2

病理検査実績件数

病理診断	迅速診断	細胞診
3,284	41	2,901

超音波検査実績件数

腹部	心臓	頸動脈	末梢血管	体表領域	乳腺	経食道
6,357	4,799	1,709	1,081	574	2,314	48

生体検査 (超音波検査以外) 超音波検査実績件数

心電図	負荷心電図	ホルター	血圧脈波	スパイロ	脳波
30,637	123	161	1,081	1,031	137

6. 今後の抱負

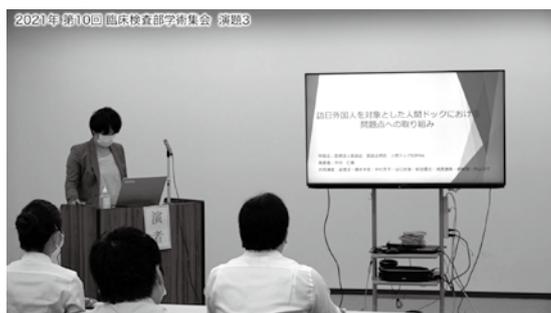
無駄な検査費を削減できるよう、今後も発生時点管理、医師へのフィードバックを継続致します。
また超高齢化社会を目前に控えた現在では医療の変革が大きく、従来のトラブルシューティング型医療から先行投資型医療への偏移が求められます。臨床検査部では外来・入院の他にも、今後は人間ドック・健診の充実を目標に、人員の確保と教育に力を入れていきます。

新病院に向けて更に業務の標準化を進め、24時間対応で迅速で正確なデータをペーパーレスでの報告を目標とします。

また全技師がより広く、業務に携われるようにタスクシフト研修にも力を入れ、より効率的な業務連携に繋がります。

7. 社会貢献（公開講座・研修受入等）

■臨床検査部 学術集会〔2021年9月26日（日）〕



ポスターの部 優秀演題
「訪日外国人を対象とした人間ドックにおける問題点への取り組み」
予防医療事業部 人間ドック SOPHIA 中村 仁美



口演の部 優秀演題
「城東中央病院にて遭遇したまれな症例報告」
城東中央病院 臨床検査科 林 瑠菜



閉会の挨拶 臨床検査部 田島 直人 統括次長

■オンライン公開医学講座〔2021年4月～2022年3月〕

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
5/21	金	知ってほしい!! がん検診	医誠会病院 臨床検査部 三宅 彩加 臨床検査技師	89
10/8	金	病気の早期発見! 苦痛の少ない胃カメラ検査でわかる病気について	医誠会病院 臨床検査部 杉田 惇 臨床検査技師	76



<https://youtu.be/NskhAY--tUE>



https://youtu.be/PrnVG_lfZtM

■実習生受け入れ

- ・大阪医療技術学園専門学校 1名
- ・京都保健衛生専門学校 1名

診療放射線部

日々の診療に加え、グループ内診療放射線技師の研究発表や、ホロニクスグループ全体の学術講演などを実施し、活発な意見交換を行い共有化を図りながら、より良い診療を目指し患者さんへの還元をはかっています。またコロナウイルス感染防止対策として、放射線室や装置に対する光触媒コーティング、オゾン発生装置の配置、また職員の健康状態を管理する安否確認システム導入など患者さん及び職員の安全に留意しております。

1. スタッフ

全体人数：26人

- 統括次長 藤原 健祐
- 係長 石原 慎吾
- 主任 作田 雄大

資格：第一種放射線取扱主任者	3名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	1名
X線 CT 認定技師	1名
医用画像情報精度管理士	1名
放射線機器管理士	1名
放射線管理士	1名

2. 施設認定

- ・マンモグラフィ検診施設画像評価 B 認定（検診車）
- ・マンモグラフィ検診施設画像評価 B 認定（病院）

3. カンファレンス等

- ・系列病院放射線部責任者会議 適宜
- ・放射線部勉強会 適宜
- ・放射線部カンファレンス 適宜

4. 目的・職務

より診断に有益な画像の提供を念頭に置き、安全確保・被曝線量軽減へと努めています。また、各種認定資格などを取得し、先進的で高度・良質な医療の提供の為に技術と知識の向上にも努めています。

CT 検査では、2 台の MDCT (64 列 /64 列) が稼動しており、より高精細な画像と高速撮影を兼ね備え、緊急検査には 24 時間対応しています。

MRI 検査でも 24 時間緊急対応を行っており、拡散強調画像 (DWI) を用いて超急性期脳梗塞の診断に役立てています。

マンモグラフィは、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会より院内・検診バスともに施設認定を受け、精度管理された装置で女性技師による検査対応をしています。

放射線治療は、高精度放射線治療装置にて治療します。

治療精度向上を図り、患者さんに合わせた各種固定器具を使用し、初回治療前に照射の安全性を確認するための検証を、全患者さんに対し例外なく実施しています。患者さんの治療中のケアに対しては担当の看護師が対応し、治療前のオリエンテーションやセルフケアなどの指導や治療中の不安や心配事への精神面のサポートにも努めています。

2020 年 3 月には、19 インチ大型タッチパネルモニタ搭載の FPD 回診用 X 線撮影装置を導入し、より素早く確実な画像確認が可能となりました。また、凹凸のないフルフラット構造により従来より拭き取りやすく清潔性を維持できます。放射線画像に関しては、緊急所見・異常所見を放射線技師が確認し担当医師や担当診療科に連絡することで所見の見落としを防いでいます。



移動形態



撮影形態

FPD 回診用 X 線撮影装置

業務

- ・ 一般撮影
- ・ CT
- ・ MRI
- ・ 血管造影
- ・ 透視検査
- ・ PET-CT
- ・ 放射線治療
- ・ マンモグラフィ
- ・ 外科用イメージ操作
- ・ 骨密度測定

5. 成果と実績

2021 年度 院内検査実績件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	1,999	2,010	2,756	2,800	2,555	2,844	2,688	2,855	3,055	3,255	3,011	3,428	33,256
CT	1,396	1,255	1,301	1,255	1,233	1,358	1,401	1,386	1,299	1,399	1,308	1,402	15,993
MRI	496	480	523	542	508	533	586	522	580	529	505	539	6,343
PET-CT	20	14	22	7	12	16	18	25	15	17	12	24	202
放射線治療照射	120	52	71	53	39	122	84	29	56	107	92	23	848

6. 今後の抱負

- ①新病院に向けての教育の充実と技師のスキルアップ
- ②放射線画像の追跡と結果確認

臨床工学部

医療機器の適切な管理と運用を実践し、コンプライアンスの遵守とチーム医療による医療安全を最優先とする質の高い臨床技術を提供します。

1. スタッフ

全体人数：17人

■統括次長 田中 太郎

■主任 加藤 貴充

2. 施設認定

臨床工学技士会 認定臨床実習指導施設

3. カンファレンス等

第1水曜日

4. 目的・職務

生命維持管理装置の操作、及び、保守点検を行う。

業務

血液浄化部門（血液透析を含む）

透析導入及び検査入院、合併症の治療・手術等の入院加療を必要とする患者様に対して医師、看護師と協力し透析療法を施行する。また、エンドトキシン吸着を初め各種吸着療法、免疫細胞療法におけるリンパ球採取など様々な血液浄化療法にも24時間体制で対応している。

ME部門

人工呼吸器、シリンジポンプ等院内で使用するME機器の保守・点検を初め機器のトラブルへの対応、貸し出し、ライフサイクルまで総合的に医療機器の管理を行う。医療ガスの管理業務である。また、看護師等へME機器の取り扱い教育もME部門の業務である。

オペ・カテ部門

手術室機器（麻酔器、人工心肺等）の保守・管理・準備・点検・操作、ペースメーカー植込み立会い・Follow-up checkの施行、PCPS・IABPなどの補助循環装置の管理、カテーテル検査等に24時間体制で対応している。

5. 成果と実績

- ・医療ガス定期点検実施（業者による法定点検）
- ・医療ガス室日常点検実施（月～土）（臨床工学部）
- ・各種医療機器定期点検実施

心臓血管外科部門実績（2021年4月～2022年3月）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CABG (on pump)			3	3			1			5	2	3	17
CABG (off pump)				1	2				1			1	5
AVR	1			1		2				2	1	2	9
AVR (Sutureless Valve)			1		1					1	1	1	5
MICS-AVR													0
AVR+CABG		1						1				1	3
MAP・MVP							1						1
MVR	1		1	1			1						4
MICS-MVR/MVP		2								1			3
MVR (形成含む)+CABG						1							1
二弁手術 (MICS)					1								1
二弁手術 (AVR,MVP/AVR,MAP など)					1								1
三弁手術 (AVR,MAP,TAP など)													0
上行置換			1			1	3			1	1	1	8
弓部置換						1		1					2
下行置換	1							1	1		1		4
大血管手術+ CABG													0
大血管手術+一弁手術											1		1
Bentall													0
左室形成													0
Maze													0
ASD 閉鎖													0
その他	1						1						2
総計	4	3	6	6	5	5	7	3	2	10	7	9	67

手術室業務部門実績（2021年4月～2022年3月）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ナビゲーション（脳神経外科）				2	2	2		2		1	2	1	12
ナビゲーション（脊椎・脊髄外科）	2	2							1		2		7
ラジオ波焼灼（消化器外科）													0
ラジオ波焼灼（心臓血管外科）	1			1	1	2	1						6
術中ペースメーカー対応	2	1	1	1	6	1	2	4	3	4	1		26
術中自己血回収（人工心肺症例除く）	1			1	1		1						4
業者借用器材対応	25	31	21	17	23	17	13	19	21	24	7	25	243
術中トラブル対応	62	63	71	61	56	28	30	66	78	79	37	91	722
気管支ファイバー洗浄対応	7	6	4	6	4	3	8	5	6	8	1	2	60
総計	93	97	93	83	89	50	47	91	103	108	49	117	1,020

ME 機器定期点検実績 (2021 年 4 月～ 2022 年 3 月)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD レコーダー	0					7						7	14
TCI用シリンジポンプ												2	2
ガーゼカウンタ				2						2			4
サーバー			1				1						2
シリンジポンプ	21	9	25	15	8	16	3	7	11	5	6	4	130
セントラルモニタ	18	17	17	17	17	15	15	15	15	15	7	21	189
タニケット		2						2					4
ディフリバン用シリンジポンプ	2	2	7	2		2	1	3	5	3	2	3	32
ネーザルハイフロー											1		1
ビデオシステムセンター	13						13						26
ファイバースコープ										1			1
マイクロ波手術器				1		1						1	3
レーザー関連機器										1			1
レンタル人工呼吸器			1										1
移動用ベッドサイドモニタ	21	20	22	23	21	21	21	22	21	19	16	22	249
医療ガス設備	1			2			1				1		5
一酸化窒素療法機器	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	1	2	24
加温器				20						15		3	38
気化器	2	2	2	2	2								10
気腹装置					5						5		10
経腸栄養ポンプ			6										6
血液浄化装置		1	1									2	4
血流計								1					1
光源装置			5	1	5				6		5		22
恒温水槽		1				1		1					3
酸素ブレンダ		3						3					6
自己血回収装置			1										1
自動心臓マッサージシステム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
手術室ベッドサイドモニタ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
手術用顕微鏡		1						1					2
循環動態モニタ				2	5		1				6		14
除細動装置							1		8				9
除細動装置 (AED)	9	10	9	9	9	9	9	9	8	10	9	9	109
人工呼吸器		1	1	2		2	3		3	4	1	4	21
人工心肺装置											3		3
据置型パルスオキシメータ						1						1	2
設置場所固定ベッドサイドモニタ	54	54	52	54	54	54	54	53	55	53	54	52	643
洗浄・滅菌器									1	1	1	1	4
超音波凝固切開装置						3						3	6
超音波手術器						2							2
超音波診断装置 (中央管理)			1										1
低圧持続吸引器	1			3	9	1							14
低体温装置	1					1	1						3
電気メス		17	1					15					33
透析装置		1	6	1	4		7	2	3	7		2	33
透析用体重計						5							5
補助循環装置	1	3	1			1		4				1	11
麻酔器	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	9	65
輸液ポンプ	16	19	33	9	7	10	5	2	19	9	9	5	143
総計	180	178	207	180	161	167	151	155	170	161	136	162	2,008

血液浄化関係実績 (2021年4月～2022年3月)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析回数	231	219	189	165	197	178	356	271	301	152	115	169	2,543
LDL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CHDF	47	33	38	62	53	42	68	41	69	38	53	41	585
PMX・吸着・PE他	0	4	0	9	1	0	0	0	8	1	0	0	23
腹水濃縮濾過法	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5
総計	278	256	228	236	251	220	424	312	380	193	168	210	3,156

循環器部門実績 (2021年4月～2022年3月)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG	20	25	24	20	21	13	24	21	15	22	17	13	235
PCI	16	14	26	15	12	26	20	7	12	12	14	20	194
IVUS	7	5	7	6	6	6	10	6	5	7	5	8	78
OFDI	3	4	8	1	2	5	5	3	5	3	6	10	55
OCT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	8
IABP	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	7
PCPS	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
PMn	3	2	1	4	4	2	3	6	3	3	2	2	36
PM(交換)	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	6
EVT	6	3	3	5	5	5	5	6	4	3	6	8	59
Emergent	9	4	3	6	3	16	7	3	2	6	2	2	63
FFR	2	4	1	2	6	3	6	2	0	1	2	3	32
T-PM	3	2	3	4	0	2	1	1	1	2	1	0	20
Provocation	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
心臓ドレナージ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
EPS,CA	3	5	9	4	5	4	5	2	6	3	9	3	58
ILR	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
総計	74	70	86	67	65	83	93	61	53	63	71	73	860

6. 今後の抱負

臨床工学部業務の明確化と、マニュアルの整備
業務の標準化の推進

7. 社会貢献 (公開医学講座・研修受入等)

学校法人 大阪滋慶学園 滋慶医療科学大学(仮称)からの取材受入れ、大学資料に掲載

8. その他

①国内学会発表

第31回日本臨床工学会

- ・硬性鏡の視野角度の違いが内視鏡視野に影響を与えたトラブルとその発生条件の検証
- ・輸液ポンプにおける気泡検出異常の予測因子についての検討

第46回日本体外循環技術医学会

- ・灌流量の決定と輸血に関する最近のトピックス
- ・Safety- IIのアプローチで行った人工心肺操作とレジリエンスの定量評価

リハビリテーション部

回復過程の最も重要な急性期にリハビリテーションを提供しています。

医師・看護師・栄養管理部・地域医療連携室など多職種と連携して早期回復・生活動作の改善に取り組んでいます。

また、当院は、健康運動支援課を設置し予防医療に対する取り組みも積極的に行っています。

セラピストは、経験年数10年以上のスタッフも多く在籍しています。認定資格取得や学会発表も積極的に行い質の高いリハビリテーションが提供できるように取り組んでいます。

1. スタッフ

全体人数：68人

- 科長 益原 美幸 (作業療法士)
- 係長 塩田 祐介 (理学療法士)
- 係長 津田 公平 (言語聴覚士)
- 主任 野口 梓 (理学療法士)
- 主任 御書 孝彰 (理学療法士)
- 主任 中山 美穂 (作業療法士)
- 主任 濱辺 希 (健康運動指導士)
- 専門係長 渡部 勇樹 (理学療法士)
- 専門係長 才穂 亮介 (理学療法士)
- 専門主任 上羽 伸哉 (理学療法士)

保有資格：3学会合同呼吸療法認定士	9名
がんの研修会修了	6名
地域ケア会議推進リーダー	6名
介護予防推進リーダー	5名
認定理学療法士	5名
心臓リハビリテーション指導士	3名
摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	2名
認知症ケア専門士	1名
糖尿病療養指導士	1名
大阪糖尿病療養指導士	1名
特殊手技認定資格	9名

2. 施設認定

脳血管疾患等リハビリテーションⅠ
廃用症候群リハビリテーションⅠ
運動器リハビリテーションⅠ
呼吸器リハビリテーションⅠ
心大血管疾患リハビリテーションⅠ
がん患者リハビリテーション

3. カンファレンス等

各病棟リハビリカンファレンス

3A 病棟	毎週木曜日	午後 14 時 00 分から開始
3B 病棟	毎週金曜日	午後 14 時 15 分から開始
4A 病棟	毎週月曜日	午後 14 時 00 分から開始
4B 病棟	毎週火曜日	午後 14 時 00 分から開始
5A 病棟	毎週水曜日	午後 15 時 00 分から開始
5B 病棟	毎週木曜日	午後 15 時 00 分から開始

診療科別カンファレンス

脳外科カンファレンス	毎週火曜日	午後 16 時 40 分から開始
脊椎カンファレンス	毎週金曜日	午後 16 時 00 分から開始
がんカンファレンス	毎週木曜日	午後 14 時 00 分から開始
整形外科カンファレンス	毎週金曜日	午後 16 時 30 分から開始
心臓外科カンファレンス	毎週火曜日	午後 14 時 00 分から開始

4. 目的・職務

リハビリテーション部

1) 理学療法部門

脳血管疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、廃用症候群、がん疾患などの患者に対して、基本動作能力（寝返り、起き上がり、座位、立ち上がり、立位、歩行）の回復を図る目的で運動療法（関節可動域訓練、筋力増強訓練や動作訓練）や物理療法を中心とした治療を行う。

2) 作業療法部門

脳血管疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患、廃用症候群、がん疾患などの患者に対して、様々な作業を通して身体機能の回復を図り、環境調整や自助具の提案などを行い、食事・排泄・更衣動作を始めとする日常生活動作や家庭内役割（家事・仕事）など、人の生活に関わる全ての活動の練習や援助を行う。

3) 言語聴覚部門

脳卒中等によるコミュニケーションの障害（失語症、構音障害など）を持つ患者に対し、ことばの訓練やコミュニケーションをとりやすくするための訓練を行い、コミュニケーション能力の改善を目指す。また、口から食事をすることが難しい（いわゆる嚥下障害）患者に対しては、嚥下の機能評価を実施し、医師と治療方針について検討したのち、治療を実施する。

4) 健康運動支援課

生活習慣病、慢性疾患を対象として病気の悪化予防（予防医療）を支援する。運動習慣を身につけていくために運動の指導や相談を実施する。

業務

入院または外来患者に対するリハビリテーション業務

5. 成果と実績

リハビリ依頼数 (2021年4月～2022年3月)

(件)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院											
理学療法部門	40	459	37	412	35	502	39	455	41	465	32	462	41	470	27	470	37	490	28	441	13	160	40	418	410	410	5,204
作業療法部門	13	115	17	124	21	127	9	129	24	123	17	129	13	121	17	117	23	136	21	111	7	56	22	114	204	1,402	
言語聴覚部門	6	244	3	233	12	281	10	243	7	226	11	273	11	286	12	236	12	231	5	208	12	81	4	204	105	2,746	

実施単位数 (2021年4月～2022年3月)

(件)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
理学療法部門	849	7,417	786	7,249	1,019	8,365	916	8,026	1,104	8,214	1,054	7,791	1,054	8,429	1,016	8,275	1,191	8,151	868	6,292	638	3,565	756	5,684	11,251	87,458
作業療法部門	584	1,624	621	1,676	813	1,797	686	1,902	739	1,838	684	1,594	694	1,772	676	1,790	730	1,699	604	1,641	583	856	614	1,296	8,028	19,485
言語聴覚部門	53	3,044	38	2,922	40	3,237	68	3,026	66	2,654	101	2,669	116	2,857	85	2,779	88	2,802	72	2,158	37	1,181	35	1,675	799	31,004

6. 今後の抱負

急性期リハビリテーションの充実に向けて下記の取り組みを実施していく。

- ・リハビリテーションに必要な業務の標準化をもとにスタッフ教育を行い、スタッフの知識・技術のレベルアップを図る。
- ・早期退院に向けて積極的なリハビリテーションを提供する。
- ・日々取り組んでいるリハビリテーションの実績を全国レベルの学会で積極的に発表することで質の高いリハビリテーションの提供に繋げる。

7. 社会貢献 (公開講座・研修受入等)

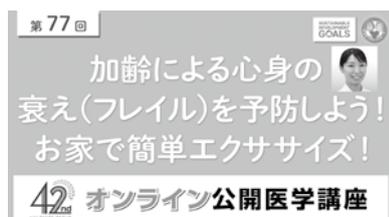
①公開講座

(2021年4月～2022年3月)

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
6/25	金	STOP 腰痛! Let's 運動!	医誠会病院 リハビリテーション部 理学療法士	野口 梓 102
12/24	金	加齢による心身の衰え(フレイル)を予防しよう! お家で簡単エクササイズ!	医誠会病院 リハビリテーション部 健康運動指導士	濱辺 希 82



https://youtu.be/Ed8Ji_DesD0



https://youtu.be/h_wAem73yEM

②実習生受入

理学療法部門（9校）：藍野大学・大阪保健医療大学・大阪河崎リハビリテーション大学
関西福祉科学大学・畿央大学・四條畷学園大学・兵庫医療大学
森ノ宮医療大学・大和大学

作業療法部門（2校）：関西福祉科学大学・四條畷学園大学

言語聴覚部門（2校）：大阪医療技術学園専門学校・京都光華女子大学

8. その他

①国内学会発表

<学会発表>

2021年8月28日

学 会 名：第5回日本循環器理学療法学会学術集会（Web開催）

発表演題：閉塞性肥大心筋症モロー手術・僧帽弁形成術の複合手術後の運動療法の経験

発 表 者：御書 孝彰

<講師依頼>

2021年7月7日

依 頼 先：大阪保健医療大学

講義内容：急性期のリハビリテーションの実際

講 師：渡部 勇樹

栄養管理部

安全で美味しく栄養バランスのとれた食事の提供と、個々のライフスタイルに合わせた栄養食事指導を入院、外来と継続して行っています。入院後は24時間以内に栄養状態の評価を行い、低栄養の早期発見に努めています。患者さんの摂食・嚥下機能に応じて安全に喫食できているか食事状況の確認をし、個人に合わせた対応を随時行っています。定期的に栄養状態の再評価を行い、必要に応じて栄養サポートチーム(NST)で、栄養介入を行います。

1. スタッフ

全体人数：43人（栄養管理科：常勤24名 給食業務科：常勤7名、非常勤12名）

■係長 小林 由佳、山脇 盛芳

■主任 吉山 真緒、高木 里紗、川手 美穂、中谷 仁美

資格：日本糖尿病療養指導士
病態栄養専門管理栄養士
NST 専門療法士
サプリメントアドバイザー
在宅訪問管理栄養士
健康運動指導士
栄養相談専門士

2. 施設認定

日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働認定

3. カンファレンス等

各病棟 NST 回診
褥瘡回診
各病棟リハビリカンファレンス
ICU カンファレンス
緩和ケアカンファレンス

4. 目的・職務

《使命》

健康に配慮した栄養食事指導の実践
安全で安心なサプリメントの提案
(栄養分析を利用したアセスメント、調理実習の実践)

《業務目標》

- ①対象患者全員に対する計画的・継続的な栄養食事指導
- ②栄養バランスに配慮した食事メニューの作成
- ③安全で美味しい給食の提供
- ④チーム医療の実践

- ⑤技術の向上に向けた日々の修練
- ⑥経営健全化への積極的参画
- ⑦コンプライアンスの遵守

《業務》

- ・栄養管理計画書作成・再評価
- ・形態確認・アレルギー聞き取り調査
- ・栄養指導（入院・外来・調理実習）
- ・食材発注・献立管理
- ・食事指示受け・調理・配膳
- ・チーム医療への参画（NST・DM・褥瘡・嚥下・心臓リハ）
- ・ICU 早期栄養介入
- ・栄養管理情報提供書作成

5. 成果と実績

第 17 回 ホロニクスグループ学術集会

「食事開始前の管理栄養士介入による不適切な食形態やアレルギー提供のリスク回避」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院栄養指導 (件)	106	123	132	99	123	168	110	157	107	84	19	72	1,300
外来栄養指導 (件)	537	476	541	526	559	514	552	514	563	470	472	542	6,266
外来栄養指導実施率 (%)	66	62	67	62	68	63	67	65	68	61	63	70	65
糖尿病透析予防指導管理加算 (件)	7	5	11	8	5	11	5	8	8	3	3	3	77
集団栄養指導（調理実習） (件)	2	0	0	3	0	0	3	2	2	2	0	0	14
聞き取り調査 (件)	267	340	386	311	355	437	454	491	378	478	169	421	4,487
ミールラウンド (件)	345	346	347	350	328	367	415	428	330	374	100	451	4,181
ICU 早期栄養介入管理加算 (件)	121	127	155	145	170	154	118	113	188	129	98	103	1,621

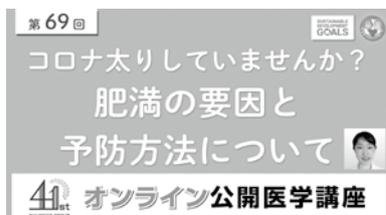
6. 今後の抱負

- ①食事箋処理ミス前年比 2 割減
- ②異物混入 0 件 / 年
- ③外来栄養指導月平均 600 件
- ④外来栄養指導実施率 75%
- ⑤入院栄養指導件数月平均 135 件
- ⑥入院栄養指導実施率月平均 22%
- ⑦食事摂取低下患者のミールラウンド介入 100%
- ⑧ NST 回診 3F15 件 / 回、4・5F30 件 / 回
- ⑨各病棟に栄養士配置

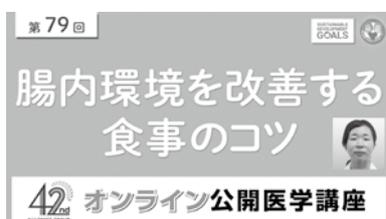
7. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

■オンライン公開医学講座（2021年4月～2022年3月）

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
10/29	水	コロナ太りしていませんか？ 肥満の要因と予防方法について	医誠会病院 栄養管理部 管理栄養士 岸本 理沙	77
1/7	金	腸内環境を改善する食事のコツ	医誠会病院 栄養管理部 管理栄養士 中谷 仁美	122



https://youtu.be/8eVJmmdc_PA



<https://youtu.be/2-hrEx5aek>

8. その他

①国内学会発表

<日本病態栄養学会>

2022年1月28日～30日

「栄養指導介入が心不全患者の低栄養改善につながった一例」 川手 美穂

「急性期病院のICUにおける早期栄養介入管理加算の算定開始による効果」 川手 美穂

外来患者管理・支援センター

患者さんの疾患の重症化・再発の防止、健康の維持・増進、QOLの向上に向けて取り組んでいます。

1. スタッフ

■コーディネーターナース 10人

全人的医療の提供を目的とし、病気や治療上の悩みを共に考え、患者さんに寄り添った医療サービスを提供する

■センター長	向 由美	資格：健康マスター（エキスパート）	3名
■主任	池田 美和	日本糖尿病療養指導士	1名
	金高 恵美	高血圧循環器病予防療養指導士	1名
	谷口 まり子	日本禁煙学会認定専門指導者	1名
	高橋 知美	大阪糖尿病療養指導士	3名
	中本 明美		
	濱田 千佳		
	丸谷 望美		
	加藤 純子		
	渡部 千尋		

■データサイエンティスト（顧客データ管理課） 4人

電子カルテシステムに蓄積されている診療録や検査データをもとに計画的・継続的な治療が必要な患者さんの予約・受診情報を管理する

■課長	畑山 亜寿香	資格：医療経営士3級	1名
■主任	岩本 千翔	医療事務管理士技能認定試験	1名
	池上 美佳	実用情報処理技能者資格	1名
	寺田 智子	実用数学技能検定準2級	1名
		英語検定準2級	2名

2. カンファレンス等

- コーディネーターナースミーティング・勉強会：第3木曜日 16：00～17：00
- 症例カンファレンス：適宜 16：30～
- 合同ミーティング：毎週金曜日 16：45～

3. 業務

<コーディネーターナース>

- 重症化・再発の防止を目的とした受診中断者への受診勧奨（来院時面談とコールバック）
- 生活・療養指導（対面もしくはオンライン）
- 医療相談、健康相談への対応
- オンライン診療への対応
- 計画的・継続的受診の啓発と重症化防止プログラムの立案

<データサイエンティスト>

- 再診予定情報の登録（前日の退院患者や次回予約のない外来患者の再診予定情報を独自のデータベースに登録）
- 再診予定情報の更新（前日に来院されなかった予約患者の再診予定情報を更新）
- 各種リスト作成（未予約患者・中断患者リスト、外来栄養指導対象患者リスト、外来運動指導対象患者リスト、がん患者リスト）

4. 成果と実績

■ 2021 年度面談・受診勧奨実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
面談		265	301	377	377	341	383	414	507	532	433	420	509	4,859	
受診 勧奨	実施数	来院時対面	81	74	73	89	60	81	88	86	71	64	46	71	884
		コールバック	1,142	1,373	1,618	1,459	1,420	1,364	1,584	1,946	1,968	1,625	1,471	1,764	18,734
	再開数	来院時対面	28	28	23	34	16	25	31	37	23	18	16	29	308
		コールバック	40	52	47	52	60	54	72	73	62	74	55	101	742
電話診察への対応		73	74	39	26	34	50	28	26	21	51	76	57	555	
オンライン診療		60	65	55	15	3	3	1	13	1	2	0	1	219	

5. 今後の抱負

患者の疾患の重症化・再発の防止に向けて、それぞれの健康状態や生活環境を理解し、他職種と連携しながら、一人一人に合わせた介入を継続していく。

またオンライン診療やPHR（パーソナルヘルスレコード）などITを活用した診療の仕組み作りにも注力していく。

14 事務部

医療事務部

医誠会病院 医療事務部では入院・外来の請求書の発行や査定返戻の対応、診療報酬明細書の点検、作成、労災、自賠責請求等、医療費の請求及び、個人情報の管理・カルテ監査、カルテに関わる書類の管理、DPCデータの提出、コーディング、様式の作成等、診療から発生する情報を幅広く専門的に取り扱っています。受付・会計部門は外来・入院患者の保険証確認、受診受付、診断書等の文書申込とお渡しの対応、入院・外来等の精算を行っております。入退院センターでは入院患者、家族への説明、手続きを対応しています。

1. スタッフ

診療情報管理	常勤	9名	
入院	常勤	11名	
外来	常勤	10名	
夜間事務当直	常勤	3名	非常勤 7名
手術入力担当	常勤	1名	
オリオン入力担当	非常勤	2名	
サーモグラフィー当番	非常勤	2名	
PCR 検査受付	非常勤	1名	
請求業務補助	非常勤	1名	(障害者雇用)
受付・会計	常勤	11名	非常勤 1名
入退院センター	常勤	7名	
備品管理担当	非常勤	1名	

全体人数：常勤 52名 非常勤 14名

- 課長心得 梶谷 瑞恵
- 係長心得 前田 翔吾
- 係長心得 川村 麻位子
- 主任心得 山下 智香
- 主任 田村 妙子

2. 目標

1. 請求事務課
 - ・保険請求のスキルを高め、減点率を年0.5%以下にする。
 - ・正確なレセプト作成を目指し、事務側の査定・返戻をゼロにする。
 - ・退院サマリー、入院診療計画書、手術記録の記載漏れをなくし記載率をすべて100%にする。
2. 受付・会計課
 - ・受付・会計での待ち時間を短縮出来るよう個人個人のスキルを高める。

3. 入退院センター
 - ・入院日より3日以内の入院手続きを完了する。
 - ・早期介入と、他職種による連携で入院費用未収金発生を防ぐ。
 - ・レンタルセット利用者数を増やし、平均利用率を85.0%にあげる。

3. 業務内容

1. 請求事務課
 - ・入院・外来のレセプト作成・請求
 - ・外来会計での引用業務
 - ・夜間事務当直
 - ・入院患者のカルテ記載の検閲
 - ・院内個人情報取り扱い
 - ・施設基準届出
2. 受付・会計課
 - ・診察の受付業務、保険証の確認
 - ・書類の申込手続き、記入後の処理
 - ・会計業務
 - ・総合案内での対応
3. 入退院センター
 - ・入院手続き（提出書類・預かり金・高額療養制度の説明・管理等）
 - ・入院費用支払い不安等の相談（無保険・高額療養等代行申請、生活保護申請依頼等）
 - ・レンタルセットの利用推進、申込手続き・利用状況管理

4. 成果と実績

1. 請求事務課
 - ・DPC データ分析、その結果のフィードバック
 - ・業務の一部標準化を実施し、業務の負荷分散を図る
 - ・カルテの量的点検の実施
2. 受付・会計課
 - ・会計にPOSレジ・自動精算機を導入し業務の効率化を図る
3. 入退院センター
 - ・入院セット利用率

2018年度	平均 82.5%	2019年度	平均 84.8%
2020年度	平均 89.7%	2021年度	平均 91.2%

5. 今後の抱負

1. 請求事務課

- ・査定率は昨年度より改善している為、より正確な医事知識の取得及び知識の標準化を図り、適正なレセプト請求に努める。とりわけ、特定入院料の減点につきましては入室基準の策定などを行い、院内に周知するなどの対策をとる。診療情報管理（病歴）においては、カルテ監査を具体的な業務改善及び医療の質の向上へと結実させること、また DPC データの分析結果をより直接的に病院経営に反映させられるようにしたい。

『減点 0・返戻 0・保留 0・未収 0』を目標に業務を遂行する。

2. 受付・会計課

- ・自動精算機の有効活用化。現状 4 割の患者が自動精算機を使用しているが、5 割以上は自動精算機を使用するよう誘導し、業務の効率化を上げたい。
- ・保険証とマイナンバーカードの統一化に伴い迅速で正確な保険証の登録を行うことにより適正なレセプト請求に繋げる。
キャッシュレス 50%を達成するために取り組む。

3. 入退院センター

- ・早期の入院手続き完了により、手続き時に判明する支払い不安等の問題点を早期に把握し、他職種との連携によるスムーズな解決を目指す。
- ・今後更なるレンタル利用率アップを図り、組織に貢献する。

6. 社会貢献（公開講座・研修受入等）

専門学校生の実習の受け入れ（約 4 週間）、本部人事部の協力による診療情報管理士を目指す学生の病院見学の対応の実施

地域医療連携センター

「お待たせしない、お断りしない」を念頭に、地域医療機関との円滑な連携をする窓口としての役割を果たして参ります。その上で、患者さんが安心して入院生活を送ることができるように多職種が介入し、入院前から退院後の生活に向けた支援調整を行なっていきます。

地域の関係機関と連携し、患者さん、ご家族が地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。

1. スタッフ

全体人数：22人

- 課長 澤田 貴江
- 課長 前川 喜久江
- 主任 下地 遥
- 主任 小林 亜里子

2. 目標

- ・スムーズな紹介の受付により、紹介元との信頼関係を構築する
- ・入院患者への早期の介入と退院支援
- ・長期入院患者への積極的な退院支援
- ・平均在院日数の短縮
- ・業務の見直しと効率化

3. 業務内容

- ・紹介患者の受け入れ調整
- ・紹介元への経過報告とその管理
- ・地域の医療機関への紹介やかかりつけ医の紹介
- ・施設機能に応じた転退院調整
- ・医療福祉相談

4. 成果と実績

入退院支援介入数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2017年度	213	250	247	200	276	275	273	268	295	289	309	348	270
2018年度	286	310	278	305	383	313	343	349	374	306	332	388	331
2019年度	356	413	340	381	366	322	351	350	368	330	318	310	350
2020年度	133	195	280	273	262	322	377	338	379	333	385	418	353
2021年度	353	284	330	325	316	335	346	309	387	292	169	246	308

長期入院患者数（40日超え）**（名）**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2017年度	10.8	14.1	10.3	10.9	9.0	6.0	9.5	13.8	8.6	6.3	4.6	4.5	9.0
2018年度	4.0	2.5	1.7	3.0	1.4	0.5	1.9	1.1	0.5	1.9	2.0	0.8	1.8
2019年度	0.3	0.8	0.7	1.0	2.0	1.6	1.6	2.7	1.5	2.0	2.0	2.1	1.5
2020年度	17.7	19.8	4.2	7.1	19.6	15.0	3.0	4.6	3.9	2.8	2.9	0.3	8.4
2021年度	0.4	2.1	0.8	2.2	1.1	2.8	2.2	3.9	4.4	4.3	10.6	6.1	3.4

平均在院日数**（日）**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2017年度	12.7	13.1	11.9	13.4	13.2	13.5	13.2	13.6	13.0	13.3	12.9	12.4	13.0
2018年度	12.2	11.9	11.6	11.4	10.5	12.3	11.9	11.5	11.3	13.5	12.2	11.6	11.8
2019年度	11.1	11.6	10.5	10.7	10.9	11.0	10.9	11.2	11.1	12.4	12.8	12.8	11.4
2020年度	17.2	16.3	12.5	13.5	15.0	12.3	11.2	11.9	11.6	12.2	11.9	11.3	13.1
2021年度	12.2	14.2	12.6	12.9	13.0	12.1	12.1	12.2	11.0	13.5	19.0	12.7	13.1

5. 今後の抱負

患者さんの身体的・精神的・社会的リスクを入院前から把握し、多職種が連携して早期に問題解決に貢献できるよう日々取り組んでいきます。

入院前から退院後の状況を見据え必要な支援を開始することで、在院日数の適正化や効率的な病床運用を行うとともに、円滑な病診および病病連携に努めて参ります。

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

- ・在宅医療連携を考える会「こぶしネット」 毎月第4木曜日ワーキンググループに参加
- ・東淀川区在宅医療・介護連携推進事業 実務者会議と推進会議に年4回参加
- ・地域の病病連携を推進する会 年2回参加

15 バックオフィス〔診療サポート〕

経営企画管理部門

本部と現場との橋渡し役
本部関係部署との連携
病院、施設への運営に係る指導や提案
運営計画の策定

1. スタッフ

■経営企画管理部門	10名	(クラーク4名うち1名育休)
■医療介護経営企画部	6名	
■施設運営管理部	2名	
■医療事務部	常勤 180名	非常勤 41名 (2名は本部、他は施設等)
■統括部長	1名	
■部長	1名	
■運営部長	2名	
■課長	1名	
■主任	1名	
■クラーク	4名	(育休1名)

2. 目標

経営執行部の意思決定に対する経営支援
業務制度の向上に対する業務改善支援
医療職・介護職と事務職との協働作業支援
制度改正に対する適応スピードの向上
制度改正及び経営指標となる新たな情報の先行取得
介護老人保健施設及び透析クリニックのM&A（規模の拡大）

3. 業務内容

病院や介護施設を取り巻く環境の変化に対応し、他の医療機関との適切な役割分担と連携してホロニクスグループにおける良質な医療・介護サービスの確保と提供を図る。
(環境の変化：医療費適正化に向けた取り組みの影響を受け、在院日数の短縮や効率化を求められる)
法人本部と施設の橋渡し役（ブリッジパーソン）

医師対策部

医師対策部は、ホロニクスグループ全ての医師の採用を行うほか診療業務のサポート（外来調整・当直対応等）を中心にサブ機能として機能しております。また、医学生の対応をはじめ初期研修医の採用、研修内容のサポートにも従事しております。2019年度からは、関西学院大学大学院と連携し、未来の病院経営を担ってもらう医師の育成にも力を入れています。

また、医師の働き方を実践し、医師にとって働きやすい環境を目指しています。

1. スタッフ

■職員総数：12名

■内訳：採用スタッフ9名

業務クランク3名

2. 目標

- ・医療現場に過不足のない医師数の確保に努める。
- ・入職後の医師に関して、現場の院長と相談しながら、医局秘書と共に主体的に医師の管理に当たる。
- ・院長と相談しながら、医局秘書及び医師対策部が当直医師の手配をする。

3. 業務内容

- ・効率的採用（一次情報・三次情報（リファラルリクルーティング））
- ・外来診察表の作成協力
- ・生産性と給与のバランスチェック
- ・医師評価の導入
- ・病院と医師との契約
- ・経営専門医の採用・育成

4. 成果と実績

採用実績

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師	新卒	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	既卒	7	1	0	0	1	2	2	0	1	0	1	15

5. 今後の抱負

医誠会国際総合病院開院（2023年10月予定）に向け、医師採用を強化するとともに大学医局と連携し、診療システムの構築に携わってまいります。

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

大阪大学・関西医科大学・兵庫医科大学より医学生の臨床実習を毎年数名受け入れております。

教育認定施設の新規認定・認定更新を行っています。

毎月行われている「公開医学講座」において、専門診療科医師による講座を定期的にサポートしています。

「公開医学講座」同様に、医師会をはじめとするセミナーや勉強会の医師も後方支援しております。

看護師対策部

看護師対策部は法人方針のもと、各施設に看護職の適切な確保と配置に携わっています。応募される方の就業相談、募集から面接設定、面接後のマッチングや入職までのご連絡、多種多様なご相談に対応します。また、ご入職後のフォローを看護管理者と共に実施し、「働き方を変えたい・キャリアアップをしたい！」など様々な場面でブリッジパーソンの役割を果たしています。

1. スタッフ

- 看護師 1名
- 所属長 1名
- 採用担当者 7名
- クラーク 1名

2. 目標

医療現場に過不足のない看護師数の確保、適正配置

3. 業務内容

- ①新病院のアピール発信
- ②環境整備力の発信
- ③効率的採用（一次・三次情報の活用）各種ホームページ・SNSへ情報提供、就職フェア参加
- ④新卒看護師の採用（学校訪問、病院説明会参加、パンフレット作成）
- ⑤離職防止対策（フォローアップ面談等）
- ⑥グループ内の円滑な異動
- ⑦実習受け入れ支援

4. 成果と実績

採用実績

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
看護師	新卒	9	22	7	9	14	16	4	10	9	2	3	7	112
	既卒	32	11	48	17	15	12	27	18	22	14	15	8	239

5. 今後の抱負

医誠会国際総合病院開院に向け増員、看護師採用を強化するとともに医誠会キャリアプランの立案と運用

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

公開医学講座、看護大学・看護協会への講師派遣、看護学生の実習受け入れ

ケアスタッフ対策部

ホロニクスグループのすべての病院・施設・事業所の「介護職員（ケアスタッフ）採用」を専属で担当する部門です。ご応募から入職、また入職後の資格取得のアドバイスからキャリアチェンジに至るまで、一連のフォローを行っています。

1. スタッフ

- 採用担当 6名体制
- クラーク 2名
- 事務 1名

2. 目標

医療・介護現場に過不足のないケアスタッフ数の確保、定数配置

3. 業務内容

- ①医療・介護現場に過不足の無いケアスタッフ数の確保
- ②一次・三次情報による効率的採用
- ③外国人ケアスタッフの採用
- ④ケアスタッフ定着
- ⑤ケアスタッフ管理（医療・介護安全）
- ⑥グループ内での包括的キャリア支援

4. 成果と実績

採用実績

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
ケアスタッフ	全体	42	22	23	15	20	19	34	22	28	21	17	19	280
	内、外国人	17	1	6	4	11	6	17	10	12	6	8	5	103

【体制】

標準化教育は看護介護統括管理部へ移管し、体制強化を図ったことによりケアスタッフ対策部は、人員の適正配置に専念。

【採用】

病院ケアスタッフは、外国人採用を主流とすることで定着率改善を図った。
フォローアップ面談実施により、問題の早期発見による離職防止、職員紹介キャンペーンの直接告知で応募数増加。

【キャリア支援】

資格取得支援制度の見直しとして、これまで対象外であった初任者研修も支援制度の対象とした。
支援制度申し込み数は初任者3名、実務者10名、介護福祉士2名。
介護福祉士国家試験合格者は合計17名。

5. 今後の抱負

外国人ケアスタッフの積極的採用とリーダー育成
有資格者の採用と資格取得支援

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

介護福祉士見込み専門学生の実習受入れ

コ・メディカル／一般職・総合職対策部

コ・メディカル対策部は、薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・リハビリ・管理栄養士・臨床工学技士の採用、一般職総合職対策部は、医師、看護師、介護職員、コ・メディカル以外の全ての採用部署です。新卒、既卒採用を行っています。

1. スタッフ

■担当

- ・薬剤師 1.5名 (0.5は兼務)
- ・診療放射線技師 1名
- ・臨床検査技師 1名
- ・リハビリ 1名
- ・管理栄養士 1名
- ・臨床工学技士 1名はコ・メディカル統括と共同で採用に当たっています。

■一般職 / 総合職対策部 3名 業務クラーク2名

■部長1名、課長1名、係長1名、主任1名、一般職7名、クラーク2名の構成。

2. 目標

- ・定数配置（過不足なく必要な人数を配置する）
- ・職場環境改善（職員との面談を実施、早期問題解決を図る）

3. 業務内容

1. 求人手配
 - ・求人媒体作成（ハローワーク、WEB等）
 - ・採用サイトの更新
2. 新卒求人手配
 - ・学校訪問
 - ・求人票送付
3. 紹介会社との折衝
 - ・紹介会社との契約手続き
 - ・紹介手数料の交渉
4. 応募者対応
 - ・応募受付
 - ・面接
 - ・採用までのフォロー
5. 入職後対応
 - ・入職後のフォロー
 - ・異動、昇進、昇格面談
 - ・待遇の検討

4. 成果と実績

2021年度 面接総数 1,331名
採用職種 48種
新卒採用数 155名

採用実績

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
コ・メディカル 既卒・新卒 計	175	16	11	8	8	8	5	5	5	13	10	12	276

(2021年度)

(名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般職 総合職 既卒・新卒 計	32	12	14	9	9	9	18	10	11	18	8	11	161

5. 今後の抱負

1. 定数配置

各部門と定数を随時見直し、適正な人数を配置する

2. 情報発信の強化

人材紹介会社からの情報提供に依存することなく、ホームページやWEB求人媒体などを有効活用して、採用費用を削減する
求職者へのアピール材料としてYouTubeの動画を作成する

3. 新卒採用の強化

コ・メディカルに限らず、医療事務などの一般職・総合職でも新卒採用を強化する

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

新卒採用で本部、学校にて就職説明会開催

医療営業広報部

〔医療営業部〕

医誠会病院 医療営業部では病院、診療所、施設、企業等へ医誠会病院の体制案内（各診療科・診療体制・予防医療等）を行い集客集患に努めております。ただ案内だけではなく、より強く病病連携・病診連携が構築できるようなパイプ作り、各診療科の医師との同行営業や症例検討会等の運営実施も行っております。

各診療所との登録医契約や施設との協力医療機関の協力医契約に関しても、医療営業部で執り行っております。

予防医療では各企業との契約や入札も執り行っております。

〔医療広報部〕

オンライン公開医学講座の開催を通じて、市民の皆さんの健康を支え医療啓発を進めるとともに、医誠会病院の提供する医療サービスを広く紹介します。医療法および医療広告ガイドラインを遵守した広報活動を展開することで、病院経営への貢献を目指しています。

1. スタッフ

〔医療営業部〕

■全体人数 常勤：13名

■保健営業 7名

■予防医療営業 3名

■かんたき営業 3名（内兼任1名）

■常務取締役 野口 正吾

■係長心得 大山 貴司

■係長心得 湯川 雅之

■主任心得 松永 宗二郎

■主任心得 高瀬 哲也

〔医療広報部〕

■全体人数 常勤：9名

■オンライン公開医学講座担当 2名

■動画制作 4名

■企画調整 2名

■業務クレーク 1名

■次長 川崎 三紀

■主任 岡 秀樹

2. 目標

〔医療営業部〕

- ・新規入院患者数 900名/月以上
- ・全麻手術件数 200件/月以上
- ・外来患者件数 予定枠/日以上
- ・化学療法レジメン数 40件/月以上
- ・悪性腫瘍手術件数 400件/年以上
- ・施設間搬送月間搬送件数 230件/月
- ・施設間搬送新規入院数 200件/月
- ・ドック 15名/日、健診 30名/日
- ・透析患者数 1,000名以上
- ・看護小規模多機能型居宅介護（かんたき）各施設定員 29名

〔医療広報部〕

- ・医誠会病院の医療サービスの紹介、市民啓発とブランドイメージの向上

3. 業務内容

〔医療営業部〕

- ・各医療機関、診療所、施設、企業への各診療科、救急、施設間搬送、予防医療等案内
- ・新規営業及び既存顧客に対するフォローアップ
- ・紹介元確認、救急受入状況確認及び報告業務
- ・手術件数、新規紹介患者件数確認及び報告業務
- ・新規入院患者経路別報告（外来入院、紹介入院、救急入院、施設間搬送）
- ・症例検討会運営業務
- ・診療所との登録医手続き
- ・施設との協力医療機関契約手続き
- ・予防医療（ドック・健診・出張健診）での契約手続き及び入札業務

〔医療広報部〕

- 1 医誠会病院の営業広報活動
- 2 広報誌「ISEIKAI Medical Network」を通して病診・病病・施設連携の強化
- 3 医誠会病院ホームページの充実
- 4 オンライン公開医学講座を通じての医療啓発活動
- 5 ホロニクスグループ全体の広報活動
- 6 ホロニクスグループ関連の動画制作
- 7 ホロニクスグループ学術集会の運営
- 8 ホロニクスグループ年次大会の運営
- 9 市民公開講座健康フォーラムの企画・運営

4. 成果と実績

〔医療営業部〕

医誠会病院の強みである救急に関して、2020年度の集計であるが全国のDPC病院で救急搬送件数全国7位となった。日頃より救急隊・病院・施設への営業と現場、各関係部署の協力があってこそこの成果と考える。

また、ドック、健診、出張健診それぞれで2020年度実績を上回り、2020年に導入した胃部内視鏡検診車が2021年は協会けんぽの集団健診で実施するなど年間を通しての稼働となった。

〔医療広報部〕

- ・2021年度 オンライン公開医学講座
- ・実施回数 53回 ・参加人数 延べ4,731名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数(回)	5	5	4	5	5	4	5	4	4	4	4	4	53
参加人数(名)	430	438	410	479	485	379	391	261	344	392	358	364	4,731

5. 今後の抱負

〔医療営業部〕

いよいよ約 1 年後に新病院開設となり、医療営業としても非常に重要な役割を担うこととなります。充床率はもちろん施設間搬送のエリア拡大、新たな診療科開設に伴う集客・集患、手術症例（悪性腫瘍含む）の件数増、病病・病診連携の強化、インバウンドの取り込み等多くの課題と目標があります。

今後は、営業部だけではなくこれまで以上に他部署との連携・協働作業をすすめ、目標達成に向けて邁進して参ります。

〔医療広報部〕

2020 年 7 月よりコロナ禍に配慮し、Z o o m を活用した『オンライン公開医学講座』を再開いたしました。オンラインでの実施により、これまで参加頂けなかった方々にもご覧頂けるようになり、地域や施設を越えてより広い対象により質の高い『オンライン公開医学講座』の展開を目指し、医誠会病院のイメージアップならびに医療に関する知識の啓発を図ります。

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

4. 成果と実績を参照

企画デザイン室

企画デザイン室は、ウェブデザイン技能検定2級の資格を持つ職員が3名在籍し、パンフレットやホームページなど視覚に訴えるツールを充実させるデザイン専門の部署として業務に取り組んでいます。

1. スタッフ

■全体人数：6人（常勤3名、非常勤3名）

■係長 鈴木 稚英

■主任 為川 郷

■経営企画デザイナー 濱野 郁子

2. 目標

- ・病院イメージの向上に貢献する
- ・目的に合わせ分かりやすく伝える

3. 業務内容

- ・医誠会病院ホームページの作成・更新
- ・印刷物など、外部に向けたデザイン制作
- ・病院内部向け各種媒体作成・更新

4. 成果と実績

- ・医誠会病院ホームページ毎週更新
- ・病院パンフレット・掲示物等作成・更新 2341点

【ホームページの一例】



医誠会病院ホームページ



ホロニクスグループホームページ



第21回健康フォーラム
特設サイト



ホロニクスグループ採用サイト

【パンフレット・掲示物等の一例】



看護師募集案内



リハビリテーション部
職員採用案内



体制図



患者向け資料



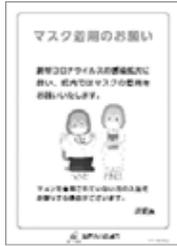
消化器センターだより



問診票



新型コロナウイルス関連掲示物



啓発ポスター



院内案内



無料公開医学講座

5. 今後の抱負

ホームページやパンフレット等を有効に活用していくために、病院内外への情報発信を担う医療広報部、医療営業部との連携を強化し、広報や営業の目的に合わせた制作を目指します。

特定疾患分野対策室

法人内グループ全施設と連携し、感染対策・嚥下障害・褥瘡・認知症ケアの質の向上を図る

1. スタッフ

■感染管理認定看護師	飯田 賢人（専門課長）
■摂食嚥下障害看護認定看護師	永瀨 郁代（専門課長）
■皮膚・排泄ケア認定看護師	香川 愛（専門課長）
■認知症看護認定看護師	松田 光央（専門課長）
■歯科衛生士	崎田 三智枝
■管理栄養士	橋口 知佳
■言語聴覚士	下村 真央吏

2. 目標

専従の専門職タスクフォースで連携し、グループ全体の医療の質を向上させ、安全で質の高い医療を提供する

3. 業務内容

【感染対策分野】

入院中の患者さんが感染症に罹った場合は、本来の入院目的である治療を中断または延期し、感染症の治療を優先しなければなりません。その結果、入院期間が延長し、治療費の負担が増える上に、社会復帰の遅れにつながるようになります。

このような事態を避け、グループ全体で安全な医療を提供するために活動しています。

<通常時>

- ・ホロニクスグループ職員への感染対策の啓発
- ・標準予防策と感染経路別予防策の徹底
- ・各病院・施設への感染対策の提案や相談

<感染症発生時>

- ・各病院・施設へのラウンドやミーティングの開催
- ・感染拡大防止の対処方針の決定
- ・感染拡大防止に関する指導や管理

【摂食嚥下対策分野】

超高齢社会の今、加齢による嚥下障害、誤嚥性肺炎となり死亡される方が増加しています。ホロニクスグループ内のすべての施設の摂食嚥下障害患者 / 利用者、または誤嚥リスクのある患者 / 利用者に対して、誤嚥性肺炎発症予防のためのケアの質の向上を図ることを目的としています。

摂食嚥下障害看護認定看護師、歯科衛生士、言語聴覚士、管理栄養士のチームでホロニクスグループ内施設の嚥下、栄養、口腔ケアに関係する委員会と連携し活動しています。

<活動内容>

- ・施設ラウンドのコーディネート、ラウンド実施
- ・関連職種に対して、摂食嚥下リハビリテーション方法、誤嚥性肺炎予防、口腔ケア方法についての指導
- ・各施設の担当者との連携、研修会の開催
- ・看護師・ケアスタッフに対して、口腔ケア、食事援助スキルの標準化

【褥瘡対策分野】

超高齢化社会が進む中、病院・事業所にとって「褥瘡予防」は不可欠なケアとなっています。特に、高齢者は加齢に伴う皮膚の菲薄化や筋肉の弾力低下、身体機能の低下により、より褥瘡発生のリスクが高くなります。また、褥瘡を発生してしまうと「治りにくい傷」となってしまいうことが多く、長期にわたり生活の質（QOL）を下げる要因となります。

褥瘡対策分野では「褥瘡発生ゼロ」を目標に、各施設に設置されている多職種で構成された褥瘡ケアチームと協同し、それぞれの専門性を生かしながら、積極的な予防・迅速な治癒が出来るよう活動しています。

<褥瘡対策分野の活動>

- ・グループ内での、多面的視点による褥瘡治療・ケアの提案
- ・褥瘡ケアチームによる全施設の入院患者・利用者の褥瘡発生リスクに応じた、適切な予防的ケア・治療のサポート
- ・褥瘡ケアに関する質の向上に向けた研修会の実施
- ・各病院・施設への褥瘡予防ケアの提案・相談
- ・創傷・ストーマ・失禁に関するケア全般の提案・相談

【認知症対策分野】

認知症の患者さんは自身の病気や治療について理解することが難しく、身体の病気に対する適切な治療ができずに重症化するおそれがあります。

また、認知症が進行したり、身体活動性が低下して寝たきりになりやすく、身体の病気が治っても元の生活に戻れなくなる場合もあります。

認知症対策は、認知症を持つ患者さんが、適切な治療を受けることができ、混乱を起こすことなくできる限り快適な入院 / 入所生活を送り、住み慣れた地域での生活に戻っていただくことを目的として活動しています。

<医誠会グループ内での、外来・入院患者 / 利用者の認知症支援>

- ・認知症の患者・利用者に対して、よりよい医療や療養生活が送れるようサポート
- ・各病院・施設への認知症ケアの提案・相談
- ・回診とカンファレンスの実施
- ・グループ全体のレベルアップを目指したスタッフ向け研修会開催
- ・認知症者とのコミュニケーションスキルの業務の標準化

4. 成果と実績

【感染対策分野】

- ・ラウンド年間 12 回
- ・感染対策ミーティング年間 4 回
- ・その他感染対策のコンサルテーション対応

【摂食嚥下対策分野】

- ・施設ケアラウンド月 2 回実施
- ・口腔ケア・食事援助への標準化のための指導
- ・ケア難渋ケースに対する対応、指導
- ・摂食嚥下対策ミーティング年間 4 回

【褥瘡対策分野】

- ・2021 年度院内褥瘡推定発生率 2.61%
- ・2021 年度褥瘡有病率 10.75%
- ・毎月曜日 法人内 WOC ミーティング開催
- ・褥瘡対策ミーティング年間 4 回

【認知症対策分野】

- ・医誠会病院：新入職員・既卒者研修 テーマ『認知症者とのコミュニケーション』（計 8 回 / 年）実施
- ・認知症対策目的訪問回数：44 回 ケース相談対応：314 件
- ・医誠会病院 2021 年度身体的拘束割合：33.9% 前年比 -2.5 ポイント（2020 年度平均身体的拘束割合 36.4%）
- ・参考値：全国平均（身体拘束率）44.8%
- ・認知症対策ミーティング年間 4 回

5. 今後の抱負

医誠会病院を頼りにお越しいただく患者さんにとって、安全・安心の医療が提供されるよう、療養環境や職員の知識・技術を含め総合的な患者ケアの水準向上を目指します。
グループ内施設にとどまらず、提携施設、近隣地域への情報提供や指導を実践します。

6. 社会貢献（公開医学講座・研修受入等）

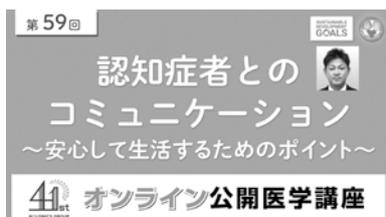
■『無料公開医学講座 Live 配信後 YouTube 動画配信』

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
5/13	木	今日からできる床ずれ予防 ～自宅療養に必要な床ずれ予防の基礎知識～ 後半：床ずれ予防エキスパートの「皮膚・排泄ケア認定看護師」 3名による座談会	本部 特定疾患分野対策室 専門課長 皮膚・排泄ケア認定看護師 香川 愛	53



https://youtu.be/oP_ji3D34XY

日付	曜日	テーマ	講師名	参加人数
8/19	木	認知症者とのコミュニケーション ～安心して生活するためのポイント～	本部 特定疾患 分野対策室 専門課長 認知症看護認定看護師 松田 光央	98



<https://youtu.be/YKtEsZnLYVc>

7. その他

①国内学会発表

<香川 愛>

- 第23回日本褥瘡学会学術集会 2021年9月10日（金）～11日（土）
- ・テーマ：褥瘡を学ぶ新しいかたち 仮想空間のふれあいが未来をひらく
- ・医誠会病院：難治性褥瘡に対する多血小板血漿処置の創部治癒効果の検討

16 バックオフィス〔事業サポート〕

〔総務管理部門〕 総務部 総務課／福利厚生・健康経営推進室

総務部は会社・組織全体の業務についてグループ一元管理を行っている部署です。総務部では大きく2つの部署を設けています。一つは専門総務としての総務課、もう一つは健康経営の推進、職員の福利厚生を受け持つ福利厚生・健康経営推進室です。総務課、福利厚生・健康経営推進室ともに他部署・他職種共同作業を推進するうえでのまとめ役となります。

1. スタッフ

■全体人数	11名
■総務課	10名
■福利厚生・健康経営推進室	1名

2. 目標

【総務課】

- ・安否確認システムを利用した職員健康報告及び手指消毒使用状況報告全施設 100%
- ・ホロニクスグループの年次大会及び学術集会の開催
- ・職員が保有する携帯についてスマホ保有 100% 達成

【福利厚生・健康経営推進室】

- ・グループ3法人、3年連続健康経営優良法人・ホワイト500認定
- ・ホロニクスグループ全職員の喫煙率ゼロ% 達成
- ・生活習慣病のオンライン再診受診支援システムの確立
- ・グループ職員の肥満の根絶（めざせ25！）

3. 業務内容

【総務課】

- ・各種行事（年中行事）運営
- ・登記管理
- ・会議（数）管理
- ・治験費、実習費等の管理
- ・文書管理
- ・図書管理
- ・ポータルサイト運用管理
- ・稟議書 / 捺印申請 / 支払依頼受付管理
- ・知的財産権の登録、管理
- ・社宅使用管理
- ・保育所運用管理
- ・慶弔業務に係る事務

- ・各施設の掲示物管理
- ・安否確認システムを利用した各種報告
- ・ホロニクスキャンパス（英会話教室）の運営
- ・風紀管理
- ・各種備品管理
- ・避難訓練の計画・実施管理
- ・長期保存書類の入出庫管理

【福利厚生・健康経営推進室】

- ・グループ互助会事務局
- ・ストレスチェック実施（産業保健・健康管理事業部との連携）
- ・健康経営優良法人取得申請手続き
- ・めざせ25！（肥満の根絶）面談指導／運動指導
- ・フォーシーズンズ・ウォーキングの運営
- ・キッチン・スタジオ（調理教室）の運営
- ・オンライン再診予約手続き

4. 成果と実績

【総務課】

- ・安否確認システムを利用した職員健康報告及び手指消毒使用状況報告について
- ・回答率90%後半を維持、職員の健康意識向上に貢献
- ・ホロニクスグループの年次大会を2021年7月3日(土)に、学術集会を2022年2月13日(日)に開催
- ・学術集会は昨年に続きコロナウィルス感染拡大の影響によりオンライン形式のライブ開催、後日ネット配信のハイブリッド方式で開催を実現
- ・スマホ保有100%を達成

【福利厚生・健康経営推進室】

- ・グループ3法人、3年連続健康経営優良法人・ホワイト500認定
- ・ホロニクスヘルスケア・インテリジェントヘルスケアに続き医誠会も喫煙者0名を達成
- ・ストレスチェック実施率、100%達成を継続
- ・互助会によるコロナウィルス関連支援を継続
- ・産業保健・健康管理事業部と連携し、生活習慣病のオンライン再診受診支援を継続

5. 今後の抱負

グループ組織を一元管理し、他部署連携事案を纏めます。また、コロナウィルスへの対応を含め、職員及びその家族の健康の保持・増進を進めます。

〔総務管理部門〕 外交安全部 外交課

外交安全部 外交課では、学会参加、講師派遣・依頼、実習生の受入、ボランティア活動・受入、外部顧問管理、MR、業者の管理など、ステークホルダー等外部機関との適正な関係性の構築を目指しています。

1. スタッフ

■常勤 2名

2. 目標

利益相反の禁止、組織の利益の最大化

3. 業務内容

- ・ 研修参加・学会参加申請の内容確認
- ・ 外部機関からの講師派遣、執筆、取材の依頼に関して内容の確認
- ・ 各種養成校からの実習受入に関する調整
- ・ 研修会開催提案に関する確認
- ・ 外部講師招聘の講演内容、講師プロフィール、費用の確認
- ・ ボランティア活動受入についての確認
- ・ 治験・薬剤治療調査・研究協力について概要確認、関係部門へ振分け
- ・ ステークホルダー等外部団体との適切な関係の構築
- ・ 取引先企業へグループ主催行事・イベントのお知らせ
- ・ 取引先、アウトサイドからの案内対応
- ・ ステークホルダーに対し、「ホロニクスグループ オプションメニュー」の紹介
- ・ 寄付・寄贈の受付
- ・ 外部顧問契約、外部団体の加入状況把握

4. 成果と実績

2021年度 ●研修（学会）参加及び、院外派遣依頼・取材

区分	件数	人数
学会・研修参加（発表）	71件	69人
学会・研修参加	302件	374人
職員派遣	56件	49人
取材	9件	8人
執筆	2件	2人
各種会合参加	6件	6人
計	446件	508人

2021年度 ●実習受入 210件 承認

5. 今後の抱負

医誠会病院、城東中央病院の合体を見据えて、ステークホルダー等外部機関との関係性を可視化。

外交安全部 外部評価対策室では病院機能評価や ISO9001 の審査に関わる文書管理や内部監査の統括をしております。毎年実施している内部監査では、医療の質を担保できるような監査を実施する為に、監査員研修を実施し、質の向上に努めています。

1. スタッフ

(本部職員)

■常勤 1名 (品質マネジメントシステム審査員補)

■主任 馬場 聡

2. 目標

ISO9001 認証基準に沿って院内業務の流れを点検評価し、医療の質の改善を推進する。

3. 業務内容

- ・ マニュアルや規定などの文書を管理し、最新版保管
- ・ 第三者評価受審時の事務局業務
- ・ 審査前の職場巡視、整備の指導

4. 成果と実績

ISO9001 の認証維持

- ・ 品質マネジメントシステム第 2 回定期維持審査の結果、ISO9001 認証が更新された。

【審査日程】 2021 年 10 月 13 日～ 15 日 【審査員 2 名× 3.0 日間】

【検出課題】 不適合なし、軽微な不適合 2 件、観察事項 19 件

5. 今後の抱負

インシデント・アクシデント発生抑制のために、また円滑な業務が実施できるように業務の標準化を推進する。

接遇サービス推進室は、ホロニクスグループ全体の接遇向上を目標に、接遇管理と教育指導を2大柱として活動を行っています。

昨年度より、働きやすい職場環境の実現に向けて、グループ内のアサーション浸透にも取り組んでいます。ANA ホールディングスからの出向者迎え入れも2年目となり、異業種から見た医療業界の接遇に関して問題提起、改善提案をしていただいています。

1. スタッフ

- 常勤 1名
- 出向者 1名

2. 目標

(対職員)

- ・ベーシックスキルの習得
- ・身だしなみマニュアル遵守
- ・プロ意識の醸成
- ・寄り添う心を体現した接遇力の向上

(対職場)

- ・働きやすい職場環境の実現

3. 業務内容

1. グループ内施設ラウンド
2. ベーシックスキルチェック（職員指導）
【・仮面の着用 ・身じまい ・接遇 ・働きやすい職場環境】
3. 研修立案、実施、検証
4. 患者利用者満足度チェック
5. 接遇教育動画の作成
6. エクセレントスタッフ選考会の運営と実施

4. 成果と実績

■接遇管理

1. 接遇研修の実施
(対象者：新入職員、医誠会病院全看護師、医誠会病院コ・メディカル、城東中央病院全看護師)
2. 第1回エクセレントスタッフ選考会の開催

■教育・指導

1. 身だしなみラウンドを実施し違反者の指導
2. 現場に則したベーシックスキルチェック表、身だしなみマニュアル、身だしなみマニュアルの追加と改定
3. 職員情報共有サイトアンケートを使用した全施設における身だしなみチェックシステムの構築
4. 接遇教育動画 6 本作成
5. 学術集会にてアサーションを題材とした特別講演の実施
6. アサスクの発信 6 本
7. ひまわりプロジェクトの実施

5. 今後の抱負

- ・ホロニクスグループ独自の医療接遇の確立

法務部／コンプライアンス推進室

医誠会本部の法務部では、一般的な法律相談や契約書のチェックのみならず、医事紛争の対応や SNS への対応、未収金への債権回収に至るまで、法律に関する対応業務を幅広く取り扱っています。

また、コンプライアンス推進室では、職員が抱えている様々な業務上のトラブル、問題を解決するため、また、ハラスメント防止等による職場環境改善のため、法律の専門家である弁護士、医療メディエーターを中心に活動しています。

1. スタッフ

■常勤スタッフ 7名

■弁護士 3名 竹本 昌史（部長／室長）

福井 妃菜子（育休中）

藤田 朋香

■看護師・医療メディエーター 2名 弁野 由起子

須々木 礼子

■法務部員 1名 谷口 舞

■クラーク 1名 枝川 裕子

2. 目標

(1) 法務部

- ・様々な法的問題に対して解決に向けた迅速な対応を実施する。
- ・問題に対して、改善策を提案し、法的リスクの軽減につなげる。
- ・生じた問題を集約・体系化し、フィードバックを実施する。

(2) コンプライアンス推進室

- ・業務が円滑に進むよう各職員・各部門に対して改善を実施する。
- ・コンプライアンス意識を高め、不祥事案を予防する。
- ・職員からの訴えを大切にし、働きやすい職場環境の形成に努める。

3. 業務内容

(1) 法務部

- ・文書関連対応……………契約書審査・文書審査等
- ・法律相談対応……………部署・部門からの法律相談対応
- ・医療事故対応……………病院・施設の医療安全委員会等への参加・助言
- ・訴訟管理対応……………紛争案件への法的対応、訴訟事案の管理
- ・クレーム対応……………クレーマーへの対応
- ・未収金対応……………未収金回収に関する対応

(2) コンプライアンス推進室

- ・ハラスメント対応……………アンケートの実施・ヒアリング対応
- ・各種研修の実施……………コンプライアンス・医療安全・ハラスメント・虐待等
- ・コンプライアンスに関する情報発信…コンプライアンス通信・QAの作成等
- ・問題発見時の改善指導等の対応……………職員や部署に対する改善指摘
- ・危機管理対応……………職員の不祥事等への対応

4. 成果と実績

(1) 法務部

2021年度 (2020年度)

- ・法律相談件数： 129件 (127件)
 - ・契約書審査件数： 117件 (189件)
 - ・紛争関連対応件数： 28件 (18件)
 - ・未収金対応件数 書面对応： 46件 (21件)
- 訴訟対応：支払督促6件・訴訟5件(支払督促9件・訴訟9件)

(2) コンプライアンス推進室

- ・ハラスメントアンケート：7月にアンケート実施・10月に結果公表
- ・ハラスメントに関するヒアリング実施：約1,300名を対象にヒアリング
- ・職員研修：新入職員研修・医療安全研修(医誠会病院)

5. 今後の抱負

(1) 法務部

法律相談案件の対応のマニュアル化・システム化を図り、部門としての体制整備に努めていきたいと思えます。

また、今後リーガルテック(法×IT)が進むと思われるので、契約書管理システムの導入による管理強化を進めていきます。

(2) コンプライアンス推進室

職員からの信頼を得るためには、公平性の確保が必要です。各段階において、適切な説明や記録を実施し、適正手続(デュープロセス)の確保が図れるような体制づくりをしていきます。また、コンプライアンスに関連する情報発信の強化を図ります。

労務管理部

労務管理部は、職員の皆さんが入社される前から皆さんと関わり SmartHR による入職手続き、在籍中・退職されるまでの間に人事労務に関する様々な手続きの窓口となる部署です。身近なものと出退勤の状況の把握を勤怠システムによって把握し、超過勤務、遅刻、無断欠勤など不忠勤務の根絶への活動、入職された職員の働き方タイプに関する手続きとその情報の管理、労働の成果となる給与・賞与計算を正確に行うこと、雇用保険、社会保険・健康保険の資格取得、ライフイベントによる産前産後・育児休業手続き、その他就業規則に関わるすべての諸手続きを行っています。また、労務管理にて保有する様々なデータベースから経営に必要となる情報の提供を行っています。

1. スタッフ

■全体人数	常勤 19名
■管理職 2名	常勤 2名
■給与計算(全体)・教育管理 係長	堀 美雪 (医療経営士 3級)	
■データサイエンティスト管理責任者 係長	太田 善久 (医療経営士 3級)	
■社会保険・退職金担当 主任	關本 涼樹 (社会保険労務士)	
■群別労務管理担当	常勤 12名
■データサイエンティスト	常勤 3名
■クラーク	常勤 1名

2. 目標

1. 働き方改革の実現

超過勤務等(超勤・遅刻・早退・欠勤)の解消

2. 人材管理 ①タイプ別管理 ②職種別管理 ③施設別管理

3. バックオフィス部門(後方支援機能)としての体制強化とシステム化、ペーパーレス化

3. 業務内容 一般職～監督職(社内等級:L2以下) 業務アイコン

1  一般事務	2  入職	3  名札 (身分証明)	4  退職	5  問い合わせ 対応	6  書類処理	7  SmartHR 操作・説明	8  法定書類保管 (履歴書等)	9  遅刻・早退・ 無断欠勤	10  転籍異動 手続き	11  労働契約	12  退職者対応
13  通勤交通費	14  社保・雇保 手続き	15  勤怠・給与	16  職員情報 給与登録	17  職員情報 勤怠登録	18  賞与	19  市市民税	20  退職金・年金	21  年末調整	22  職員情報(施設別) データ保管	23  奨学金管理	

監督職以上に追加となる(社内等級:S1以上) 業務アイコン

1  兼業の管理	2  職員タイプ別 管理	3  労務職員情報提供 (関係先)	4  資金査定	5  労務管理
---	--	---	--	--

4. 成果と実績

1. 給与システムのグループ統一化

給与システムを全施設統一化することにより、これまで施設ごとに異なっていた給与計算運用についても統一化、業務の標準化を進めることができました。

昨年度導入した勤怠管理システム「勤次郎」との連携が可能となり、作業の効率化につながりました。

2. 解離時間の管理とペーパーレス化

勤次郎にて、就業時間と打刻時間の解離報告を行うことにより、自己研鑽と時間外の管理に取り組むことができました。

5. 今後の抱負

勤怠システム「勤次郎」の運用が今年で2年目となり勤怠管理システムと給与システムの連携も完了したことで従来よりも労務管理課の給与計算が自動化されスピードと精度が向上しました。

新たな取り組みとして医師の働き方改革をはじめ、グループ全職員の働き方改革を進め超過勤務の解消を勤怠データを分析して実現していきます。

また社会保険、各種申請手続きにおいても更に利便性を高めより分かりやすく使いやすくなるよう改善を行います。

労務管理部員は業務の標準化、業務の質の向上を目指しています。

バックオフィス部門のスタッフとして皆さんを可能な限りサポートし組織に貢献いたします。

購買事業部

購買事業部は、職員の皆さんが使用される医療機器、医療材料、日用品、電子機器等の調達を行っており、必要性、合理性、採算性等を鑑みて新規導入や品目削減を進めています。

1. スタッフ

■全体人数 9名（常勤 8名、パート 1名）

■管理職 2名

全体管理 統括部長 柏木 隆史（医療機器・医療材料・物品）
（兼務：リネンサプライ事業部、医療ガス事業部、在宅酸素事業部、病院コンビニ事業部、医療美容事業部、産業保健・健康管理事業部、健康運動事業部）
（資格：臨床検査技師、消化器内視鏡技師、緊急検査士、医療経営士3級）

課長 宮永 禎久（医療材料）

■医療機器担当 …………… 常勤 1名
…………… 業務クランク 1名

■医療材料担当 …………… 常勤 3名
…………… 業務クランク 1名

■コロナ対策物品仕分け配送担当 …………… パート 1名

■物品（事務・日用品）担当 …………… 業務クランク 1名

2. 目標

■医療機器

- ・グループ内医療機器適正配置
- ・徹底した価格低減交渉
- ・グループ内の効率的運用

■医療材料

- ・材料の統一によりコストの削減
- ・請求不可の材料については、使用制限
- ・病院主導型 SPD 開始
- ・年に 1 回価格交渉の実施

■医療機材・物品管理

- ・グループ内の機材リストの作成。統一規格。定数配置。適正在庫。

■物品購買

- ・統一規格、定数配置、在庫管理の実施
- ・物品の合理化

3. 業務内容

■医療機器

- ・業者との価格交渉と立会い
- ・機器の選定と発注業務
- ・医療器審議会を開催し、高額医療機器の購入選定
- ・グループ全体の機材リスト作成と管理及び適正配置
- ・グループ内機器の合理的運用

■医療材料

- ・業者との価格交渉
- ・材料の統一
- ・医療材料の選定と発注業務
- ・感染防護製品（医療材料）の管理と納品
- ・緊急納品対応

■物品購買

- ・事務日用品、備品の選定
- ・事務日用品、備品の発注
- ・統一規格、定数配置、在庫管理の実施

4. 成果と実績

■医療機器

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、クラスター対応機器調達と一元管理による有効活用を行いました。また、取引先の拡大を進め、価格低減及び仕入れルートを複数持つことによる非常時対応のリスクヘッジを行いました。

■医療材料

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療機器・材料ともに入荷が困難になり、在庫も逼迫しましたが、ホロニクスグループとして地道に入荷交渉を続け、2021年度にはまとまった数の備蓄をすることができました。

■物品購買

グループ内事務日用品の統一規格の作成、定数配置、在庫管理の実施。
成果：前年対比 - 15%

5. 今後の抱負

■医療機器

- ・新病院に向けて、機器の選定等の対応と合理的価格への交渉を行う。

■医療材料

- ・新病院に向けて、病院主導型 SPD の開始により内製化を進める。

6. その他

- ・2021年7月 年次大会「ホロニクスグループの挑戦」感染防護設備関連で発表

医療情報部

情報システム機器の保守管理と医療情報システムの効果的活用

1. スタッフ

常勤 5名

2. 目標

基幹系システム（電子カルテなど）の安定した運用管理
情報インフラ、情報プラットフォーム整備

3. 業務内容

- ①情報ネットワーク、プラットフォームの構築・整備
- ②電子カルテシステムの管理と適時更新および運用改善
- ③医療情報の抽出・分析
- ④コンプライアンスの遵守
- ⑤保守点検費用の低減、ランニングコストの低減

4. 成果と実績

AIによるレセプト精度診断システムの導入
院内処方箋の電子保存システムの導入

車両・駐車場事業部

安全運転・車両管理及び施設内での駐車場での安全な運営管理

1. スタッフ

■本部職員 4名
係長 前田 成之
主任 岡山 哲也
主任 貴志 寿奈
松浦 晃将

■送迎ドライバー
17名（医誠会病院）

■駐車場係員
6名（医誠会病院）

2. 目標

■車両管理

- ①グループ車両の無事故・無違反、車内事故 ゼロ
- ②グループ職員の交通法規の遵守
- ③グループ職員の安全運転の励行
- ④車両維持費の削減、定期点検・整備や省エネ運転の実施
- ⑤利用者の要望及び集約増を見据えた運行計画の策定

■駐車場管理

- ①駐車場管理規定の准所
- ②的確な車両誘導と安全管理
- ③顧客サービスやマナーの向上
- ④定期的な保守管理の実施

3. 業務内容

■車両管理

送迎業務、車両運行管理、車両維持管理、事故処理

■駐車場管理

車両入出管理、駐車場料金受領代行、駐車場保守メンテナンス

4. 今後の抱負

グループ車両の無事故・無違反、車内事故 ゼロを目指して利用者へ質の高いサービスを提供する

清掃事業部

衛生に配慮した安全で快適な環境設定

1. スタッフ

■清掃事業部

本部職員 定数常勤 3名
業務クラーク 常勤 1名
(本部職員) 次長 福島 太
牧 泰宏
(業務クラーク) 大南 千佳

■日常清掃スタッフ

病院群 定数 93名
老健群 定数 35名

■定期・特別清掃スタッフ

定数 4名

■手術サポートシステム

中央材料室業務 定数 9名 (医誠会病院)
手術室清掃業務 定数 9名 (医誠会病院)

■メッセージャー業務スタッフ

定数 8名 (医誠会病院)

2. 目標

- ①顧客満足度の向上
- ②科学的根拠に基づく感染防止
- ③業務マニュアルの習得による人材育成
- ④社内研修の実施
 - 各スタッフの接遇とマナー
 - 感染防止に基づく作業
- ⑤清掃業務の完全内製化
- ⑥手術器械洗浄・メンテナンスレベルの向上
- ⑦手術器械の汚れ・不良品の払出しゼロ
- ⑧迅速な術間清掃 (10 分間)
- ⑨清潔な快適環境の提供

3. 業務内容

①業務推進管理業務

日常清掃・定期清掃・スポット清掃・手術室サポートシステム・メッセンジャー業務

②清掃区域清浄度維持業務管理

③鼠族害虫防除業務管理

④廃棄物に関わる総合窓口業務

⑤日常清掃（常駐スタッフによる毎日清掃）

⑥宿直室等のベッドメイキング業務

⑦手術機械洗浄・滅菌業務

⑧手術用衛生消耗品等の補充業務

⑨物品作成業務

⑩手術室エリア内清掃業務

⑪検体の運搬

⑫不潔リネンの運搬

⑬薬剤の運搬

4. 成果と実績

グループ内では、病院群と老健群の日常清掃を行っているが、かんたき群の清掃フォロー（空調機フィルター清掃、清掃業務指導及び清掃資機材の選定）、クリニックでは害虫防除及び床面のメンテナンス、空調機フィルター清掃を行い、グループ全般の清掃管理とそのフォローを実施している。手術室及びメッセンジャーについては、看護業務軽減をきっかけにグループの目標へと向けた専属部隊を立ち上げた。

5. 今後の抱負

新病院に向けた手術室サポートシステムの AI 管理システムの確立、メッセンジャー業務も同様に運搬ロボット導入、合わせて清掃業務も同様に労働人材の高齢化及び減少化に対応した合理的な清掃システムの確率を進める。

危機管理対策室

患者を守り、法人を守り、そして何よりもあなたを守る。

1. スタッフ

常勤嘱託職員 3名

■部長 湯之上 利博

■部長補佐 長野 吉博

■課長 二川 和彦

2. 目標

フォー・プラス・ワンの『法人ルール』を徹底し、問題の早期解決を図ることで法人内における秩序の維持

3. 業務内容

クレーマー、各種トラブル、事件・事故・職員の不祥事案等の調査、監察業務を通じて、発生原因の分析と対策を提言することにより、職員が働きやすい職場環境の構築に寄与する業務を行っています。

4. 今後の抱負

- ①職員が自分の身は自分で守るという意識改革を図るための「身を守るための訓練（護身術）」
- ②職場での良好な関係を築くための適切な指導教養（感情のコントロール等ベースに）の実施
- ③私たちが持っているノウハウを何かしら提供でき、法人に貢献できればと考えています。

ファシリティマネジメント部門／施設設備事業部

ファシリティマネジメント部門は、ホロニクスグループが運営する不動産を経営にとって最適な状態（コスト最小・効果最大）で維持管理を行う事が使命です。施設管理員は建物・設備に対し、平時の保守管理から災害時の緊急対応まで、絶えず安全で良質な医療・介護福祉サービスが提供できるよう取り組んでいます。

1. スタッフ

全体人数：32人

施設管理員：7名

■課長 濱田 英明

■主任 中井 隆浩

白井 真人

白木 健一

岩口 義忠

岡本 順二

鍛冶谷 史博

資格： 1級建築士 1名
2級建築士 2名
宅地建物取引士 1名
第3種電気主任技術者 2名
電気工事士（第一種4名）・（第二種12名）
第1種内管工事士・活管 1名
冷凍機械責任者（第一種1名）・（第二種4名）
給水装置工事主任技術者 1名
1級建築施工管理技士 1名
1級電気施工管理技士 1名
2級管工事施工管理技士 2名
建築物環境衛生管理技術者 4名
2級ビル設備管理技能士 1名
特殊建築物等調査資格者 1名
第1種衛生管理者 1名
エネルギー管理員 2名
ボイラー技士（1級3名）・（2級5名）
消防設備点検資格者（第1種1名）・（第2種1名）
消防設備士（甲種特・1～5類8名）（乙種6～7類4名）
防火対象物点検資格者 1名
危険物取扱者（乙種2～4類11名）（丙類1名）
液化石油ガス設備士 1名
特定高圧ガス取扱主任者 1名
特定化学物質等作業主任者 1名
毒物劇物取扱者 1名

2. 目標

- (1) 住環境および作業環境の保全、安全ならびに衛生状態の保持
- (2) 設備の性能および各部位の機能を保持し、長期にわたる使用を図る
- (3) 事故、欠陥等の発生の予知、危険、災害の未然防止
- (4) 省資源、省エネルギーの達成
- (5) 有形財産としての経済価値の存続

3. 業務内容

施設管理は建物や設備の性能を適切な状態に維持するよう、病院施設に常駐し管理をしています。

電気設備、空調設備、給排水設備、衛生設備、消防設備等、多種多様な設備を安全に、正常に稼働させるため、細心の注意を払いながら点検し、快適な環境で維持いたします。また、保守点検にとどまらず、水道光熱費の削減活動や、老朽化に伴う大規模な修繕計画立案等にも取り組んでいます。

- ・ 建築物、各種設備の維持、保安全管理、法定点検実施、是正方法の検討
- ・ 施設大規模改修の計画や改造、改修工事の施工管理
- ・ 事故、欠陥等の発生予知、危険、災害の未然防止
- ・ 施設備品等の維持、修繕、管理業務や環境整備業務
- ・ その他、施設管理に関する指示業務
- ・ 補助金・助成金を活用した設備更新計画、実行
- ・ 環境問題への取り組み（CO₂削減・省エネルギー）

4. 成果と実績

1. 保全業務の計画的な実施に伴う実態把握

- (1) 手術室の空調環境の改善と維持
 - ・ 熱源機器の運転コントロール
 - ・ 環境測定業務検針巡回強化
 - ・ 清浄度維持管理
- (2) 経年機器の機能保全維持
 - ・ 空調室内機の薬品洗浄実施により冷房能力向上（省エネ化）
 - ・ 耐用年数超過機器への予防保全（改修・修理）実施

2. 院内の感染予防対策

- (1) ゾーニング
 - ・ 感染対策室指導の下、ビニールシートで仕切り設置
 - ・ 各ユニットへ陰圧テント設置（救急外来×1）（ICU×2）（HCU×3）（5A病棟個室×1）
- (2) 新型コロナ対応環境整備保守
 - ・ トリアージテント維持管理
 - ・ PCR検査室の維持管理および環境改善
 - ・ 3A病棟サテライト4床の維持管理
- (3) 入館管理規制に伴う通行規制場所の整備

5. 今後の抱負

- ・ 新病院移転を見据えた適切なコスト管理
- ・ 事故、トラブルに対する早期対応、早期解決
- ・ 業務の標準化・合理化の促進
- ・ 作業効率と所員のスキル向上

17 会議・委員会活動状況

経営執行部会議

1. 委員

■委員長	松本 勝美（病院長）		
■副院長	森田 龍平	■本部 取締役	野口 正吾
■脊椎脊髄センター センター長	佐々木 学	■本部 運営部長	押部 俊之
■副医局長	福知 工	■医師対策部部长	杉崎 禎男
■臨床顧問	峰松 一夫	■診療報酬請求事務課課長	梶谷 瑞恵

2. 目的

当院における経営の向上の為、重要事項を審議し、最適な企画を立案することを目的とする。

3. 役割

当院の最高決議機関であって、データに基づき経営方針、戦略を決定する。経営・運営の責任を担う。

4. 2021年度の活動実績・成果

毎月、第三月曜に、ミーティングを行い、城東中央病院との統合に向けた動き、救急受け入れ、地域からの患者数の受け入れを増やす、などの問題について話し合った。診療報酬の査定についても取り組み、減点を減らした。

昼会〔業務改善会議〕

1. 委員

■委員長	松本 勝美（病院長）		
■副院長	森田 龍平	■医療営業部主任	松永 宗二郎
■看護部長	田原 晴実	■未収金担当	淵脇 順一
■診療放射線部主任	石原 慎吾	■入退院センター主任	田村 妙子
■診療報酬請求事務課課長	梶谷 瑞恵	■医療クラーク課長	岡崎 真理恵
■情報システム部係長	藪野 健一郎	■顧客データ管理課課長	畑山 亜寿香
■地域医療連携室課長	澤田 貴江	■本部 常務取締役	野口 正吾
■地域医療連携室課長	前川 喜久江	■本部 医師対策部長	杉崎 禎男
■医療営業部係長	大山 貴司	■本部 医療情報部次長	船津 大

2. 目的

地域、救急からの受け入れの状況、転院状況を管理し、問題が生じた場合に早急に対応することを目的とする。また本部の管理者との連携をとり、法人として方針の確認や、病院内で起こる種々の問題を本部に持ち帰り迅速に対応する。

毎週、金曜日 13時から 14時 15分までの開催とする。コロナ感染対策とベッド運用について話し合う。

3. 役割

救急断りゼロ、地域断りゼロをめざし、かつ長期入院を減らすためには日々生じる問題についてリアルタイムに解決することが必須である。また院内では解決できない事象については、本部と話し合い解決を図る。医師の問題、営業の問題など本部も含め情報共有する。

4. 2021年度の活動実績・成果

断り無き救急受け入れ、地域受け入れを実践するために日々ケースバイケースで症例をチェックし対策を練った。救急の断りの内容で重複によるもの、専科受け入れ不可の事例が多く、今後さらに解消をはかる必要がある。放射線のチェックは癌の見落としなどの減少に繋がった。

地域医療	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
断り総件数	50	10	15	41	25	24	19	28	15	12	17	24
断り比率	5.90%	1.30%	1.60%	4.50%	3.20%	3.00%	2.30%	3.40%	1.80%	1.50%	2.10%	3.10%

臨床研修管理委員会

1. 委員

■委員長	福知 工（消化器内科 / 内視鏡センター センター長 兼 主任部長）
■病院長	松本 勝美
■臨床顧問	峰松 一夫
■副院長	森田 龍平
■心臓血管センターセンター長	外山 康之
■整形外科医長	猿山 雅博
■糖尿病内科部長	増田 浩史
■形成・美容外科医長	岡田 愛弓
■呼吸器内科部長	毛利 圭二
■病理診断科部長	土田 泰昭
■麻酔科部長	田中 暢
■消化器外科医長	森 至弘
■消化器内科副部長	杉山 浩平
■看護部長	田原 晴実
■医療安全管理室師長	田村 一子
■看護部専門師長	東 麻奈美
■臨床検査部統括次長	田島 直人
■診療報酬請求事務課	西川 侑希
■臨床研修管理室（本部 医師対策部）主任	黒田 舞子
■臨床研修管理室（本部 医師対策部）	埴村 絵里
■初期臨床研修医	
■外部委員（元大阪大学工学部 準教授）	藤田 尚徳
■外部委員（赤井クリニック 院長）	赤井 啓二
■外部委員（西田医院 院長）	西田 佳史
■外部委員（関西医科大学卒後臨床研修センター長）	金子 一成
■臨床研修プログラム（責任者）病院長	松本 勝美

2. 目的

- 卒後臨床研修が適切な指導体制の下で効果的に実施されるよう体制を整備し、研修効果を評価する。
- 研修医 1 人 1 人の希望と個性を重んじ、臨床医としての基礎的な診療力を習得し、高い志を備えた専門職業人としての基礎を築くために最善の研修環境を提供する。

3. 役割

- (1) 研修方針の決定、プログラムの作成および指導体制の整備
- (2) 研修医の募集、処遇、採用等
- (3) 各研修医の研修スケジュール管理
- (4) 研修状況の評価および健康管理
- (5) 研修終了後の評価、または中断後の進路等

4. 2021年度の活動実績・成果

【委員会の実施について】

2021年度は、3回実施した。(7月・12月・3月)

前年度同様に、臨床研修の改善事項を具体化するために、委員会には初期研修医を招集し、臨床研修について感想や意見を聴取した。

出席している各委員より臨床研修に関する取組みや意見を聴取し、改善へ向け議論を行った。

【第三者評価の受審について】

- ・ 2年次研修医が特定非営利活動法人 日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する基本的臨床能力評価試験を受験した。他院の研修医と臨床分野ごとの理解度を全国順位で比較・客観評価し、研修医への各臨床分野の指導が適切に行われているか分析を行った。
- ・ JCEP（卒後臨床研修評価機構）による第三者評価を定期的に受審している。

医療事故対策委員会

(臨時医療安全対策委員会として開催した)

1. 委員

■委員長	松本 勝美 (病院長)		
■特別顧問	吉峰 俊樹	■医療安全管理室 師長	山本 珠美
■臨床顧問	峰松 一夫	■本部コンプライアンス推進室室長	竹本 昌史
■院長補佐	蓮池 康徳	■本部コンプライアンス推進室	弁野 由紀子
■副院長	森田 龍平		

2. 目的

重篤な医療事故に対して迅速かつ的確に行動し、患者の安全を確保し、二次被害を抑制する。
さらに、医事紛争及びその恐れのある案件に対して適切な対応を検討し最終決定を行う。

3. 役割

- (1) 重篤な医療事故が発生した場合は、速やかに事態を把握し、患者の安全確保と二次被害抑制に全力を注入する。
- (2) 重篤な医療事故、医事紛争、医療訴訟、及びその恐れがある案件については、公明正大な調査を行い、科学的な根拠に基づいて審議し、病院としての最終決定を行う。
- (3) 重篤な医療事故については事実関係が明らかになった後等の適切な時期に、全職員に事故の概要を説明し、再発防止に向けて注意を喚起する。

4. 2021年度の活動実績・成果

重大な合併症を来した事案について、主治医や担当者も会議に出席して協議した。問題のある例が続く場合、一時は手術の停止も行った。合併症再発防止のため、カンファレンスの充実などを図るよう促した。

◆決定事項

- ①薬剤鑑別は実薬のみではなく薬に関する書面の情報と照合し診療情報提供書は多職種で共有する
- ②カンファレンスを充実させ、内科・外科で合同で治療方針を協議する
- ③非常勤医師を含め診断に迷う場合は、循環器・脳外科などの専門分野にコンサルテーションする
- ④侵襲的な処置を施行するときは、タイムアウトを行う
- ⑤高リスク患者の手術は事前にカンファレンスを実施してカルテ記載し、セカンドオピニオンの説明を行う
- ⑥ショックバイタルはICUへ入室させてマンパワーを集約して評価・治療を行う
- ⑦急変時は病院へ来るかどうかは別として、主治医へ連絡する
- ⑧研修医は必ず指導医へ連絡して処置にあたる
- ⑨心臓外科手術において、高リスクとは再手術・パチスタ・心筋切除・長時間手術であり、事前に

会議を開催して病院としての方針を決定する

- ⑩主訴、手術適応疾患、手術以外の治療法と予後、家族の疾患の理解、セカンドオピニオン、術式の経験件数、本人の今後の生活への希望、不具合が生じた場合のターニングポイントを患者・家族に説明と同意を得て、カンファレンス記録を残す
- ⑪不測の事態が発生した場合は科を超えた医師たちでバックアップ体制を構築する

医療ガス安全管理委員会

1. 委員

■委員長	田中 暢（麻酔科主任部長）		
■ICU（HCU）副師長	濱田 一樹	■薬剤部科長	城尾 晃太
■手術部看護副師長	東山 美豊	■施設管理課長	濱田 英明
■臨床工学部主任	加藤 貴充	■診療報酬請求事務課係長心得	前田 翔吾

2. 目的

- （1）医療ガス（酸素、麻酔ガス、吸引、圧縮空気、窒素等）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。
- （2）厚生労働省通知「診療の用に供するガス設備の保安管理について（昭和63年7月15日付健政発第410号健康政策局長）」に基づき設置する。

3. 役割

- （1）厚生労働省の定める保守点検指針に基づいて、実施責任者等に医療ガス設備の保守点検業務を定期的に行わせる。
- （2）保守点検業務の実施記録の作成、保存をさせ、実施されていることを確認する。
- （3）医療ガス設備の新設及び増改築を行う場合、その旨の周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験及び検査を行い安全を確認する。
- （4）医療ガスの安全点検に係わる業務の監督責任者及び実施責任者を委員から選出する。
- （5）病院内の各部門に医療ガスに関する知識を普及し、啓発に努める。
- （6）その他医療ガスに関する事項

診療情報小委員会（電子カルテ委員会）

1. 委員

■委員長	藪野 健一郎（情報システム部）		
■病院長	松本 勝美	■看護部師長	島 知江
■副院長	森田 龍平	■医療事務部	前田 翔吾
■看護部長代行	田原 晴実	■情報システム部	電子 幸

2. 目的

診療情報（電子カルテなど）の適正使用

3. 役割

諸問題発生時の対応と再発予防対策の考案

4. 2021年度の活動実績・成果

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてオンライン診療の開始
- BCPに基づくシステムダウン時対応規定の修正と避難訓練の実施
- zoomを用いたオンライン面会環境の整備、タブレットの配置
- 電子カルテ運用規定の更新

2021年度導入システム一覧

- ・ 早期警告指示システム
- ・ カロミルアドバイス 食事指導 DX ツール
- ・ Astrux2
- ・ QOLMS Viewer（スマホけんこう手帳）
- ・ 既読管理システム
- ・ 診断書作成管理システム MEDI-Papyrus

感染防止対策委員会

1. 委員

■委員長	大川 惇平（救急診療科医長）		
■病院長	松本 勝美	■薬剤部科長	城尾 晃太
■副院長	森田 龍平	■臨床検査部統括次長	田島 直人
■呼吸器内科部長	毛利 圭二	■臨床検査部主事補	細井 祐美子
■呼吸器内科副部長	村上 亜紀	■臨床工学部統括次長	田中 太郎
■救急診療科部長	有元 秀樹	■栄養管理部係長	小林 由佳
■消化器外科医長	小南 裕明	■リハビリテーション部科長	益原 美幸
■看護部長	上野 ゆかり	■診療放射線部統括次長	藤原 健祐
■看護部線専門師長	東 麻奈美	■診療報酬請求事務課係長	前田 翔吾
■看護部専門主任	秋山 拓三	■研修医	代表者

2. 目的

医誠会病院における院内感染防止対策を推進し、院内衛生管理の徹底を図る。

3. 役割

- (1) 各種病原微生物による院内感染の予防対策と拡大防止の計画を立案し実施する。
- (2) 職員への院内感染防止対策の知識・手技・手順等について普及啓発する。
- (3) 抗菌薬耐性菌の実態を把握し、抗菌薬使用をコントロールする。
- (4) ICT の活動を支援し、起案された事項を検討する。

ICT / ASTミーティング

1. 委員

■委員長	大川 惇平（救急診療科医長）		
■副委員長	村上 亜紀（呼吸器内科副部長）	■臨床検査部	日野 美貴
■呼吸器内科部長	毛利 圭二	■臨床検査部	飯島 圭亮
■消化器外科医長	杉山 朋大	■薬剤部主任	中原 正季
■総合内科医長	吉野 富裕美	■薬剤部	植田 実佐
■看護部専門師長	東 麻奈美	■薬剤部	堀口 侑華
■看護部専門主任	秋山 拓三	■リハビリテーション部主任	中山 美穂
■診療放射線部	清水 友也	■診療報酬請求事務課係長	前田 翔吾
■臨床検査部主事補	細井 祐美子		

2. 目的

院内感染を発生させない安全な入院環境を提供し、効果的な感染制御を実践する。

3. 役割

- (1) 予防感染対策マニュアルを随時改訂し、感染防御体制を強化する
- (2) ICTラウンドを週1回実施し、適切な感染管理を支援する
- (3) ASTラウンドを週1回実施し細菌検査の実施と抗菌薬適正使用の監視体制を強化する
- (4) 全ての職員に感染対策の重要性を認識させるため、感染防止策の実際につき研修を行う

地域・救急医療運営小委員会

1. 委員

■委員長	細原 勝士（救急医療センター センター長）		
■病院長	松本 勝美	■救急科部長	高井 信幸
■副院長	森田 龍平	■救急科部長	有元 秀樹
■消化器外科部長	樋口 一郎	■副看護部長	高岡 英二
■心臓血管センターセンター長	外山 康之	■救急搬送対応室係長	山口 裕子
■消化器内科部長	福知 工	■地域医療連携室係長	澤田 貴江
■整形外科部長	市地 賢治	■医療営業部主任	松永 宗二郎
■脳神経外科医長	井間 博之	■看護部師長	高須賀 康伸

2. 目的

医誠会病院における救急受入れ、紹介、病診連携、地域医療の充実を図ることを目的とする。

3. 役割

- (1) 医療連携（病診・病病・施設連携）に関すること。
- (2) 救急医療に関すること。
- (3) 地域医師会との連絡・調整に関すること。
- (4) 地域医療充実の取組みに関すること。
- (5) 広報に関すること。

4. 2021年度の活動実績・成果

コロナ禍の為、開催しておりません。

安全衛生委員会

1. 委員

■委員長	押部 俊之（施設運営管理部 運営部長）		
■副院長（産業医）	森田 龍平	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	吉川 有子
■看護部長	上野 ゆかり	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	松本 結衣
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	田中 香織	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	林田 智美
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	宮園 希望	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	高瀬 法子
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	谷口 早	■外来看護師	伊月 由季
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	芳林 優香	■リハビリテーション部科長	益原 美幸
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	古木 伶奈	■リハビリテーション部	下村 真央吏

2. 目的

労働安全衛生法第 19 条第 1 項の規定に基づき、職員の労働安全と労働衛生の向上を図ることを目的とする。

3. 役割

- (1) 職員への危険及び健康障害の防止対策
- (2) 特に安全と衛生に関わる労働災害の原因除去及び再発防止対策
- (3) 安全及び衛生に関する規定の作成および見直し
- (4) 安全教育及び衛生教育の実施計画の作成
- (5) 新規に建設する施設、採用する機器、材料等による危険防止及び二次災害防止対策
- (6) 定期及び臨時に行う健康診断及びその結果に対する対策
- (7) 作業環境測定の結果及びその結果に対する対策
- (8) 化学物質の有害性の調査及びその結果に対する対策
- (9) 労働基準監督官、安全衛生専門官等から文書により勧告、指導された事項のうち、職員の危険及び健康障害防止に対する対策

4. 2021 年度の活動実績・成果

- ・労働安全衛生法関連の情報共有
- ・産業医、衛生管理者活動報告
- ・ストレスチェック計画、実施、結果報告

保健管理 WG ミーティング

1. 委員

■委員長	森田 龍平（副院長）		
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	高瀬 法子	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	古木 伶奈
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	吉川 侑子	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	松本 結衣
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	宮園 希望	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	林田 智美
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	谷口 早	■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	高木 美里
■人間ドック SOPHIA/ 医誠会健診センター	芳林 優香		

2. 目的

労働衛生安全委員会の WG として、職員の保健管理を中心に活動を行う。

3. 役割

産業医を中心に、保健師をメンバーとして、職員の健康及び業務の安全について、適切な管理を行っている。

4. 2021 年度の活動実績・成果

- ・ 週 1 回（毎週土曜日）の衛生管理者巡視
- ・ 月 1 回（毎月第 1 水曜日）の産業医巡視
- ・ 月 1 回（毎月第 2 水曜日）の安全衛生委員会出席と定例報告

医療安全管理委員会

1. 委員

■委員長	有元 秀樹（救急医療センター 部長）		
■特別顧問	吉峰 俊樹	■栄養管理部係長	小林 由佳
■副院長	森田 龍平	■リハビリテーション部科長	益原 美幸
■総合内科医長	吉野 富裕美	■臨床検査部係長	下川原 逸美
■看護部長代行	田原 晴実	■臨床工学部主任	加藤 貴充
■医療安全管理室師長	田村 一子・山本 珠美	■診療放射線部統括次長	藤原 健祐
■薬剤部科長	城尾 晃太		

2. 目的

全ての医療行為および業務における安全対策を組織的に推進する。

3. 役割

- (1) 各部門の医療安全対策の実施状況を把握・分析し、業務改善等の対策を支援する。
- (2) 各部門の医療事故防止担当者への支援、部門間の調整、医療安全対策に係る患者・家族の相談窓口相談を行う。
- (3) 医療安全対策に係る職員研修を企画・実施する。
- (4) 医療事故やヒヤリ・ハット事例の情報を収集、分析し改善策を提案、実施、評価する。
- (5) 医療安全管理マニュアル、指針、ガイドライン等を整備・更新する。

4. 2021年度の活動実績・成果

■ヒヤリ・ハット事例件数 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
112	123	149	152	136	135	139	115	99	92	62	106	1,420

【全体研修：テーマ、演者】

1. 医療安全研修

- ① 2022年3月1日～3月20日
テーマ『身体抑制規定』 講師：医療安全管理室 看護部 田村 一子
- ② 2022年3月7日～3月27日
テーマ『RRS』 講師：有元 秀樹 医師

2. 医薬品安全管理研修

- ・ 2022年3月24日～4月7日
講師：薬剤部 城尾 晃太

3. 医療ガス安全講習会

・2021年12月1日～12月31日

講師：臨床工学部 加藤 貴充

【活動内容】

- ①医薬品安全管理ラウンド実施
- ②医療事故調査制度に基づく医療事故調査委員会規定の掲載
- ③早期警告システム（EMS）導入開始
- ④加圧式高速輸血装置・酸素ボンベ残量アラート装置導入
- ⑤医療安全管理体制の組織図の改訂
- ⑥RRS活動の支援と承認
- ⑦レベル3 b以上の事例検討

患者サポート委員会

1. 委員

■委員長	森田 龍平（副院長）		
■糖尿病内科部長	森田 千尋	■医療事務部受付クラーク課	服部 実佐子
■医療相談	福田 華子	■医療事務部受付クラーク課	高橋 江美
■医療安全管理室師長	田村 一子	■看護部副師長	小羽 美幸
■医療相談	東 真由美	■リハビリテーション部	田中 京
■薬剤部科長	城尾 晃太	■臨床検査部	小寺 佑佳
■地域医療連携室課長	澤田 貴江	■臨床工学部	森廣 大亮
■接遇サービス推進室主任	田中 由子	■診療放射線部	田椽 耕助
■診療補助部医療クラーク課主任	山下 智香	■栄養管理部	村木 咲優

2. 目的

患者サポート体制の一層の充実を図り、医療従事者と患者との対話を患者側から支援することを目的とする。

3. 役割

- (1) 患者又は家族からの疾病に関する医学的な質問、並びに生活上及び入院上の不安等、様々な相談に迅速かつ適切に対応する。
- (2) 各部門に患者支援体制に係わる担当者を配置する。
- (3) 患者支援に係わる取り組みの評価等を行うカンファレンスを定期的（週1回程度）に開催する。
- (4) 各部門で患者等から相談を受けた場合の対応体制及び報告体制のマニュアルを整備し、職員に遵守させる。

4. 2021年度の活動実績・成果

■患者相談窓口対応件数

(件)

項目 月	受診相談	病棟相談	外来相談	セカンド オピニオン	外国語対応		PCR検査 案内	その他	合計
					中国語	英語			
4月	739	4	58	1	13	5	499	1,667	2,986
5月	510	2	54	0	6	2	363	298	1,235
6月	503	2	59	0	4	7	259	408	1,242
7月	570	0	37	0	5	6	337	442	1,397
8月	856	3	42	1	5	0	537	359	1,803
9月	722	2	60	0	8	3	377	393	1,565
10月	416	4	48	0	14	2	217	464	1,165
11月	393	3	58	0	8	1	165	427	1,055
12月	399	4	47	1	3	1	155	448	1,058
1月	1,038	1	49	0	1	2	606	246	1,943
2月	710	0	58	1	2	3	604	235	1,613
3月	573	0	71	0	2	2	452	311	1,411
合計	7,429	25	641	4	71	34	4,571	5,698	18,473

患者サポートワーキンググループの会議を毎週火曜日を開き、そこで上がった問題点や患者さん、職員からの意見について協議し、以下のような取り組みを行いました。

1. 院内にわかりやすい表示が少ないとのご意見から、院内の案内板を各所に設置しました。
2. 患者さんへ手渡しする検査の説明や松葉杖の取り扱いについての文書の中の、文章の見直しを行いました。
3. 受付の順番待ちの自動音声呼び出しを「〇番をお待ちのお客様」から「〇番をお待ちの方」に変更してもらいました。
4. 自動再来機の受付を前回の来院から 1 ヶ月以内の方を対象としていたのを、2 ヶ月に延長しました。
5. 予約の変更や取得をこれまでの受付ではなく、医療相談で行うことにしました。

上記以外にも様々な取り組みを行いました。

事故防止対策委員会

1. 委員

■委員長	森田 龍平（副院長）	■診療放射線部統括次長	藤原 健祐
■救急科部長、ICU 担当医	有元 秀樹	■栄養管理部係長	小林 由佳
■医療安全管理室師長	山本 珠美	■情報システム	渡邊 健介
■5B 師長	山本 恵美	■研修医	代表者
■3B 副師長	加藤 まなみ	■診療報酬請求事務課係長	前田 翔吾
■薬剤科長	城尾 晃太	■医療情報部	乾 翔一
■臨床工学部主任	加藤 貴充	■総合内科医長	吉野 富裕美
■臨床検査部係長	下川原 逸美		
■リハビリテーション部科長	益原 美幸		

2. 目的

よりよい医療を実現させるため医療事故の防止を目指し組織的かつ系統的な対策を立てることを目的とする。

3. 役割

- (1) 医療事故報告制度の活発な運用を図り、報告事例を分析し防止対策を検討する。
- (2) 医療事故発生時に迅速かつ適切に対応して患者の安全を図り、二次被害を抑制する。
- (3) 再発防止のために組織的対応を図り、院内教育を徹底する。

4. 2021年度の活動実績・成果

- (1) インシデント・アクシデントレポート年間報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Lv0	0	0	2	1	2	0	3	7	4	0	1	1	21
Lv1	5	20	12	12	14	8	11	15	8	14	9	7	135
Lv2	42	42	70	58	60	69	53	39	38	38	22	42	573
Lv3a	31	39	38	55	40	32	40	32	28	24	17	38	414
Lv3b	1	1	3	2	1	0	3	0	1	3	1	1	17
Lv4a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Lv4b	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
Lv5	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	5
Lv0 (仕分け困難事例)	0	1	2	2	2	2	6	3	1	1	0	1	21
Lv1 (仕分け困難)	8	6	5	3	4	8	5	4	6	3	1	4	57
Lv2 (仕分け困難)	24	14	15	18	12	16	18	15	13	9	10	11	175
合計	112	123	149	152	136	135	139	115	99	92	62	106	1,420

概要 / 月別集計

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤	22	24	25	31	30	41	26	13	16	17	8	16	269
輸血	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	5
治療・処置	5	5	6	7	2	3	7	8	6	3	0	4	56
医療機器等	1	2	3	1	3	2	3	4	1	3	1	3	27
ドレーン・チューブ	21	27	43	42	27	25	41	23	22	19	7	24	321
検査	8	7	9	10	10	13	13	12	7	4	5	4	102
療養上の検査	40	50	52	51	55	45	35	40	38	36	26	42	510
その他	15	7	11	10	8	5	14	14	8	10	15	13	130
合計	112	123	149	152	136	135	139	115	99	92	62	106	1,420

一時保存の集計

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時保存件数	2	0	2	1	3	0	7	2	1	2	0	1	21

(2) 活動内容

本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、カンファレンスや会議は継続したが、参加人数を制限して開催した。

事前に院内メールを使用して議題を提示して、不参加者には意見を募った。

参加人数を制限しているため、他職種からの意見を多く集めることは困難であった。

1) 月 1 回委員会会議開催

2) 週 1 回事故防止カンファレンス (37 回 / 年) を開催し、以下の手順変更や改善を行った。

- ① COVID-19 に関連した PCR 検査漏れの防止策として、チェックリストやクリニカルパスを改訂した。
- ② 他院からの診療情報提供書を多職種で共有できるように「伝言メモ」の使用を開始した。
- ③ 検査・治療時に発生する有害事象防止策として、問診票を整理し詳細禁忌の「身体状況」に情報を集約するようにした。
- ④ 血培ボトル搬送容器を針刺し・暴露防止のために購入し活用した。
- ⑤ MRI 問診票の問診内容を正確にするために「はい」「いいえ」を選択するようにした。
- ⑥ 検査中に酸素ボンベの残量が 0 になった事例より、検査に長時間を要する心エコーは酸素マスク使用患者はポータブルとした。
- ⑦ 酸素ボンベの残量早見表を全ボンベに装着し、「ボンベ残量アラート」を購入予定とした。

3) 針刺し事故防止対策

・院内リキャップラウンド 2 回実施 (2021 年 6 月、9 月)

リキャップは減少したが、マイJECTター・ペン型インスリンのリキャップが継続する傾向にある。

4) 事故防止に関する職員研修会開催

新型コロナウイルス対策で集合研修が中止となり職員情報共有サイトを使用しての研修を行った。

5) 医療安全対策 地域連携相互ラウンド実施

新型コロナウイルス感染症対策のため、訪問審査は実施できず、チェック表での審査となった。
I - II 連携に摂津医誠会病院が加わった。

臨床検査適正委員会

1. 委員

■委員長	岡田 英晶（臨床検査科医師）		
■病院長	松本 勝美	■臨床検査部主任	野口 哉太
■看護副部長	田原 晴実	■医療事務部課長	梶谷 瑞恵
■薬剤部科長	城尾 晃太	■情報システム部係長	藪野 健一郎
■臨床検査部統括次長	田島 直人		

2. 目的

良質な臨床検査データを検体採取から検査報告までを迅速に提供することを目的に、各種ガイドラインに沿った検査項目の検討や精度管理といった臨床検査全般に関わるクオリティー向上について概ね月に一度協議する。

3. 役割

- (1) 臨床検査の適正化に関する委員会の開催および運営
- (2) 臨床検査の適正化を目的とした検査全体の管理および運営
- (3) 院内検査に用いる検査機器および検査試薬の管理
- (4) その他、臨床検査の適正化に関する事項

4. 2021年度の活動実績・成果

職員が一丸となって患者様の福利厚生、安全・安心・安楽に寄与すべく PCR 検査を始め、検査体制の充実に努めています。

輸血療法委員会

1. 委員

■委員長	田中 暢（麻酔科主任部長）		
■泌尿器科部長	長妻 克己	■臨床検査部	三木 香奈
■看護部副師長	山本 恵美	■臨床検査部	喜田村 里穂
■手術室看護師	堀 由佳	■臨床検査部	山下 瑞葉
■薬剤部科長	城尾 晃太	■臨床検査部	赤峰 真衣
■医療事務部課長	梶谷 瑞恵	■情報システム部	竜子 幸
■臨床検査部係長	下川原 逸美		

2. 目的

- (1) 輸血療法事故をなくすために、組織的かつ系統的な安全対策を立て実施する。
- (2) 厚生労働省の定める「輸血療法の実施に関する指針」に基づいて設置する。

3. 役割

- (1) 自己血輸血を含む輸血療法に関わる管理体制を整備し、事故防止を図る。
- (2) 輸血事故防止マニュアルおよび必要書類を整備し、定期的な見直しを実施する。
- (3) 輸血事故に迅速かつ適切に対応し、患者の安全を図るシステムを構築する。
- (4) 発生した事故を公正かつ適正に事故検証し、再発防止策を立案する。

薬事委員会

1. 委員

■委員長	城尾 晃太 (薬剤部科長)		
■副院長	森田 龍平	■呼吸器内科部長	毛利 圭二
■消化器外科医長	石川 彰	■医療安全管理室師長	田村 一子
■糖尿病内科部長	森田 千尋	■薬剤部係長	松永 都
■泌尿器科部長	長妻 克己	■医療事務部	松本 佑亮

2. 目的

薬事業務および薬剤管理を医学的、薬学的及び病院経営的に評価し、適正かつ効率的な運用を図り、病院運営に寄与する事を目的とする。

3. 役割

- (1) 医薬品の適正な採用、採用薬の評価及び整理を進める。
- (2) 医薬品の院内流通を管理し、適正な配置を実現する。
- (3) 薬事委員会で承認された新規採用医薬品、削除品について院内に伝達する。
- (4) 医薬品の副作用情報を含め適正な使用と管理について関係職員に伝達し、安全確保に努める。

4. 2021年度の活動実績・成果

コロナ禍のため、会議を自粛。

化学療法検討委員会

1. 委員

■委員長	上田 眞也（腫瘍内科部長）		
■呼吸器内科副部長	村上 亜紀	■臨床検査部	荒木 優利香
■消化器外科医長	石川 彰	■臨床検査部	中間 愛
■外来師長	穴谷 理佳	■薬剤部主任	福田 佳代
■看護部副師長	山本 恵美		

2. 目的

化学療法を安全に行うには十分な管理と注意が必要である。レジメン登録、手順書作成、勉強会開催、事例検討などを通じて、抗癌薬治療における事故防止、医療の質の向上に貢献する。

3. 役割

- (1) レジメンの承認
- (2) 化学療法における医療ミス・事故の予防、評価、対策
- (3) 化学療法に関わる教育活動（医療従事者・患者）
- (4) 化学療法に関わる情報収集、広報活動
- (5) 業務上の諸問題点の改善



4. 2021年度の活動実績・成果

■患者数 (名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
94	92	114	79	94	75	72	87	82	72	63	83	1,007

■治療件数 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
83	78	97	71	78	70	61	80	74	65	59	76	892

緩和ケアチームワーキンググループ

1. 委員

■委員長	森 至弘（消化器外科 医長）		
■腫瘍内科部長	上田 眞也	■看護部	家迫 由香利
■糖尿・内分泌内科部長	森田 千尋	■薬剤部主任	福田 佳代
■外来師長	穴谷 理佳		

2. 目的

緩和ケアチームは、癌疼痛をはじめとする苦痛を抱えた患者およびその家族などに対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供し、悪性腫瘍または末期心不全などの患者の疼痛・倦怠感・呼吸困難などの身体的症状または不安・抑うつなどの精神症状を有する患者およびその家族に対する高度な緩和ケアをチーム医療によって行うことおよび緩和ケアの教育・研修を推進することを目的とする。

3. 役割

- (1) 患者および家族などの症状緩和の提供
- (2) 緩和ケア療法における医療ミス・事故の予防、評価、対策
- (3) 緩和ケア療法に関わる教育活動（医療従事者・患者）
- (4) 緩和ケア療法に関わる情報収集、広報活動
- (5) 業務上の諸問題点の改善

4. 2021年度の活動実績・成果

毎週金曜日 カンファレンス
定例会議 第3 木曜日 16:00～

給食委員会

1. 委員

■委員長	小林 由佳（栄養管理部係長）		
■総合内科部長	山口 博司	■調理師	堀内 亮作
■5B病棟副師長	中川 さち子	■医療事務部	西尾 友香理
■管理栄養士	川手 美穂		

2. 目的

病院給食の運営には、給食担当者の努力だけではなく、各部門の協力や理解、助言などが必要である。そのため、各部門の担当者が給食運営について話し合いを持ち、栄養管理業務の合理的運営と給食の質的向上および安全・衛生管理を図ることを目的とする。

3. 役割

- ・食中毒等の事故を防止するために給食設備、給食材料および調理過程における衛生管理を監督・指導する。
- ・職員の衛生管理に関わる知識の向上を図る。
- ・給食内容および喫食者の意見、残食量を調査して、給食の質的向上を図る。
- ・給食設備の整備、給食業務の改善、大量調理施設衛生管理マニュアルの遵守などによって安全で安心な給食を維持する。

4. 2021年度の活動実績・成果

- ・10月嗜好調査を実施
- ・異物混入におけるインシデント・アクシデント件数：前年度比43%減
- ・食事箋処理間違いにおけるインシデント・アクシデント件数：前年度比17%減

糖尿病チームミーティング

1. 委員

■委員長	増田 浩史（糖尿病・代謝センター長／部長）		
■糖尿病内科部長	森田 千尋	■リハビリテーション部	濱辺 希
■看護部	松井 智子	■栄養管理部	吉山 真緒
■薬剤部	武田 偉央里	■診療補助部医療クラーク課	崎辺 千穂
■臨床検査部	佐伯 治彦	■診療補助部医療クラーク課	上野 光加
■臨床検査部	山田 匠	■診療補助部医療クラーク課	村上 章子
■リハビリテーション部係長	馬伏 昭光	■医療営業部主任	永田 昌之

2. 目的

糖尿病医療に必要な各専門職種ของทีมを形成し、質の高いチーム医療を提供することを目的とする。

3. 役割

糖尿病医療は各専門職種が密接な連携を保ち、専門性を生かしたチームアプローチが必要である。糖尿病の患者教育にあたり、医療チームとしてかかわるために、医師を中心にコ・メディカルスタッフとともに役割分担を行い、全体的な教育方針と実施要領の決定を行う。また、教育に必要な知識の普及などを行い、より質の高いチーム医療を提供することを目的として設置する。

4. 2021年度の活動実績・成果

COVID-19 流行中のため、会議では集合することなく、メール中心に協議した。「春のオンライン遠足」「世界糖尿病デーイベント」の動画を各部署の協力により作製し、オンライン配信を行い、一般の方への啓発活動とした。

医療の質管理委員会

1. 委員

■委員長	森田 龍平（副院長）
■看護部長代行	田原 晴実
■人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター長	梁 徳淳
■看護部長室	島 知江
■本部顧問	峰松 一夫
■情報システム部	竜子 幸
■外交安全部外部評価対策室主任	馬場 聡
■診療報酬請求事務課係長	前田 翔吾

2. 目的

医療の質をシステム、患者、診療、体制の各側面から評価し改善する。二次的に平均在院日数短縮、病床回転を促進する。

3. 役割

患者、診療および病院システムの視点から当院の医療の質を評価し、実効性のある改善策を提案し、改善事業をサポートする。

4. 2021年度の活動実績・成果

外部評価認定をツールとした活動を行い、主に検査・手術の同意書の見直しと改訂を実施した。保有文書を一元化し、新規作成や改訂・廃棄などの管理をシステム化することにより、医療の質を担保している。

また、同意書等の紙媒体を電子カルテ内にて原本管理する為の長期署名システム導入に伴ったインフラ整備を行った。

外部評価対策委員会

1. 委員

■委員長	馬場 聡 (本部・外交安全部 外部評価対策室主任)		
■副院長	森田 龍平	■看護部	島 知江
■看護部長	上野 ゆかり	■薬剤部科長	城尾 晃太
■副看護部長	田原 晴実	■臨床検査部係長	下川原 逸美
■医療安全管理室師長	田村 一子	■予防医療事業部	原 久美
■感染防止対策室師長	東 麻奈美	■診療放射線部統括次長	藤原 健祐
■看護部長室副師長	桑山 麗	■リハビリテーション部主任	津田 公平
■3A病棟師長	井上 智華	■栄養管理部	吉山 真緒
■3B・SCU病棟師長	高岡 英二	■栄養管理部	野口 晴加
■4A病棟副師長	小倉 エミ子	■臨床工学部主任	今村 孝之
■4B病棟副師長	山本 珠美	■情報システム部係長	藪野 健一郎
■5A病棟副師長	山本 恵美	■診療報酬請求事務部係長	前田 翔吾
■5B病棟副師長	中川 さち子	■診療報酬請求事務部主任	竹本 桂志
■HCU 師長	永友 舞	■庶務部医療クラーク課主任	花澤 順子
■ICU 師長	鹿島 秀明	■庶務部医療クラーク課	片岡 亮子
■手術室主任	東山 実豊	■庶務部医療クラーク課	兼平 美幸
■救急外来師長	高須賀 康伸	■地域医療連携室課長	澤田 貴江
■外来副師長	杉山 恵	■地域医療連携室課長	前川 喜久子
■外来主任	伊月 由季		

2. 目的

ISO9001 認証基準に沿って院内業務の流れを点検評価し、医療の質の改善を推進する。

3. 役割

- (1) ISO9001 認証の維持管理に必要な活動を継続する。
- (2) ISO9001 認証基準に沿って院内業務体制を審査し、その改善を図る。

4. 2021年度の活動実績・成果

ISO9001 の認証維持

・品質マネジメントシステム第2回定期維持審査の結果、ISO9001 認証が更新された。

【審査日程】2021年10月13日～15日【審査員2名×3.0日間】

【検出課題】不適合なし、軽微な不適合2件、観察事項19件

患者サービス WG ミーティング

1. 委員

■委員長	森田 龍平（副院長）		
■外来主任	杉山 恵	■栄養管理部	西田 沙紀
■臨床工学部	三井 康平	■診療報酬請求事務課	鎌田 久留美
■臨床検査部	山本 博一	■診療補助部医療クラーク課	高橋 江美
■診療放射線部	田椽 耕助	■診療補助部医療クラーク課	富岡 理恵
■薬剤部	山崎 真侑	■診療補助部事務クラーク課	東 茉莉子
■リハビリテーション部	徳永 紘仁		

2. 目的

患者サービスの立場から当院の医療を評価し、良質な医療を提供するための改善策を提案する。
以って受診者の満足度を高め、近隣医療機関との差別化を図り、集客増に繋げることを目的とする。

3. 役割

- (1) 患者サービスの視点から提供している医療の質を評価する。
- (2) より良質な医療を提供するための改善策を提案する。
- (3) 良いサービスを具体的に表現し職員への普及啓発を行う。

4. 2021年度の活動実績・成果

院内ラウンドの開始

患者目線で院内を見回ることにより、設備や案内の不備を報告し
修理・改善を実施

1. 委員

■委員長	樋口 一郎（消化器外科部長）		
■糖尿病内科部長	森田 千尋	■看護部副師長	栗山 麗
■脳神経外科医長	福永 貴典	■3B 病棟主任	井上 智華
■循環器内科医長	岡部 真也	■リハビリテーション部主任	津田 公平
■形成・美容外科医長	岡田 愛弓	■臨床検査部	桑原 毅
■消化器外科医長	石川 彰	■栄養管理部係長	小林 由佳
■消化器外科医長	森 至弘	■栄養管理部	西田 沙紀
■消化器外科医長	杉山 朋大	■薬剤部主任	上出 紗栄加
■消化器外科医長	小南 裕明	■診療報酬請求事務部	西岡 芳子
■総合内科	吉野 富裕美		

2. 目的

重症患者、低栄養患者に対して適性な栄養療法を提供することで、早期の健康回復に寄与することを目的とする。

3. 役割

- 1) 病棟ラウンドによって栄養療法が適正に行われるよう担当医やスタッフに助言する。
- 2) 研修会を通じて院内外の関係者との交流を深め、栄養療法の改善と普及に寄与する。
- 3) 栄養療法に伴う合併症や不具合を把握し、その改善に努める。

倫理委員会

1. 委員

■委員長	梁 徳淳（人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター長）		
■病院長	松本 勝美	■地域医療連携室係長	澤田 貴江
■看護部長代行	田原 晴実	■外部委員	中村 宏
■副院長	森田 龍平	■外部委員	寺田 喜孝
■糖尿病内科部長	増田 浩史	■本部顧問	峰松 一夫
■薬剤部科長	城尾 晃太	■本部コンプライアンス室	竹本 昌史
■診療報酬請求事務課課長	川村 麻位子		

2. 目的

人体を対象とした臨床研究、臨床治験、新しい診療技術の開発・実施を行う場合に、その計画がヘルシンキ宣言（世界医師会）の主旨を尊重して、医の倫理に基づいて適正に行われるよう審査・指導することを目的とする。

3. 役割

- (1) 申請された研究または医療行為の目的および実施計画が、倫理的・社会的観点から適切であるか審査する。
- (2) 審査の結果は病院ホームページに公表する。
- (3) 職員に対し医の倫理に関わる知識の普及啓発を図るとともに、倫理委員会への理解を深める活動を行う。

4. 2021年度の活動実績・成果

申請数 28 件、承認数 28 件、否認数 0 件

利益相反管理WGミーティング

1. 委員

■委員長	梁 徳淳（人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター長）
■看護部長	田原 晴実
■麻酔科主任部長	田中 暢
■外部委員（関西医科大学形成外科教授）	楠本 健司

2. 目的

医誠会病院利益相反ポリシーの定めに基づき、医誠会病院の医師等の利益相反を適切に管理し、かつ、医師等の利益相反による不利益の防止を図ることを目的とする。

3. 役割

- (1) 利益相反ガイドラインの管理
- (2) 利益相反による弊害を軽減するための方策立案
- (3) 利益相反に関する調査および審査
- (4) 利益相反に関する情報収集と公開
- (5) その他、重要事項

遺伝情報管理WGミーティング

1. 委員

■委員長	梁 徳淳（人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター長）		
■外来師長	穴谷 理佳	■診療報酬請求事務課	担当者
■臨床検査部統括係長	下川原 逸美	■診療補助部医療クラーク課次長	岡崎 真理恵
■情報システム部主任	竜子 幸		

2. 目的

遺伝情報の厳重な管理と、適正な使用が実施できるよう管理することを目的とする。

3. 役割

- (1) 遺伝情報の遺漏がないよう厳正な管理体制を構築する。
- (2) 遺伝情報の開示請求について、その適否について裁定する。
- (3) 遺伝情報の管理と使用に関わる第3者評価を企画実施する。

治験審査 WG ミーティング

1. 委員

■委員長	梁 徳淳（人間ドック SOPHIA・医誠会健診センター長）		
■診療報酬請求事務課	担当者	■臨床検査部統括係長	下川原 逸美
■薬剤部科長	城尾 晃太	■奥田薬局	奥田 寛
■薬剤部主任	上出 紗栄加	■元株式会社近畿車輛	奥田 英二
■医療安全管理室師長	山本 珠美		

2. 目的

治験及び製造販売後臨床試験（以下、治験等）がヘルシンキ宣言の主旨及び GCP 省令等に基づいて、倫理的、科学的及び医学的・薬学的観点から、その実施及び継続等がされているかを審議及び評価する。

3. 役割

- (1) 治験等の計画が倫理的及び科学的に妥当かどうか、また当院で行うことが適当かを審査する。
- (2) 治験等が適切に行われているか定期的に審査し、継続が妥当かどうか審議する。
- (3) 治験等の終了後に、適切に行われていたかどうかを審査する。
- (4) 治験等の実施中に有害事象等、何らかの問題が生じた場合、治験等が適切に行われているかどうか調査し、継続して行うことの適否を審議する。

クリニカルパス委員会

1. 委員

■委員長	森 至弘（消化器外科医長）		
■診療部 顧問	瀧 琢有	■情報システム管理課	高田 晃洋
■看護部師長	高岡 英二・井上 智華	■薬剤部科長	城尾 晃太
■看護部長室	島 知江	■臨床検査部	山本 博一
■4B 病棟師長	安井 美幸	■診療放射線部統括次長	藤原 健祐
■5A 病棟副師長	山本 恵美	■リハビリテーション部係長	才穂 亮介
■3B 病棟主任	中村 恭子	■栄養管理部	中谷 仁美
■診療報酬請求事務部係長	前田 翔吾		

2. 目的

クリニカルパスをできるだけ多くの疾患に応用し、医師－コ・メディカル－患者、さらに地域医療機関との連携を促進し、治療方針の統一と均一化を図る。

3. 役割

- (1) クリニカルパスの作成と修正を行い、医療の標準化・業務の効率化を図る
- (2) DPC に即したクリニカルパスを作成し、適用率を向上させて医療資源を有効活用する
- (3) クリニカルパスを使用して患者へのインフォームドコンセントを充実させる
- (4) パス適用率を向上させる。

4. 2021年度の活動実績・成果

新規パスの作成、既存のパスの修正

個人情報管理委員会

1. 委員

■委員長	長妻 克己 (泌尿器科部長)		
■看護部師長	山本 珠美	■臨床検査部係長	下川原 逸美
■薬剤部科長	城尾 晃太	■診療報酬請求事務課係長	前田 翔吾
■診療放射線部統括次長	藤原 健祐		

2. 目的

個人情報に適正に使用し、安全に管理することを目的とする。

3. 役割

- (1) 個人情報について、管理の安全性の自己点検、規定の整備、院外への持出し（学術、報告等）、不要データ廃棄管理、電子カルテ閲覧の実態把握と制限方策などについて検討する。
- (2) 個人情報保護に関する年1回以上の職員研修会を企画し、実施する。

4. 2021年度の活動実績・成果

本部 内部統制・危機管理対策室 次長による医誠会新入職職員に対して個人情報取り扱いに対する教育（1時間コース）を実施

その他の会議・委員会

会議・委員会名	委員長名
DPC 委員会	松本 勝美
施設基準・診療報酬ミーティング	松本 勝美
ベッドコントロール朝ミーティング	前川 喜久江
(P F M) 入退院支援調整ミーティング	前川 喜久江
地域医療連携室前方ミーティング	前川 喜久江
地域医療連携室後方ミーティング	前川 喜久江
看護部企画会議	上野 ゆかり
看護部運営会議	上野 ゆかり
看護部教育委員会	濱本 佳江
看護部褥瘡対策・摂食・嚥下対策委員会	栗山 麗
看護部基準手順・記録・必要度委員会	島 知江
看護部事故防止委員会	久保 ひろみ
看護部感染対策委員会	東 麻奈美
透析液水質管理委員会	今村 孝之
医局会	—
出張健診ミーティング	—

18 オンライン公開医学講座

医誠会病院では市民の皆様へ向け「公開医学講座」を定期的に会場開催して参りましたが、今般の新型コロナウイルス感染拡大防止のために2020年2月18日の開催を最後に中止させて頂きました。2020年7月25日よりZoomを使用した「オンライン公開医学講座」として再開いたしました。オンエア終了後はYouTubeで公開しておりますので見逃した方もいつでも、どこでもご覧いただけます。

回数	日付	曜日	テーマ	部署・役職	講師名・職種	参加人数
37	4/1	木	長引くせきやタン、風邪だと思いませんか？	医誠会病院 呼吸器内科 部長	毛利 圭二 医師	79
38	4/9	金	肺に影があるといわれたら ～呼吸器外科医からのメッセージ～	医誠会病院 呼吸器外科 部長	福原 謙二郎 医師	64
39	4/16	金	意外に楽だった！当院での鼠径ヘルニア（脱腸）治療の実際 ～自己判断で受診を見送るその前に～	医誠会病院 消化器外科 医長	杉山 朋大 医師	53
40	4/23	金	脳を守るためにできること	医誠会病院 脳神経外科 医長	馬場 庸平 医師	82
41	4/28	水	変形性膝関節症の原因と痛みを取る方法	医誠会病院 整形外科 部長	福田 宏成 医師	110
42	5/7	金	長引く頭痛、肩こり それ、実は眼瞼下垂症という病気が原因かも！	医誠会病院 形成美容外科 医長	岡田 愛弓 医師	93
43	5/13	木	今日からできる床ずれ予防 ～自宅療養に必要な床ずれ予防の基礎知識～ 後半：床ずれ予防エキスパートの「皮膚・排泄ケア認定看護師」 3名による座談会	摂津医誠会病院 看護部 本部 特定疾患 分野対策室 医誠会病院 看護部	夜久 喜子 看護師 香川 愛 専門課長 柴山 麗 看護師	53
44	5/18	火	あなたの腎臓を守ってほしい！ 慢性腎臓病（CKD）知ってますか？	城東医誠会クリニック 院長	難波 行臣 医師	101
45	5/21	金	知ってほしい！！がん検診	医誠会病院 臨床検査部	三宅 彩加 臨床検査技師	89
46	5/28	金	「かんだき」ってどんなところ？ かんだきが寄りそう 今からできる人生会議 ～自分らしいエンディングを迎えるために～	かんだき尼崎 管理者	外山 優加理 看護師	68
47	6/4	金	抗菌薬の正しい使い方 ～知っていますか薬剤耐性～	神崎中央病院 薬剤科	松本 武輝 薬剤師	88
48	6/11	金	コレステロールや中性脂肪が気になる方へ！ ～食生活で気を付けるポイントについて～	神崎中央病院 栄養管理科	古野 由香里 管理栄養士	109
49	6/18	金	消化管ストーマ（人工肛門）の基本 ～なぜ作るの？生活への影響は？気になるポイントを紹介～	医誠会病院 消化器外科 医長	木ノ下 修 医師	84
50	6/25	金	STOP 腰痛！ Let's 運動！	医誠会病院 リハビリテーション部	野口 梓 理学療法士	102
51	7/2	金	いつまでも丈夫な歯を維持しよう！ 歯とお口の健康について考える	医誠会病院 予防医療事業部	古木 伶奈 保健師	100
52	7/9	金	がんの予防と免疫 ～免疫力を高めるNK（ナチュラルキラー）細胞の活性化～	大阪医誠会がん治療クリニック 院長	山中 龍也 医師	120
53	7/16	金	夏の脱水を予防するために ～効果的な水分補給で夏を乗り切る！～	児島中央病院 栄養管理科	槌谷 佳菜子 管理栄養士	95
54	7/21	水	介護施設「かんだき」ってどんな所？ かんだきが取り組むリハビリテーション ～家でも施設でも充実したリハビリができる仕組みと実際～	かんだき児島 管理者	鈴木 多美恵 看護師	48
55	7/29	木	内視鏡によるからだにやさしい胃 / 食道がんの治療	医誠会病院 消化器内科 主任部長	福知 工 医師	88
56	8/6	金	腎臓が弱っている時は気を付けて！ 注意すべき薬の効果と副作用	檀原リハビリテーション病院 薬剤科	村田 紫織 薬剤師	88
57	8/13	金	意外に多い心臓弁膜症、手遅れになる前にできること	医誠会病院 心臓血管外科 部長	山下 慶悟 医師	74
58	8/14	土	がん細胞やウイルス感染細胞と戦うナチュラルキラー（NK） 細胞について（希望をつなぐ第4のがん治療 シリーズ4）	大阪医誠会がん治療クリニック 顧問 / 元 京都府立医科大学学長	山岸 久一 医師	83
59	8/19	木	認知症者とのコミュニケーション ～安心して生活するためのポイント～	医療法人医誠会 特定疾患分野対策室	松田 光央 専門課長	98
60	8/27	金	産業保健師が解説する こころの病気を正しく理解し、ストレスと上手に付き合う方法	インテリジェントヘルスケア(株) 産業保健健康管理事業部	赤木 香緒 保健師	108

回数	日付	曜日	テーマ	部署・役職	講師名・職種	参加人数
61	9/3	金	知らぬ間に忍び寄る心不全 あなたの弱った心臓を守るためにできること	医誠会病院 循環器内科 部長	外山 康之 医師	105
62	9/10	金	認知症の人との接し方と介護のポイント	摂津医誠会病院 リハビリテーション科	宮井 彩 作業療法士	105
63	9/15	水	知っておこう！ 脳の病気になるその前に脳神経外科で扱う疾患について	医誠会病院 脳神経外科 医長	福永 貴典 医師	98
64	9/24	金	介護施設「かந்தき」ってどんな所？ ご存じですか？人生会議 ～思う存分自分らしく生きるために～	かந்தき上新庄 管理者	安本 美帆 看護師	53
65	10/1	金	知っておきたい乳がん検診 ～早期発見を目指して～	医誠会病院 予防医療事業部	谷口 早 保健師	55
66	10/8	金	病気の早期発見！ 苦痛の少ない胃カメラ検査でわかる病気について	医誠会病院 臨床検査部	杉田 惇 臨床検査技師	76
67	10/15	金	つらい腰痛と足の痛み、我慢しないで！ 腰椎疾患に対するからだにやさしい外科治療	医誠会病院 脊椎脊髄センター 副センター長	二宮 貢士 医師	83
68	10/22	金	薬剤師から学ぼう！ 薬の副作用の種類・原因・対処方法について	エスペラル東淀川 薬剤科	西本 泉 薬剤師	83
69	10/29	金	コロナ太りしていませんか？ 肥満の要因と予防方法について	医誠会病院 栄養管理科	岸本 理沙 管理栄養士	77
70	11/5	金	薬の飲み合わせに気を付けて！ ～データに基づく薬の相互作用～	東舞鶴医誠会病院 薬剤科	土下 喜正 薬剤師	70
71	11/12	金	世界糖尿病デー 2021 イベント もっと知りたい糖尿病のこと	医誠会病院 糖尿病・代謝センター センター長 兼 部長	増田 浩史 医師	67
72	11/19	金	早期発見がカギ！ 急増する「前立腺がん」の原因・検査・治療について	医誠会病院 泌尿器科 医長	市橋 淳 医師	61
73	11/26	金	任せて安心！在宅介護・医療のこと 頼れる介護施設の利用方法について	かந்தき堺高倉台 管理者	住吉山 照代 看護師	52
74	12/3	金	脳の老化を防ぐ！脳の健康維持に役立つ食事とは	エスペラル摂津 栄養管理科	大竹 由季 管理栄養士	119
75	12/11	土	シリーズ5：希望をつなぐ第4のがん治療 ナチュラルキラーT（NKT）細胞療法について	大阪医誠会 がん治療クリニック 顧問 / 元 京都府立医科大学学長	山岸 久一 医師	60
76	12/17	金	誰にでも身近なところの病気 うつ病薬の種類と服用について	東春病院 薬剤科	笠井 俊典 薬剤師	64
77	12/24	金	加齢による心身の衰え（フレイル）を予防しよう！ お家で簡単エクササイズ！	医誠会病院 リハビリテーション部	濱辺 希 健康運動指導士	82
78	1/7	金	お薬の選び方お教えします！痒みと薬の使い方	摂津医誠会病院 薬剤科	中尾 枝穂 薬剤師	89
79	1/14	金	腸内環境を改善する食事のコツ	医誠会病院 栄養管理部	中谷 仁美 管理栄養士	122
80	1/21	金	「元気」と「健康」は別物 ～人間ドックは自分への投資です～	人間ドック SOPHIA 医誠会 健診センター長	梁 徳淳 医師	87
81	1/28	金	介護施設を徹底比較！ 知っておくべき「任せて安心の介護施設」	かந்தき堺長尾 管理者	久保田 佳美 看護師	72
82	2/4	金	知っておこう！がんのこと ～診断・治療方法について～	医誠会病院 腫瘍内科 部長	上田 眞也 医師	107
83	2/10	木	がん治療のいまと、がんになった時の心構え・予防について	医誠会病院 外来化学療法室	穴谷 理佳 がん化学療法看護 認定看護師	75
84	2/18	金	血圧が高めの方、必見！ 減塩だけじゃない、食事のポイントについて	城東中央病院 栄養管理科	井口 菜摘 管理栄養士	116
85	2/26	土	腫瘍浸潤 T リンパ球療法 (がん性胸水・がん性腹水に対する免疫療法)	大阪医誠会 がん治療クリニック 顧問 / 元 京都府立医科大学学長	山岸 久一 医師	43
86	3/3	木	内科医から学ぼう！人生100年時代の健康長寿 ～「健康寿命」は「生活習慣」次第で延びる！～	医誠会病院 副院長 総合診療センター センター長 兼 部長	森田 龍平 医師	110
87	3/11	金	食べる力に合わせた食事の工夫 ～いつまでも食事を楽しむために～	エスペラル近江八幡 栄養管理科	森 一史 管理栄養士	83
88	3/18	金	市販薬と病院でもらうお薬って何が違うの？ ～いまいちど考えてみる選び方や使い方～	医誠会病院 薬剤部	有泉 壮馬 薬剤師	97
89	3/25	金	幸せな人生のエンディングを迎えるための「看取りケア」	かந்தき東住吉 管理者	西村 知亜紀 看護師	74

19 メディア報道

2201年度（2021年4月～2022年3月）

- 10 / 16（土）朝日新聞（Re ライフ .net）
「脳卒中や心房細動から大切な命を守るために」専門医座談会で
医療法人医誠会 常務理事 峰松臨床顧問が司会を務めました。
「10月は脳卒中月間 コロナ禍でも、迷わずに救急車を」
- 11 / 10（水）シルバー産業新聞
2021年11月10日号
医療法人医誠会 自立支援と減薬を両立（記事は5面に掲載）
- 12 / 8（水）日本経済新聞 朝刊
医療法人医誠会は、ソーシャル評価を踏まえた融資を新生銀行より提供をされることが
決まりました。新病院の建設が、病床の機能分化や連携を進める国の「地域医療構想」
や大阪府の医療計画などに合致する点などが評価されました。
- 1 / 5（水）週間高齢者住宅新聞
医療法人医誠会に対して、新病院建設費用を資金用途とするシンジケートローンに新生
銀行が参加し実行されたことが掲載されました。
病院開発型のコーポレートローンに対するソーシャル評価は、同行初になります。
- 1 / 25（火）月刊医療経営士
当法人内弁護士 竹本昌史 コンプライアンス推進室長が 月刊医療経営士 2022年
2月号で紹介されました。
組織の持続可能性の観点からも法務の体制づくりが重要である点など、法人の取り組み
についてのインタビュー記事が掲載されました。

20 各種統計

2021 年度

■診療科別外来患者数

診療内容・・・口腔ケアを除外（2013年2月より診察と口腔ケアを分離） 医師・・・NUL L・健康支援（DM生活）を除外
2021年4月1日～2022年3月31日

診療科名	新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
内科	再診	1,278	1,200	1,210	1,238	1,198	1,213	1,125	1,145	1,227	1,035	1,082	1,253	14,204
	新患	142	109	61	88	150	94	73	60	52	144	119	183	1,275
	初診	293	238	201	170	220	173	160	142	185	315	270	390	2,757
	総計	1,713	1,547	1,472	1,496	1,568	1,480	1,358	1,347	1,464	1,494	1,471	1,826	18,236
整形外科	再診	1,054	1,036	1,201	1,186	1,202	1,132	1,104	1,125	1,240	1,070	906	1,019	13,275
	新患	13	8	18	13	7	15	13	15	21	16	7	14	160
	初診	197	161	215	174	175	169	187	191	182	186	136	164	2,137
	総計	1,264	1,205	1,434	1,373	1,384	1,316	1,304	1,331	1,443	1,272	1,049	1,197	15,572
脳神経外科	再診	677	610	596	628	700	727	737	712	686	618	527	632	7,850
	新患	18	13	13	15	15	8	12	18	18	18	10	5	163
	初診	170	123	155	158	130	126	182	166	184	119	118	206	1,837
	総計	865	746	764	801	845	861	931	896	888	755	655	843	9,850
皮膚科	再診	216	234	253	229	254	260	280	254	244	198	199	153	2,774
	新患	3	4	4	3	6	12	0	3	6	3	1	1	46
	初診	112	91	110	157	118	128	129	113	120	82	69	64	1,293
	総計	331	329	367	389	378	400	409	370	370	283	269	218	4,113
形成美容外科	再診	197	203	228	266	271	249	238	244	265	229	198	278	2,866
	新患	16	20	20	10	13	12	15	19	20	11	7	13	176
	初診	71	61	97	65	78	80	68	65	67	70	44	61	827
	総計	284	284	345	341	362	341	321	328	352	310	249	352	3,869
リハビリテーション科	再診	1,111	1,008	1,255	1,175	1,285	1,258	1,250	1,208	1,343	1,091	996	1,091	14,071
	新患	1	1	1	3	0	0	1	0	2	1	0	2	12
	初診	58	41	46	45	50	49	40	44	58	39	23	34	527
	総計	1,170	1,050	1,302	1,223	1,335	1,307	1,291	1,252	1,403	1,131	1,019	1,127	14,610
泌尿器科	再診	257	251	225	263	254	230	252	278	257	261	251	257	3,036
	新患	1	6	6	2	5	3	4	3	7	8	1	0	46
	初診	71	54	58	67	58	58	73	65	82	59	43	65	753
	総計	329	311	289	332	317	291	329	346	346	328	295	322	3,835
婦人科	再診	201	166	213	192	180	188	171	195	203	168	171	205	2,253
	新患	11	11	13	4	6	8	8	7	5	5	6	10	94
	初診	152	168	269	265	268	254	280	295	335	272	219	322	3,099
	総計	364	345	495	461	454	450	459	497	543	445	396	537	5,446
麻酔科	再診	3	2	4	6	3	1	2	6	3	1	2	2	35
	新患	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	6
	初診	108	81	93	77	80	74	92	101	100	83	37	65	991
	総計	112	84	98	84	83	75	94	107	104	84	39	68	1,032
脊椎・脊髄外科	再診	3	2	5	3	1	4	6	3	6	2	3	2	40
	新患	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	初診	3	2	3	2	6	4	4	5	3	3	3	4	42
	総計	6	4	8	5	8	9	10	8	9	5	6	6	84
糖尿病内科	再診	682	612	620	642	648	673	660	644	708	619	612	644	7,764
	新患	1	0	3	2	0	1	2	3	3	2	1	2	20
	初診	35	21	33	29	27	30	29	29	28	17	17	32	327
	総計	718	633	656	673	675	704	691	676	739	638	630	678	8,111
心臓血管センター	再診	679	617	643	617	628	596	589	571	603	497	513	568	7,121
	新患	2	4	3	4	1	2	6	4	3	7	1	3	40
	初診	165	129	153	139	126	172	168	159	118	129	116	146	1,720
	総計	846	750	799	760	755	770	763	734	724	633	630	717	8,881

呼吸器内科	再診	360	338	353	362	346	382	333	352	366	336	290	378	4,196
	新患	2	0	3	5	6	8	5	5	3	2	2	1	42
	初診	84	72	113	81	82	85	100	84	84	71	121	87	1,064
	総計	446	410	469	448	434	475	438	441	453	409	413	466	5,302
腎臓内科	再診	14	8	16	16	13	11	14	16	24	10	11	13	166
	新患	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	4
	初診	4	3	15	8	7	10	7	9	8	9	4	7	91
	総計	18	11	31	25	20	22	21	26	32	19	16	20	261
内視鏡療法	初診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	総計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
装具：整形外科	再診	3	4	7	7	1	4	0	2	2	5	3	0	38
	新患	1	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	7
	初診	23	7	18	25	23	10	15	21	15	12	12	9	190
	総計	27	11	29	33	24	14	15	24	17	17	15	9	235
腫瘍内科	再診	64	66	74	71	64	72	62	64	73	71	67	67	815
	新患	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	初診	5	4	1	2	7	3	3	5	5	2	3	5	45
	総計	69	71	76	73	71	75	65	69	78	73	70	72	862
消化器内科	再診	660	592	693	691	675	695	667	736	721	596	564	686	7,976
	新患	19	6	16	14	16	9	14	21	19	14	5	11	164
	初診	165	136	181	186	167	170	200	196	184	157	142	189	2,073
	総計	844	734	890	891	858	874	881	953	924	767	711	886	10,213
甲状腺外来	初診	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	総計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
栄養指導	再診	43	50	54	72	51	54	47	55	52	40	41	41	600
	初診	594	503	561	556	593	580	572	547	587	510	515	591	6,709
	総計	637	553	615	628	644	634	619	602	639	550	556	632	7,309
呼吸器外科	再診	39	28	28	38	35	31	50	33	34	30	21	18	385
	新患	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
	初診	12	10	7	10	8	16	16	10	11	11	3	15	129
	総計	52	39	35	48	43	47	66	43	45	43	24	33	518
消化器外科	再診	201	191	213	236	223	248	219	250	234	241	190	199	2,645
	新患	4	3	3	1	2	4	5	2	5	1	3	0	33
	初診	25	22	35	38	35	31	34	37	37	24	26	30	374
	総計	230	216	251	275	260	283	258	289	276	266	219	229	3,052
乳腺・内分泌外科	再診	97	85	116	97	70	79	90	70	78	60	52	75	969
	新患	8	4	3	6	4	7	5	3	10	3	10	3	66
	初診	103	147	229	197	174	187	242	245	314	246	188	313	2,585
	総計	208	236	348	300	248	273	337	318	402	309	250	391	3,620
放射線治療	再診	131	67	99	61	60	122	70	31	61	111	93	63	969
	新患	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	初診	19	15	8	25	7	18	35	32	35	22	9	11	236
	総計	150	82	107	86	67	141	105	63	96	134	102	74	1,207
化学療法室	再診	28	30	54	44	55	40	34	34	30	28	26	31	434
	初診	66	62	60	35	39	35	38	53	52	44	37	52	573
	総計	94	92	114	79	94	75	72	87	82	72	63	83	1,007
皮膚排泄ケア外来	再診	5	8	12	8	8	3	2	10	14	5	5	0	80
	初診	6	7	4	11	13	7	15	10	14	19	9	6	121
	総計	11	15	16	19	21	10	17	20	28	24	14	6	201
※※相談外来	再診	0	1	0	1	0	2	1	0	1	1	0	0	7
	初診	4	18	9	7	3	8	10	12	5	4	7	10	97
	総計	4	19	9	8	3	10	11	12	6	5	7	10	104
救急	再診	217	252	229	235	223	173	180	219	226	271	173	180	2,578
	新患	473	408	385	452	482	414	417	455	514	587	201	331	5,119
	初診	469	430	437	513	531	466	504	536	574	601	245	387	5,693
	総計	1,159	1,090	1,051	1,200	1,236	1,053	1,101	1,210	1,314	1,459	619	898	13,390
検査予約のみ	再診	1	0	3	1	3	4	5	2	2	2	2	4	29
	新患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	初診	65	64	67	60	51	48	52	61	48	48	89	130	783
	総計	66	64	70	61	54	52	57	63	50	50	93	134	814

新初区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
新患	8,221	7,661	8,404	8,385	8,451	8,451	8,188	8,259	8,703	7,596	6,998	7,859	97,176
初診	717	600	558	625	714	600	580	620	689	825	377	580	7,485
再診	3,079	2,670	3,178	3,102	3,076	2,991	3,255	3,234	3,435	3,154	2,505	3,396	37,075
総計	12,017	10,931	12,140	12,112	12,241	12,042	12,023	12,113	12,827	11,575	9,880	11,835	141,736

診療科別入院患者数

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
内科	新入院患者数	205	213	228	254	215	177	153	141	114	115	33	113	1,961
	退院患者数	215	169	200	233	207	200	182	150	132	109	66	93	1,956
	在院患者延数	2,829	2,919	2,917	3,566	3,113	2,825	2,502	2,136	1,845	2,025	1,261	1,686	29,624
	平均在院日数	13.5	15.3	13.6	14.6	14.8	15.0	14.9	14.7	15.0	18.1	25.5	16.4	15.1
脳神経外科	新入院患者数	110	70	87	103	100	84	88	74	105	75	35	78	1,009
	退院患者数	115	80	92	101	100	102	78	85	113	100	46	71	1,083
	在院患者延数	1,487	1,082	1,080	1,045	1,249	1,104	1,302	1,413	1,656	1,526	810	1,177	14,931
	平均在院日数	13.2	14.4	12.1	10.2	12.5	11.9	15.7	17.8	15.2	17.4	20.0	15.8	14.3
心臓血管センター	新入院患者数	87	93	84	85	80	91	87	91	102	92	57	83	1,032
	退院患者数	98	84	101	87	84	90	99	91	113	95	69	92	1,103
	在院患者延数	990	1,175	1,194	982	1,018	1,085	1,196	1,138	1,252	1,376	875	1,116	13,397
	平均在院日数	10.7	13.3	12.9	11.4	12.4	12.0	12.9	12.5	11.6	14.7	13.9	12.8	12.5
整形外科	新入院患者数	97	57	74	76	75	56	71	80	98	90	21	78	873
	退院患者数	99	81	61	80	76	57	63	86	101	97	39	77	917
	在院患者延数	1,274	1,065	876	1,073	976	786	957	1,228	1,216	1,470	958	1,074	12,953
	平均在院日数	13.0	15.4	13.0	13.8	12.9	13.9	14.3	14.8	12.2	15.7	31.9	13.9	14.5
消化器内科	新入院患者数	99	97	117	84	96	108	99	107	115	97	50	56	1,125
	退院患者数	86	86	108	92	85	108	87	105	127	90	50	68	1,092
	在院患者延数	665	948	1,021	907	907	1,076	1,000	948	977	972	816	798	11,035
	平均在院日数	7.2	10.4	9.1	10.3	10.0	10.0	10.8	8.9	8.1	10.4	16.3	12.9	10.0
呼吸器内科	新入院患者数	50	50	53	44	74	66	58	49	47	48	21	34	594
	退院患者数	44	44	49	54	65	60	66	48	45	60	34	36	605
	在院患者延数	638	739	848	859	811	838	841	722	876	881	482	365	8,900
	平均在院日数	13.6	15.7	16.6	17.5	11.7	13.3	13.6	14.9	19.0	16.3	17.5	10.4	14.8
消化器外科	新入院患者数	37	36	36	47	37	29	50	47	50	49	11	41	470
	退院患者数	45	49	53	53	50	43	52	57	65	47	24	36	574
	在院患者延数	487	618	516	556	674	484	616	555	524	530	432	536	6,528
	平均在院日数	11.9	14.5	11.6	11.1	15.5	13.4	12.1	10.7	9.1	11.0	24.7	13.9	12.5
形成美容外科	新入院患者数	15	16	21	16	22	17	15	17	13	7	4	13	176
	退院患者数	12	17	21	17	22	15	20	13	16	9	6	12	180
	在院患者延数	315	292	375	290	325	338	219	295	321	153	125	190	3,238
	平均在院日数	23.3	17.7	17.9	17.6	14.8	21.1	12.5	19.7	22.1	19.1	25.0	15.2	18.2
泌尿器科	新入院患者数	18	14	16	18	10	23	17	23	15	19	12	19	204
	退院患者数	24	21	18	19	16	20	24	25	34	16	15	21	253
	在院患者延数	289	220	138	177	222	205	238	322	245	209	170	159	2,594
	平均在院日数	13.8	12.6	8.1	9.6	17.1	9.5	11.6	13.4	10.0	11.9	12.6	8.0	11.4
呼吸器外科	新入院患者数	12	9	5	5	7	8	18	15	12	6	4	8	109
	退院患者数	15	8	9	10	7	9	20	14	14	14	3	6	129
	在院患者延数	159	156	125	80	118	110	265	270	189	144	57	115	1,788
	平均在院日数	11.8	18.4	17.9	10.7	16.9	12.9	13.9	18.6	14.5	14.4	16.3	16.4	15.0
救急	新入院患者数		3	1			76	113	120	161	101	32	83	690
	退院患者数		1				34	74	83	111	52	17	47	419
	在院患者延数		3				99	210	238	294	257	228	259	1,588
	平均在院日数		1.5				1.8	2.2	2.3	2.2	3.4	9.3	4.0	2.9
糖尿病内科	新入院患者数	4	6	9	9	8	8	13	13	9	12	4	13	108
	退院患者数	11	3	11	8	11	9	12	8	16	15	2	9	115
	在院患者延数	107	82	155	70	53	84	111	188	187	82	101	104	1,324
	平均在院日数	14.3	18.2	15.5	8.2	5.6	9.9	8.9	17.9	15.0	6.1	33.7	9.5	11.9
腎臓内科	新入院患者数	7	4	2	8	3	2	5	3	8	5	4	5	56
	退院患者数	6	3	4	8	5	4	5	4	8	6	2	6	61
	在院患者延数	82	112	44	116	41	25	53	77	102	64	64	81	861
	平均在院日数	12.6	32.0	14.7	14.5	10.3	8.3	10.6	22.0	12.8	11.6	21.3	14.7	14.7
皮膚科	新入院患者数	5		3	2	7	5	3	1					26
	退院患者数	1	3	2	5	4	3	5	3	1				27
	在院患者延数	28	69	40	53	49	73	67	50	6				435
	平均在院日数	9.3	46.0	16.0	15.1	8.9	18.3	16.8	25.0	12.0				16.4
婦人科	新入院患者数	10	11	12	2	5	6	2	8	7	4	4	5	76
	退院患者数	11	12	14	3	4	4	5	7	7	4	4	5	80
	在院患者延数	19	49	63	13	14	22	13	25	18	11	5	22	274
	平均在院日数	1.8	4.3	4.8	5.2	3.1	4.4	3.7	3.3	2.6	2.8	1.3	4.4	3.5

腫瘍内科	新入院患者数	1	3		2	1	1	2	1	2	2	2	1	18
	退院患者数	2	1	2	4	1	1	5	2	1	3	1		23
	在院患者延数	12	29	5	34	24	24	59	14	10	30	6	3	250
	平均在院日数	8.0	14.5	5.0	11.3	24.0	24.0	16.9	9.3	6.7	12.0	4.0	6.0	12.2
脊椎・脊髄外科	新入院患者数	1		1	2	1	1		1		1			8
	退院患者数					1	1				1	1		4
	在院患者延数	7		1	22	10	5		1		17	1		64
	平均在院日数	14.0		2.0	22.0	10.0	5.0		2.0		17.0	2.0		10.7
乳腺・内分泌外科	新入院患者数		2	1										3
	退院患者数	1	1	2										4
	在院患者延数		17	14										31
	平均在院日数		11.3	9.3										8.9
救命救急科	新入院患者数								3	2			1	6
	退院患者数									1				1
	在院患者延数								9	1				10
	平均在院日数								6.0	0.7				2.9
その他	新入院患者数													
	退院患者数													
	在院患者延数												4	4
	平均在院日数													
健診センター	新入院患者数						1							1
	退院患者数													
	在院患者延数						1							1
	平均在院日数						2.0							2.0
麻酔科	新入院患者数								1					1
	退院患者数													
	在院患者延数													
	平均在院日数													
新入院患者数	758	684	750	757	741	759	794	795	860	723	294	631	8,546	
退院患者数	785	663	747	774	738	760	797	781	905	718	379	579	8,626	
在院患者延数	9,388	9,575	9,412	9,843	9,604	9,184	9,649	9,629	9,719	9,747	6,391	7,689	109,830	
平均在院日数	12.2	14.2	12.6	12.9	13.0	12.1	12.1	12.2	11.0	13.5	19.0	12.7	12.7	

■病棟別在院患者統計（月単位）

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
全体	新入院患者数	760	684	750	754	741	759	794	795	860	722	770	631	9,020
	退院患者数	785	663	747	773	738	760	797	781	905	718	742	579	8,988
	(当日入退院)	(8)	(14)	(4)	(12)	(16)	(20)	(15)	(14)	(30)	(15)	(7)	(10)	165
	転入患者数	380	383	413	433	400	410	470	439	458	426	368	565	5,145
	転出患者数	380	383	414	433	400	410	470	439	458	426	368	565	5,146
	在院患者延数	9,392	9,575	9,412	9,869	9,603	9,183	9,648	9,627	9,718	9,746	9,021	7,689	112,483
	平均在院日数	12.2	14.2	12.6	12.9	13.0	12.1	12.1	12.2	11.0	13.5	11.9	12.7	12.5
	(平均在院日数)	(8.1)	(9.1)	(8.1)	(8.2)	(8.4)	(7.9)	(7.6)	(7.8)	(7.2)	(8.5)	(8.0)	(6.6)	(7.9)
	病床利用率	92.7%	101.0%	92.8%	100.6%	94.7%	93.6%	95.2%	95.0%	99.1%	96.1%	92.0%	75.9%	94.0%
(病床稼働率)	(104.1%)	(112.0%)	(104.3%)	(112.9%)	(106.0%)	(105.5%)	(107.7%)	(107.0%)	(113.0%)	(107.4%)	(103.3%)	(87.1%)	(105.8%)	

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
3 A 病棟 *311 除く	新入院患者数	72	45	72	51	75	64	79	73	68	51	56	235	941
	退院患者数	99	86	93	96	108	109	128	104	120	105	104	97	1,249
	(当日入退院)	(1)				(3)	(2)	(2)	(2)	(4)			(5)	19
	転入患者数	16	14	19	18	20	21	20	24	31	36	26	12	257
	転出患者数	18	20	31	8	16	18	13	18	21	14	9	170	356
	在院患者延数	1,453	1,502	1,445	1,516	1,498	1,430	1,477	1,463	1,497	1,450	1,386	1,194	17,311
	平均在院日数	17.0	22.9	17.5	20.6	16.4	16.5	14.3	16.5	15.9	18.6	17.3	7.2	15.8
	(平均在院日数)	(14.2)	(18.2)	(13.4)	(17.5)	(13.7)	(13.5)	(12.3)	(13.4)	(12.5)	(14.1)	(14.2)	(4.6)	(12.4)
	病床利用率	93.7%	103.6%	93.2%	101.1%	96.6%	95.3%	95.3%	94.4%	99.8%	93.5%	92.4%	77.0%	94.6%
(病床稼働率)	(101.3%)	(110.9%)	(101.2%)	(108.0%)	(104.6%)	(103.8%)	(104.4%)	(102.3%)	(109.2%)	(101.2%)	(99.9%)	(94.3%)	(103.4%)	
3 B 病棟	新入院患者数	62	61	74	68	63	65	55	84	66	59	74	21	752
	退院患者数	124	117	128	134	112	132	115	134	134	106	122	79	1,437
	(当日入退院)		(1)		(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)			12
	転入患者数	74	74	75	82	66	85	84	76	88	67	64	108	943
	転出患者数	17	14	21	19	17	20	23	24	26	18	12	31	242
	在院患者延数	1,491	1,486	1,470	1,577	1,507	1,448	1,520	1,517	1,548	1,560	1,418	1,118	17,660
	平均在院日数	16.0	16.7	14.6	15.6	17.2	14.7	17.9	13.9	15.5	18.9	14.5	22.4	16.1
	(平均在院日数)	(10.8)	(11.2)	(9.9)	(10.4)	(11.7)	(9.6)	(11.0)	(9.5)	(9.9)	(12.5)	(10.4)	(9.4)	(10.5)
	病床利用率	94.3%	100.5%	93.0%	103.1%	95.3%	94.6%	96.1%	96.0%	101.2%	98.7%	92.7%	70.7%	94.6%
(病床稼働率)	(103.2%)	(109.3%)	(102.4%)	(113.1%)	(103.5%)	(104.6%)	(104.9%)	(105.9%)	(111.6%)	(106.5%)	(101.4%)	(77.7%)	(103.6%)	
4 A 病棟	新入院患者数	99	77	113	94	85	91	86	111	110	104	97	65	1,132
	退院患者数	134	110	149	138	130	129	137	143	175	132	122	127	1,626
	(当日入退院)	(2)	(1)		(1)			(2)	(1)		(1)			8
	転入患者数	48	55	56	61	60	55	67	57	67	62	51	106	745
	転出患者数	17	22	17	20	13	18	18	22	17	19	22	40	245
	在院患者延数	1,525	1,584	1,541	1,595	1,550	1,492	1,555	1,556	1,572	1,611	1,463	1,360	18,404
	平均在院日数	13.1	16.9	11.8	13.8	14.4	13.6	13.9	12.3	11.0	13.7	13.4	14.2	13.3
	(平均在院日数)	(10.2)	(12.0)	(9.2)	(10.2)	(10.8)	(10.2)	(10.1)	(9.3)	(8.5)	(10.2)	(10.0)	(8.0)	(9.8)
	病床利用率	92.8%	103.1%	93.8%	100.3%	97.5%	93.8%	94.6%	94.7%	98.9%	98.1%	92.0%	82.8%	94.9%
(病床稼働率)	(102.0%)	(111.6%)	(103.9%)	(110.3%)	(103.0%)	(103.1%)	(104.1%)	(104.7%)	(110.9%)	(107.2%)	(101.1%)	(92.9%)	(104.5%)	
4 B 病棟	新入院患者数	97	84	74	93	82	90	88	100	91	97	112	52	1,060
	退院患者数	146	110	116	138	114	117	132	125	134	109	130	100	1,471
	(当日入退院)	(2)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	(2)		(1)	(2)	20
	転入患者数	63	54	66	67	59	53	76	54	65	52	54	105	768
	転出患者数	20	21	25	28	24	24	35	25	28	34	32	29	325
	在院患者数	1,418	1,495	1,480	1,519	1,500	1,461	1,493	1,509	1,504	1,496	1,399	1,325	17,599
	平均在院日数	11.7	15.4	15.6	13.2	15.3	14.1	13.6	13.4	13.4	14.5	11.6	17.4	13.9
	(平均在院日数)	(8.7)	(11.1)	(10.5)	(9.3)	(10.8)	(10.3)	(9.0)	(9.9)	(9.5)	(10.2)	(8.5)	(9.3)	(9.7)
	病床利用率	91.5%	103.1%	95.5%	101.3%	96.8%	97.4%	96.3%	97.4%	100.3%	96.5%	93.3%	85.5%	96.2%
(病床稼働率)	(102.2%)	(112.1%)	(104.6%)	(112.3%)	(105.7%)	(106.8%)	(107.1%)	(107.0%)	(111.1%)	(105.7%)	(104.1%)	(93.8%)	(106.0%)	
5 A 病棟	新入院患者数	85	76	75	77	73	85	91	101	103	88	73	29	956
	退院患者数	128	105	122	114	109	116	124	133	137	108	114	64	1,374
	(当日入退院)		(1)	(1)			(1)		(2)	(3)	(1)		(1)	10
	転入患者数	64	60	75	58	58	62	70	73	63	45	66	42	736
	転出患者数	24	30	25	24	24	26	38	41	35	30	24	16	337
	在院患者延数	1,277	1,321	1,293	1,358	1,282	1,283	1,318	1,324	1,334	1,320	1,241	936	15,287
	平均在院日数	12.0	14.6	13.1	14.2	14.1	12.8	12.3	11.3	11.1	13.5	13.3	20.1	13.1
	(平均在院日数)	(8.5)	(9.7)	(8.7)	(9.9)	(9.7)	(8.9)	(8.2)	(7.6)	(7.9)	(9.7)	(9.0)	(12.4)	(9.0)
	病床利用率	91.5%	101.2%	92.7%	100.6%	91.9%	95.0%	94.5%	94.9%	98.8%	94.6%	91.9%	67.1%	92.8%
(病床稼働率)	(102.4%)	(111.6%)	(103.2%)	(110.8%)	(101.4%)	(105.6%)	(106.1%)	(107.4%)	(111.6%)	(104.5%)	(102.1%)	(72.8%)	(103.2%)	

プライマリ	新入院患者数	169	174	151	182	169	167	186	137	183	103	150	112	1,883
	退院患者数	37	19	14	32	32	25	46	32	46	36	25	18	362
	(当日入退院)	(2)	(3)	(1)	(4)	(7)	(4)	(4)	(1)	(8)	(5)	(3)	(1)	43
	転入患者数	2	4	3	3	5	2	1	1	1	3		3	28
	転出患者数	107	111	109	118	113	107	98	80	97	52	89	72	1,153
	在院患者数	297	275	206	234	252	206	213	234	212	270	228	162	2,789
													2.5	
														(1.6)
5B病棟	新入院患者数	57	62	68	55	73	64	62	55	73	66	68	29	732
	退院患者数	86	90	89	92	91	89	87	81	109	89	87	77	1,067
	(当日入退院)				(1)		(2)			(1)	(1)			5
	転入患者数	48	43	40	57	38	42	44	55	52	44	37	79	579
	転出患者数	20	14	19	22	20	17	19	28	20	18	11	29	237
	在院患者延数	1,179	1,165	1,155	1,218	1,186	1,111	1,206	1,199	1,203	1,227	1,111	1,084	14,044
	平均在院日数	16.5	15.3	14.7	16.6	14.5	14.5	16.2	17.6	13.2	15.8	14.3	20.5	15.6
	(平均在院日数)	(11.2)	(11.1)	(10.7)	(10.8)	(10.7)	(10.5)	(11.4)	(10.9)	(9.5)	(11.3)	(10.9)	(10.1)	(10.7)
	病床利用率	95.1%	100.4%	93.1%	101.5%	95.6%	92.6%	97.3%	96.7%	100.3%	99.0%	92.6%	87.4%	95.9%
	(病床稼働率)	(103.6%)	(109.4%)	(101.9%)	(111.0%)	(104.6%)	(101.4%)	(105.8%)	(105.5%)	(111.0%)	(107.6%)	(100.8%)	(96.0%)	(104.8%)
ICU	新入院患者数	52	54	49	55	48	60	50	51	64	66	54	68	671
	退院患者数	16	18	13	14	10	22	9	8	18	15	15	5	163
	(当日入退院)	(1)	(6)		(2)	(1)	(6)		(2)	(4)	(4)	(1)		27
	転入患者数	41	49	44	45	56	59	59	49	51	56	38	47	594
	転出患者数	80	82	80	87	94	98	100	89	101	108	75	113	1,107
	在院患者数	279	307	303	320	321	300	328	305	325	298	292	227	3,605
	平均在院日数	8.2	8.5	9.8	9.3	11.1	7.3	11.1	10.3	7.9	7.4	8.5	6.2	8.6
	(平均在院日数)	(3.0)	(3.0)	(3.3)	(3.2)	(3.1)	(2.5)	(3.0)	(3.1)	(2.8)	(2.4)	(3.2)	(1.9)	(2.8)
	病床利用率	75.0%	88.2%	81.5%	88.9%	86.3%	83.3%	88.2%	82.0%	90.3%	80.1%	81.1%	61.0%	82.1%
	(病床稼働率)	(100.8%)	(117.0%)	(106.5%)	(116.9%)	(114.2%)	(116.7%)	(117.5%)	(108.1%)	(123.3%)	(113.2%)	(106.1%)	(92.7%)	(111.0%)
SCU	新入院患者数	29	23	25	23	19	32	29	20	24	21	21	1	267
	退院患者数	4	2	4	4	9	3	2	1	3	4	4		40
	(当日入退院)			(1)		(1)								2
	転入患者数	7	7	4	9	10	9	8	8	7	16	5	41	131
	転出患者数	32	28	25	28	20	38	35	27	28	35	22	39	357
	在院患者延数	177	178	179	184	171	177	187	180	183	174	167	144	2,101
	平均在院日数	10.7	14.2	12.3	13.6	12.2	10.1	12.1	17.1	13.6	13.9	13.4	288.0	13.7
	(平均在院日数)	(4.9)	(5.9)	(6.2)	(5.8)	(5.9)	(4.3)	(5.1)	(6.4)	(5.9)	(4.6)	(6.4)	(3.6)	(5.3)
	病床利用率	95.2%	102.3%	96.2%	102.2%	91.9%	98.3%	100.5%	96.8%	101.7%	93.5%	92.8%	77.4%	95.7%
	(病床稼働率)	(114.5%)	(119.5%)	(111.8%)	(120.0%)	(107.5%)	(121.1%)	(120.4%)	(111.8%)	(118.9%)	(114.5%)	(107.2%)	(98.4%)	(113.8%)
HCU	新入院患者数	38	28	49	56	54	41	68	63	78	67	65	19	626
	退院患者数	11	6	19	11	23	18	17	20	29	14	19	12	199
	(当日入退院)				1	1	2	4		7	2	1	1	19
	転入患者数	17	23	31	33	28	22	41	42	33	45	27	22	364
	転出患者数	45	41	62	79	59	44	91	85	85	98	72	26	787
	在院患者延数	296	262	340	348	336	275	351	340	340	340	316	139	3,683
	平均在院日数	12.1	15.4	10.0	10.4	8.7	9.3	8.3	8.2	6.4	8.4	7.5	9.0	8.9
	(平均在院日数)	(5.3)	(5.3)	(4.2)	(3.9)	(4.1)	(4.4)	(3.2)	(3.2)	(3.0)	(3.0)	(3.5)	(3.5)	(3.7)
	病床利用率	79.6%	75.3%	91.4%	96.7%	90.3%	76.4%	94.4%	91.4%	94.4%	91.4%	87.8%	37.4%	83.9%
	(病床稼働率)	(94.6%)	(88.8%)	(113.2%)	(121.7%)	(112.4%)	(93.6%)	(123.4%)	(119.6%)	(126.1%)	(121.5%)	(113.1%)	(47.6%)	(106.3%)

在院患者延数 = 0時現在に在院している患者（当日退院者を含まない）

平均在院日数 = 在院患者延数 / ((新入院患者数 + 退院患者数) / 2)

(平均在院日数) = 在院患者延数 / ((新入院患者数 + 退院患者数 + 転入患者数 + 転出患者数) / 2)

病床数 = 実働病床数（閉鎖ベット含まない）

病床利用率 = 在院患者延数 / (病床数 * 日数)

(病床稼働率) = (在院患者延数 + 退院患者数 + 転出患者数) / (病床数 * 日数)

※備考

2014年8月 3A病棟(54) → (44) プライマリ 311室へ移動

2014年10月 3A ⇒ 50 3B ⇒ 51 4A ⇒ 50 4B50 5A ⇒ 44 5B ⇒ 39 ICU ⇒ 12 SCU ⇒ 6 HCU ⇒ 12

プライマリ ⇒ 8(311号室) で設定 全体稼働数 ⇒ 322

2015年6月 ICU 10床 HCU 8 → 9

2015年8月 稼働病床数 ICU 10 → 12床 HCU 9 → 12床

■救急患者数

データ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
独歩	650	651	500	625	727	547	435	473	481	1,068	647	435	7,239
救急搬送	601	501	555	641	600	616	669	647	735	693	188	455	6,901
搬送車	134	120	136	134	136	118	148	161	174	112	67	98	1,538
独歩2回目	11	29	14	7	12	15	8	5	7	11	7	3	129
救急搬送2回目	0	2	1	1	0	3	1	0	0	5	3	0	16
6歳未満	5	6	1	5	16	12	1	1	1	46	29	13	136
時間外	550	581	373	504	544	520	402	451	520	933	376	296	6,050
同日入院	529	456	516	534	486	529	589	558	624	503	182	444	5,950
合計	2,480	2,346	2,096	2,451	2,521	2,360	2,253	2,296	2,542	3,371	1,499	1,744	27,959

■紹介登録件数

データ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
入院	89	105	98	68	94	71	88	93	116	98	52	116	1,088
検査	94	66	95	88	73	83	86	99	89	70	60	64	967
外来通院	653	586	619	629	616	621	607	613	602	703	543	512	7,304
合計	836	757	812	785	783	775	781	805	807	871	655	692	9,359

■診療科別手術件数

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形外科	全麻	64	51	56	57	49	44	51	67	69	69	25	65	667
	局麻	3	3	1	4	3	3	5	3	3	2	4	6	40
	小計	67	54	57	61	52	47	56	70	72	71	29	71	707
脳神経外科	全麻	4	7	4	12	9	9	11	8	10	7	6	10	97
	局麻	5	7	5	2	6	5	4	3	7	9	5	8	66
	小計	9	14	9	14	15	14	15	11	17	16	11	17	162
形成美容外科	全麻	5	10	10	10	13	11	9	12	11	4	1	4	100
	局麻	17	12	16	17	15	6	16	16	10	12	17	11	165
	小計	22	22	26	27	28	17	25	28	21	16	18	15	265
泌尿器科	全麻	6	9	10	8	6	14	9	11	13	10	11	15	122
	局麻	1	2	0	2	2	0	1	1	1	0	1	0	11
	小計	7	11	10	10	8	14	10	12	14	10	12	15	133
婦人科	全麻	10	9	13	2	4	5	2	7	7	4	4	6	73
	小計	10	9	13	2	4	5	2	7	7	4	4	6	73
脊椎・脊髄外科	全麻	17	10	10	5	15	8	5	8	14	10	7	15	124
	局麻	1	1	1	1	2	0	1	0	2	1	1	0	11
	小計	18	11	11	6	17	8	6	8	16	11	8	15	135
心臓血管センター	全麻	7	4	8	9	7	8	13	6	6	11	9	10	98
	局麻	3	10	6	4	5	4	8	2	8	3	2	2	57
	小計	10	14	14	13	12	12	21	8	14	14	11	12	155
消化器内科	全麻	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	4
	小計	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	4
呼吸器外科	全麻	4	5	3	6	2	6	6	3	4	3	0	1	43
	局麻	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	小計	4	5	3	6	2	6	6	3	6	3	0	1	45
消化器外科	全麻	31	33	35	31	27	25	35	37	35	37	11	32	369
	局麻	6	5	5	13	7	6	10	4	10	3	2	5	76
	小計	37	38	40	44	34	31	45	41	45	40	13	37	445
乳腺・内分泌外科	全麻	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	局麻	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	小計	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	全麻	148	140	150	141	132	130	142	160	169	155	74	159	1,700
	局麻	37	40	37	43	40	24	45	29	43	30	32	32	432
	小計	185	180	187	184	172	154	187	189	212	185	106	191	2,132

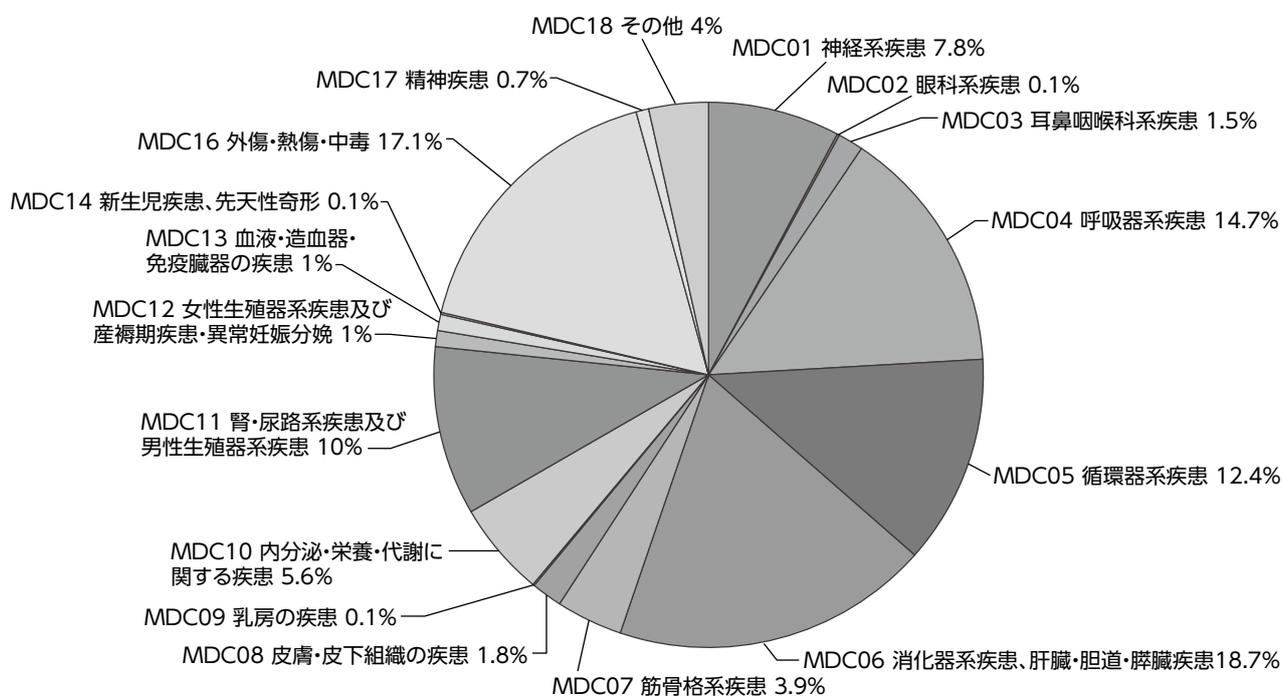
うち日帰り手術	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

※ 2018/4～手術台帳の診療科で振り分け ※全麻 ⇒ 麻酔に「全」または「静」の文字があればカウント

■ MDC 別退院患者数

MCD 番号	MDC 名称	件数
MDC01	神経系疾患	678
MDC02	眼科系疾患	12
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	131
MDC04	呼吸器科系疾患	1,282
MDC05	循環器科系疾患	1,083
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,634
MDC07	筋骨格系疾患	342
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	159
MDC09	乳房の疾患	8
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	488
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	875
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥器疾患・異常妊娠分娩	83
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	84
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	10
MDC16	外傷・熱傷・中毒	1,490
MDC17	精神疾患	65
MDC18	その他	306
総件数		8,730

MDC 別退院患者数割合



療科別診断群分類 (DPC) ・ 上位頻度表

開始日：2021年4月1日

データの個数 / 患者コード

診療科	DPC 診断群分類番号	DPC 診断群分類名称	総計
内科	040081	誤嚥性肺炎	398
	110310	腎臓又は尿路の感染症	337
	100380	体液量減少症	248
心臓血管センター	050130	心不全	292
	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	211
	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	150
脳神経外科	010060	脳梗塞	213
	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	171
	010230	てんかん	87
整形外科	160800	股関節・大腿近位の骨折	304
	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	68
	160720	肩関節周辺の骨折・脱臼	59
消化器内科	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	213
	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	148
	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	87
呼吸器内科	040081	誤嚥性肺炎	165
	040080	肺炎等	105
	040040	肺の悪性腫瘍	68
消化器外科	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	65
	060335	胆嚢炎等	52
	060160	鼠径ヘルニア	48
婦人科	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	19
	120070	卵巣の良性腫瘍	18
	120060	子宮の良性腫瘍	15
救急	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	96
	050210	徐脈性不整脈	92
	161070	薬物中毒（その他の中毒）	66

形成美容外科	080250	褥瘡潰瘍	60
	080010	膿皮症	21
	100100	糖尿病足病変	19
泌尿器科	11012x	上部尿路疾患	49
	110310	腎臓又は尿路の感染症	31
	110080	前立腺の悪性腫瘍	27
呼吸器外科	040200	気胸	36
	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	25
	040040	肺の悪性腫瘍	22
糖尿病内科	10007x	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	41
	100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	12
	100210	低血糖症	12
腎臓内科	110290	急性腎不全	33
	180010	敗血症	17
	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	9
乳腺・内分泌外科	090010	乳房の悪性腫瘍	3
	010010	脳腫瘍	1
腫瘍内科	060040	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍	4
	040040	肺の悪性腫瘍	3
	060020	胃の悪性腫瘍	3
脊椎・脊髄外科	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰椎損傷を含む。）	2
	070370	脊椎骨粗鬆症	1
	160990	多部位外傷	1
救命救急科	040081	誤嚥性肺炎	1
	050210	徐脈性不整脈	1
皮膚科	080010	膿皮症	16
	080110	水疱症	3
	080020	帯状疱疹	2
総計			4,250

医療法人医誠会 医誠会病院

2021 年度

年報

発行日	2022年9月1日
発行人	松本 勝美
企画編集	年報編集委員会
発行所	医療法人医誠会 医誠会病院 〒533-0022 大阪市東淀川区菅原 6-2-25 Tel. 06-6326-1121 Fax. 06-6329-6111 URL http://www.iseikaihp.or.jp/ E-mail info@iseikaihp.or.jp
編集	医療広報部

Annual Report 2021



FS 728935 / ISO 9001

登録範囲：
入院患者及び外来患者への医療サービスの提供

医誠会病院では、ISO9001認証取得を通じて
医療・保健サービスの質向上に取り組んでいます



医療法人医誠会 医誠会病院は、国家プロジェクトである「がん対策推進企業アクション」の推進パートナーです

